

# 取扱書

よくお読みになってご使用ください。  
取扱書は車の中に保管しましょう。

# PROBOX





## イラスト目次

イラストから検索

### 1 安全・安心のために

お客様に**必ず**お読みいただきたいこと

### 2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

### 3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

### 4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

### 5 オーディオ

オーディオの使い方など

### 6 室内装備・機能

室内装備の使い方など

### 7 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

### 8 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

### 9 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

## さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと .....	6
本書の見方 .....	10
検索のしかた .....	11
イラスト目次 .....	12

## 1 安全・安心のために

1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に .....	20
安全なドライブのために .....	22
シートベルト .....	24
SRS エアバッグ .....	29
お子さまの安全のために .....	35
子供専用シート .....	36
チャイルドシートの 取り付け .....	43
排気ガスに対する注意 .....	46

## 2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯 .....	48
計器類 .....	52
マルチインフォメーション ディスプレイ .....	53

## 3 各部の操作

3-1. キー	
キー .....	58
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
ドア （フロントドア・リヤドア） ..	60
バックドア .....	64
3-3. シートの調整	
フロントシート .....	69
リヤシート .....	70
ヘッドレスト .....	76
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル .....	78
インナーミラー .....	80
ドアミラー .....	82
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウインドウ .....	84

## 4 運転

- 4-1. 運転にあたって  
 運転にあたって ..... 88  
 荷物を積むときの注意 ..... 98
- 4-2. 運転のしかた  
 エンジン（イグニッション）  
 スイッチ ..... 99  
 オートマチックトランス  
 ミッション（CVT） ..... 102  
 方向指示レバー ..... 104  
 パーキングブレーキ ..... 105
- 4-3. ランプのつけ方・  
 ワイパーの使い方  
 ランプスイッチ ..... 106  
 リヤフォグランプスイッチ ..... 108  
 ワイパー&ウォッシャー  
 （フロント） ..... 110  
 ワイパー&ウォッシャー  
 （リヤ） ..... 112
- 4-4. 給油のしかた  
 給油口の開け方 ..... 114
- 4-5. 運転支援装置について  
 バックモニター ..... 118  
 運転を補助する装置 ..... 129
- 4-6. 運転のアドバイス  
 寒冷時の運転 ..... 135

## 5 オーディオ

- 5-1. オーディオの基本操作  
 オーディオの種類 ..... 140
- 5-2. オーディオの使い方  
 快適に聞くために ..... 141
- 5-3. ラジオの使い方  
 ラジオの使い方 ..... 142
- 5-4. 外部入力接続機器の使い方  
 AUX 端子（外部入力接続）  
 の使い方 ..... 144
- 5-5. アンテナの取り扱い  
 アンテナ ..... 146

**6 室内装備・機能**

6-1. エアコン・デフォグガーの 使い方	
マニュアルエアコン .....	148
6-2. 室内灯のつけ方	
室内灯一覧 .....	153
・フロントルームランプ・ リヤルームランプ .....	153
6-3. 収納装備の使い方	
収納装備一覧 .....	154
・セントアトレイ (ドリンクホルダー付) .....	156
・マルチホルダー .....	158
・インパネトレイ .....	161
・開閉式 ワイドフリーラック .....	162
・センターボックス .....	162
・カップホルダー・ ボトルホルダー .....	163
・オープントレイ・ ポケット .....	165
6-4. その他の室内装備の使い方	
その他の室内装備 .....	166
・サンバイザー .....	166
・時計 .....	167
・アクセサリースOCKET・ アクセサリーコンセント .....	168
・インパネテーブル .....	170
・コートフック .....	172
・デッキサイドポケット .....	172

**7 お手入れのしかた**

7-1. お手入れのしかた	
外装の手入れ .....	174
内装の手入れ .....	177
7-2. 簡単な点検・部品交換	
ボンネット .....	179
ガレージジャッキ .....	181
ウォッシュャー液の補給 .....	182
タイヤについて .....	183
エアコンフィルターの 交換 .....	187
ワイヤレスキーの電池交換 ..	190
ヒューズの点検・交換 .....	192
電球 (バルブ) の交換 .....	194

## 8 万が一の場合には

### 8-1. まず初めに

故障したときは .....	206
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	207
発炎筒 .....	208
車両を緊急停止するには .....	210

### 8-2. 緊急時の対処法

けん引について .....	211
警告灯がついたときは .....	218
パンクしたときは .....	221
エンジンが かからないときは .....	232
シフトレバーが シフトできないときは .....	233
バッテリーが あがったときは .....	234
オーバーヒートしたときは .....	238
スタックしたときは .....	241

## 9 車両情報

### 9-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など) .....	244
--------------------------------------	-----

### 9-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ 機能一覧 .....	251
--------------------------	-----

## さくいん

こんなときは (症状別さくいん) .....	254
車から音が鳴ったときは (音さくいん) .....	257
アルファベット順さくいん .....	258
五十音順さくいん .....	260

## 知っておいていただきたいこと

### 本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取り扱い説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

### 不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換  
異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
  - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし  
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントウィンドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

## 車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

### ● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー (EDR) が装備されています。EDR は、一定の衝突や衝突に近い状態 (SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など) が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報 (例：氏名・性別・年齢・衝突場所) は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせ使用することがあります。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

### ● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意 (リース車は借主の同意) がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

## RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- ABS（アンチロックブレーキシステム）
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

## 保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

## 本書の見方



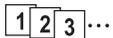
**警告**

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



**注意**

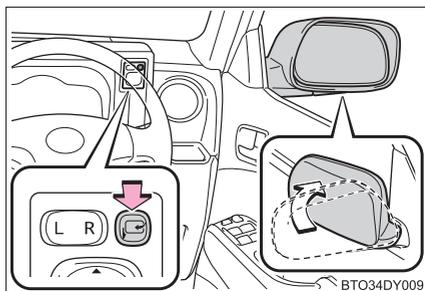
お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。



操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

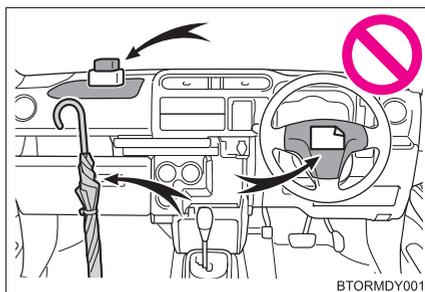
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

⇨ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



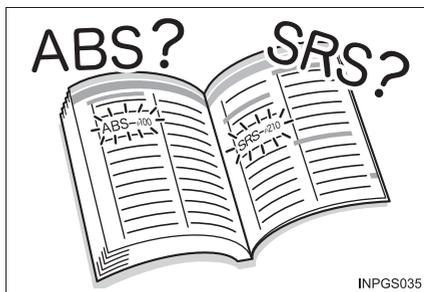
**知識**

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

## 検索のしかた

### ■ 名称から探す

- ・ 五十音順さくいん .....260
- ・ アルファベット順  
さくいん .....258



### ■ 取り付け位置から探す

- ・ イラスト目次 ..... 12



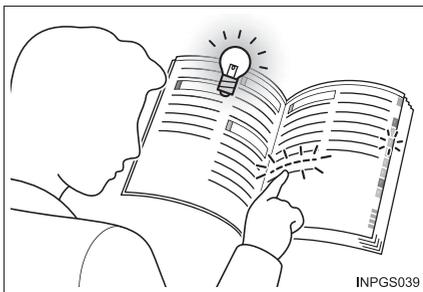
### ■ 症状や音から探す

- ・ こんなときは  
(症状別さくいん) .....254
- ・ 車から音が鳴ったときは  
(音さくいん) .....257



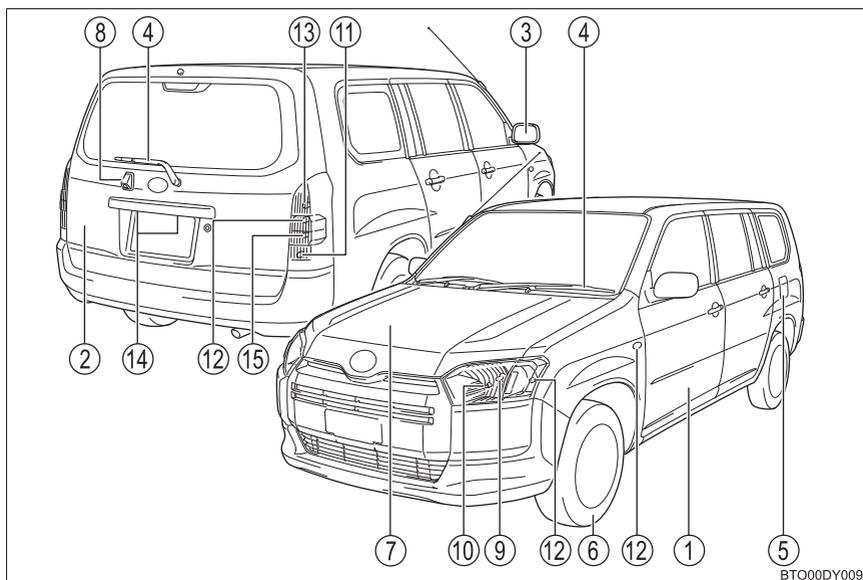
### ■ タイトルから探す

- ・ 目次 .....2



# イラスト目次

## ■ 外観



BTO00DY009

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ① ドア .....            | P. 60       |
| 施錠／解錠 .....           | P. 60       |
| ドアガラスの開閉★ .....       | P. 84       |
| 警告灯 .....             | P. 219      |
| ② バックドア .....         | P. 64       |
| 施錠／解錠 .....           | P. 64       |
| 警告灯 .....             | P. 219      |
| ③ ドアミラー .....         | P. 82       |
| 鏡面の角度調整 .....         | P. 82       |
| ミラーの格納 .....          | P. 82       |
| 曇りを取る（ミラーヒーター）★ ..... | P. 149      |
| ④ ワイパー .....          | P. 110, 112 |
| 冬季の注意 .....           | P. 135      |

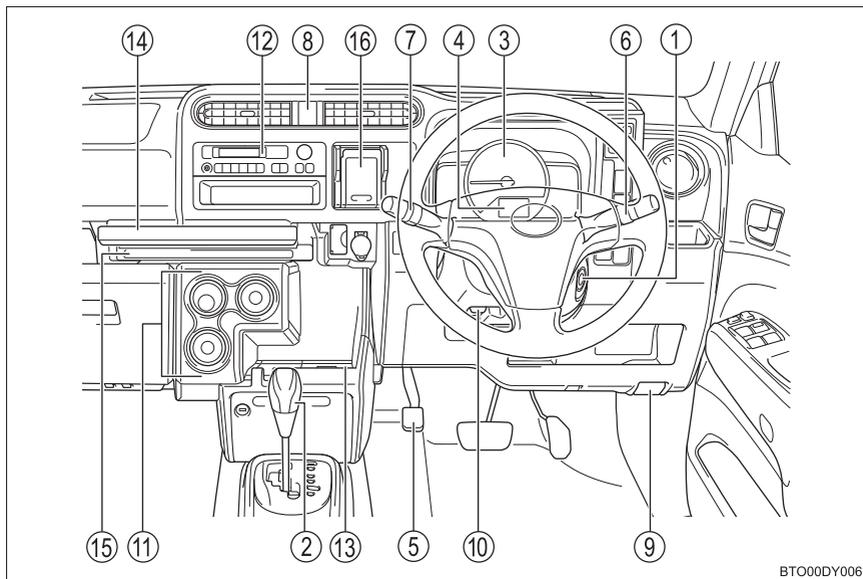
- ⑤ 給油口.....P. 114  
     給油方法.....P. 114  
     燃料の種類・燃料タンク容量.....P. 244
- ⑥ タイヤ.....P. 183  
     サイズ・空気圧.....P. 249  
     冬用タイヤ・タイヤチェーン.....P. 135  
     点検・ローテーション.....P. 183  
     パンク時の対処.....P. 221
- ⑦ ボンネット.....P. 179  
     開け方.....P. 179  
     エンジンオイル.....P. 245  
     オーバーヒート時の対処.....P. 238
- ⑧ カメラ★.....P. 118

### 走行に関わる外装のランプバルブ (交換要領：P. 194, ワット数：P. 250)

- ⑨ ヘッドランプ.....P. 106
- ⑩ 車幅灯.....P. 106
- ⑪ リヤフォグランプ★.....P. 108
- ⑫ 方向指示灯.....P. 104  
     緊急ブレーキシグナル.....P. 129
- ⑬ 制動灯／尾灯.....P. 106  
     ヒルスタートアシストコントロール.....P. 129
- ⑭ 番号灯.....P. 106
- ⑮ 後退灯  
     シフトポジションを R にする.....P. 102

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ インストルメントパネル



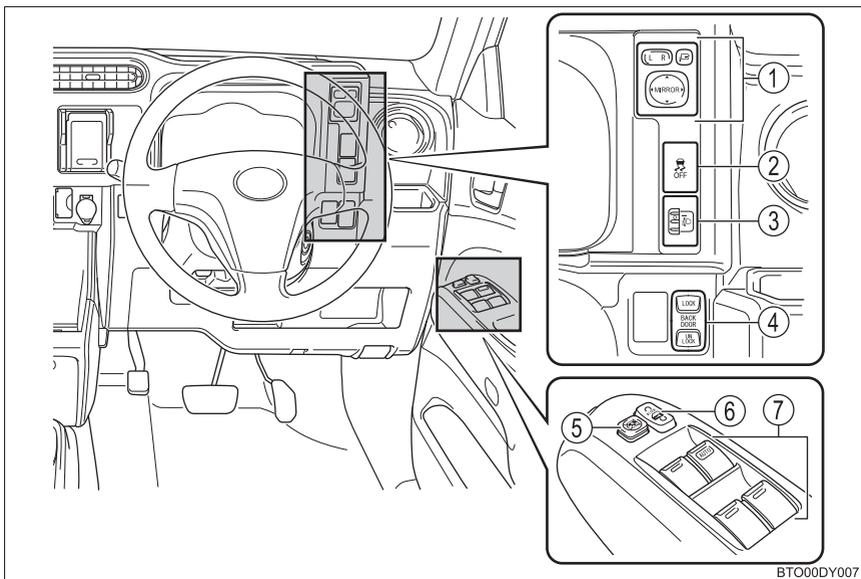
BTO00DY006

- ① **エンジンスイッチ** ..... **P. 99**  
 エンジンの始動・位置の切りかえ ..... P. 99  
 エンジンの緊急停止 ..... P. 210  
 エンジンが始動できないときの対処 ..... P. 232
- ② **シフトレバー** ..... **P. 102**  
 シフトポジションの切りかえ ..... P. 102  
 けん引時の注意 ..... P. 211  
 シフトレバーが動かないときの対処 ..... P. 233
- ③ **メーター** ..... **P. 52**  
 見方・明るさの調整 ..... P. 52, 55  
 警告灯／表示灯 ..... P. 48  
 警告灯点灯時の対処 ..... P. 49, 218

- ④ マルチインフォメーションディスプレイ .....P. 53
- ⑤ パーキングブレーキ .....P. 105
  - かける・解除する .....P. 105
  - 冬季の注意 .....P. 136
  - 警告ブザー .....P. 105
- ⑥ 方向指示レバー .....P. 104
  - ランプスイッチ .....P. 106
  - ヘッドランプ・車幅灯・尾灯 .....P. 106
  - リヤフォグランプ★ .....P. 108
- ⑦ ワイパー&ウォッシャースイッチ .....P. 110, 112
  - 使い方 .....P. 110, 112
  - ウォッシャー液の補給 .....P. 182
- ⑧ 非常点滅灯スイッチ .....P. 207
- ⑨ ボンネット解除レバー .....P. 179
- ⑩ ハンドル位置調整レバー .....P. 78
- ⑪ マニュアルエアコン .....P. 148
  - 操作方法 .....P. 148
  - リヤウインドウガラスの曇り取り  
(リヤウインドウデフォグガー) .....P. 149
- ⑫ オーディオ★ .....P. 140
- ⑬ センタートレイ (ドリンクホルダー付) .....P. 156
- ⑭ インパネテーブル .....P. 170
- ⑮ インパネトレイ .....P. 161
- ⑯ マルチホルダー .....P. 158

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

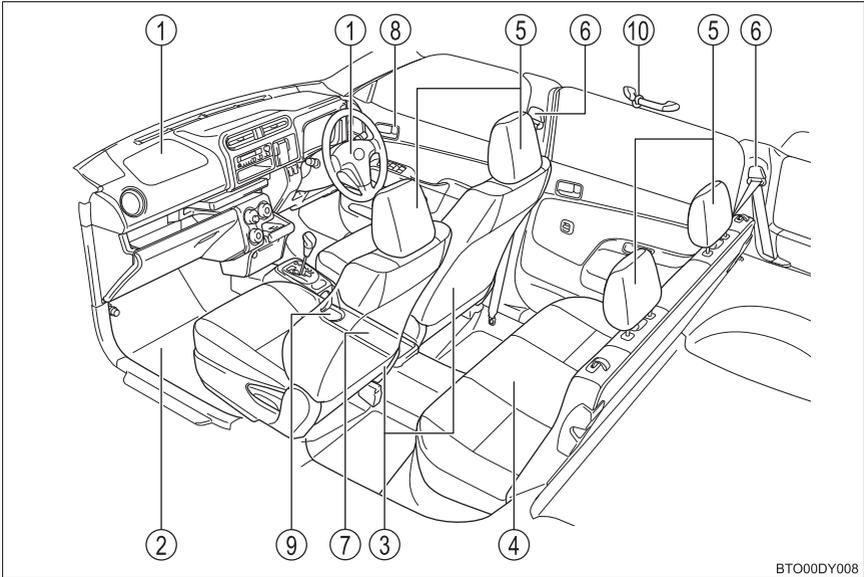
## ■ スイッチ類



BTO00DY007

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| ① ドアミラースイッチ .....     | P. 82  |
| ② VSC OFF スイッチ .....  | P. 130 |
| ③ 手動光軸調整ダイヤル.....     | P. 107 |
| ④ バックドアロックスイッチ★ ..... | P. 64  |
| ⑤ ウィンドウロックスイッチ★ ..... | P. 85  |
| ⑥ ドアロックスイッチ★ .....    | P. 61  |
| ⑦ パワーウィンドウスイッチ★ ..... | P. 84  |

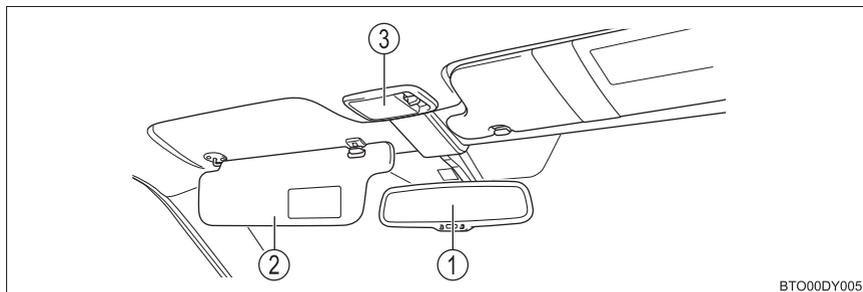
## ■ 室内



BTO00DY008

① SRS エアバッグ	P. 29
② フロアマット	P. 20
③ フロントシート	P. 69
④ リヤシート	P. 70
⑤ ヘッドレスト★	P. 76
⑥ シートベルト	P. 24
⑦ センターコンソールトレイ	P. 165
⑧ ロックレバー	P. 61
⑨ カップホルダー	P. 163
⑩ コートフック	P. 172

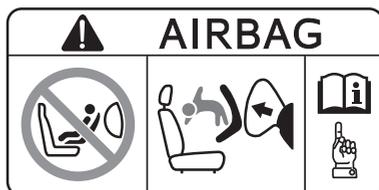
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



BTO00DY005

- ① インナーミラー .....P. 80
- ② サンバイザー※<sup>1</sup> .....P. 166
- ③ ルームランプ※<sup>2</sup> .....P. 153

※<sup>1</sup> : やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→P. 45)



※<sup>2</sup> : 図はフロントですが、リアにも装着されています。

## 安全・安心のために

～必ずお読みください～

### 1

1. 安全にお使いいただくために
  - 運転する前に.....20
  - 安全なドライブのために .....22
  - シートベルト.....24
  - SRS エアバッグ.....29
  - お子さまの安全のために .....35
  - 子供専用シート.....36
  - チャイルドシートの
    - 取り付け.....43
    - 排気ガスに対する注意 .....46

## 運転する前に

### 点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

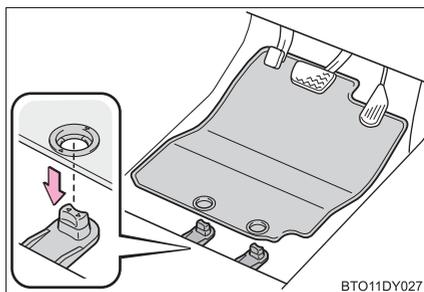
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

### フロアマット

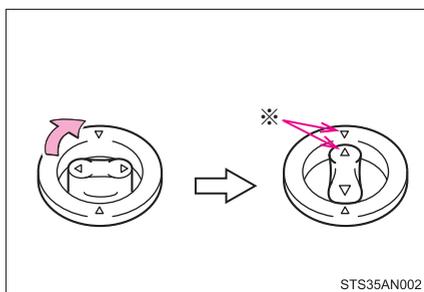
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

**警告**

次のことを必ずお守りください。

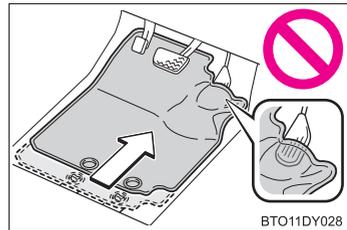
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■運転席にフロアマットを敷くとき**

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

**■運転する前に**

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- エンジン停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

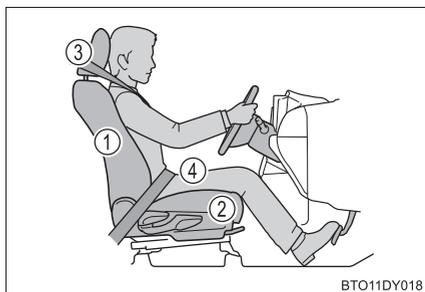


## 安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

### 正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→ P. 69）
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→ P. 69）
- ③ 分割式ヘッドレスト装着車：ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→ P. 76）
- ④ シートベルトを正しく着用する（→ P. 24）



### シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→ P. 24）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。（→ P. 36）

### ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→ P. 80, 82）

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。  
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。  
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。  
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。  
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

## シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

### 正しく着用する

#### ◆ 3点式シートベルト

- 肩部ベルトを肩に十分かける  
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



BTO11DY001

#### ◆ 2点式シートベルト

- ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させ、ベルトの長さを調整する
- 上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする

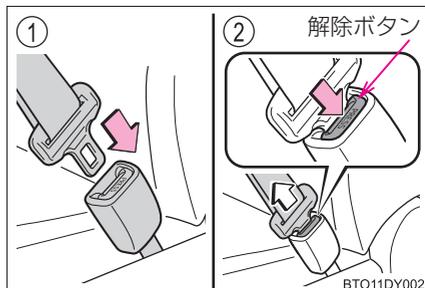


BTO11DY005

### 着け方・はずし方

- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す

はずした2点式シートベルトを使用しないときは、プレートをバックルにはめておいてください。

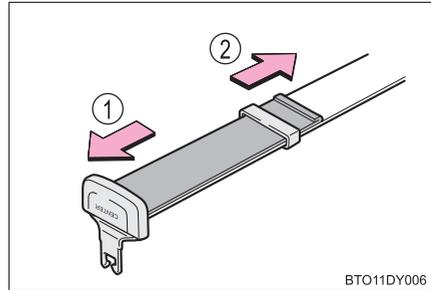


BTO11DY002

## シートベルトの長さ調整（2点式シートベルト）

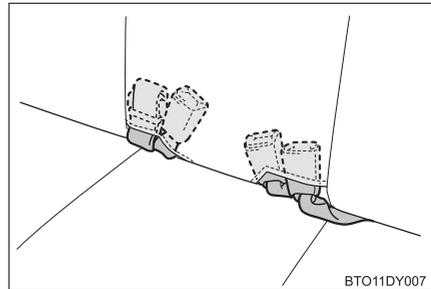
- ① 伸ばす
- ② 縮める

着用時は、必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着するようにベルトの長さを調整してください。



## 格納のしかた（リヤ席）

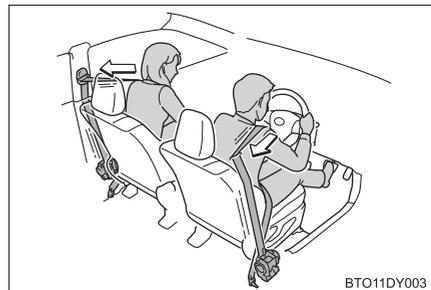
シートベルトを使用しないときは、ポケットに格納しておくことができます。



## シートベルトプリテンショナー（フロント席）

前方から強い衝撃を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



 知識**■ シートベルトロックの解除方法（3点式シートベルト）**

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

**■ お子さまのシートベルトの使い方**

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合った子供専用シートを使用してください。（→ P. 36）
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。（→ P. 24）

**■ シートベルトプリテンショナーについて**

シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

**警告**

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■シートベルトの着用について**

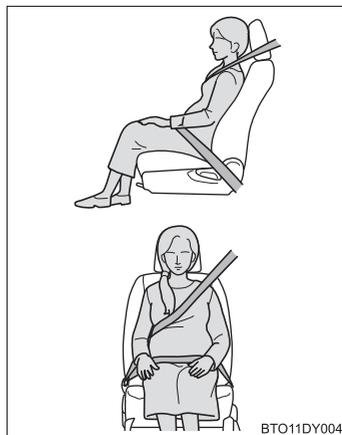
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する  
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する
- リヤシートベルトを格納ポケットの中に押し込んだ状態で使用しない

**■妊娠中の女性の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→ P. 24)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



 **警告****■ 疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

**■ お子さまを乗せるとき**

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのようになってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

**■ プリテンショナー付シートベルトについて**

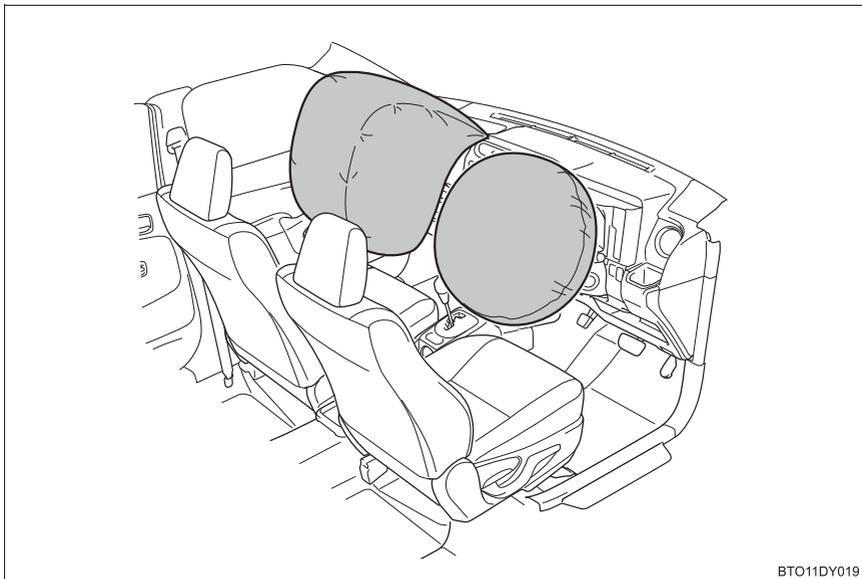
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

**■ シートベルトの損傷・故障について**

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときは、シートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付シートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



BTO11DY019

### ◆ フロント SRS エアバッグ

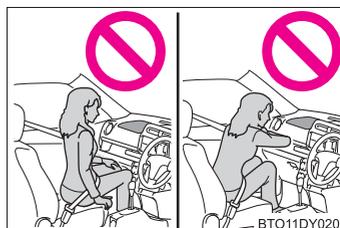
運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ  
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

**警告****■ SRS エアバッグについて**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

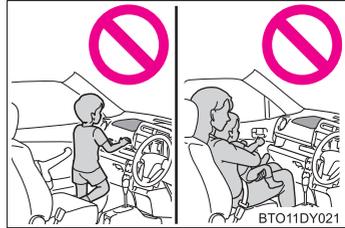
- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。  
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。  
お子さまはリヤシートに乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→ P. 36)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



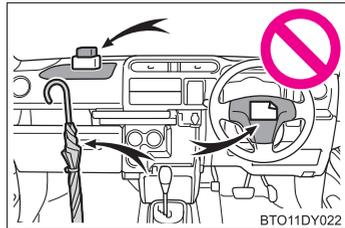
## 警告

### ■ SRS エアバッグについて

- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- マルチホルダーやインパネテーブルを引き出したまま走行しない
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。  
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。  
皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

 **警告****■ 改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。  
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパーの修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 知識

### ■ SRS エアバッグが作動すると

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- エアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）が数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

### ■ SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

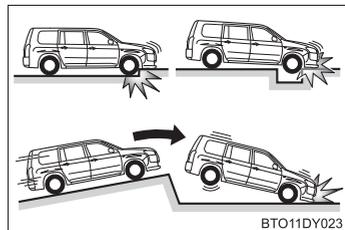
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

- ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
  - ・ もぐり込むような衝撃の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

### ■ 衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、SRS エアバッグが作動する場合があります。

- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

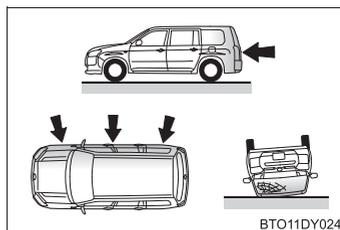


BTO11DY023

### ■ SRS エアバッグが作動しないとき

SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転、または低速での前方からの衝撃では、通常作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、SRS エアバッグが作動することがあります。

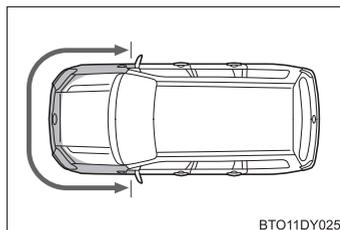
- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



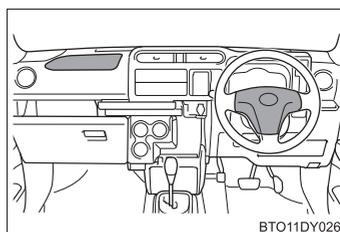
### ■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



## お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→ P. 36)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウ★を誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→ P. 62)・ウィンドウロックスイッチ★(→ P. 85)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ★・ボンネット・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

### 警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→ P. 43)

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

### 知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取り扱い説明書をお読みください。

### 子供専用シートの適合性一覧表について

#### ■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

- グループ0 : 10kg まで
- グループ0+ : 13kg まで
- グループI : 9 ~ 18kg
- グループII : 15 ~ 25kg
- グループIII : 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

#### ■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それにもなう取り付け器具の記号になります。

## 子供専用シートの種類

### ▶ ベビーシート



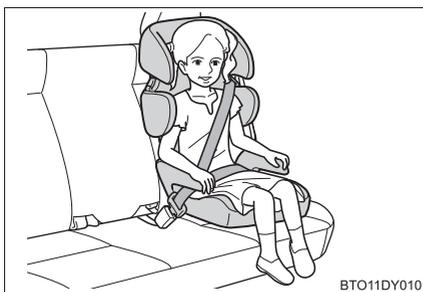
ECE R44 基準のグループ 0、0+  
に相当

### ▶ チャイルドシート



ECE R44 基準のグループ 0+、I  
に相当

### ▶ ジュニアシート



ECE R44 基準のグループ II、IIIに  
相当

## シート位置別子供専用シート適合性一覧表（シートベルトでの取り付け）

## ▶ クッション固定式リヤシート装着車

質量グループ	着座位置（または他の位置）			
	フロントシート	リヤシート		
	助手席	右席	左席	中央席
Ⅰ (10kg まで)	×	L1、L2、L3 <sup>*2</sup>	L1、L2、L3 <sup>*2</sup>	×
Ⅰ+ (13kg まで)	×	L1、L2、L3 <sup>*2</sup>	L1、L2、L3 <sup>*2</sup>	×
Ⅱ (9～18kg)	うしろ向き ×	L2、L3 <sup>*2</sup>	L2、L3 <sup>*2</sup>	×
	前向き UF <sup>*1</sup>			
Ⅲ (15～25kg)	UF <sup>*1</sup>	L4	L4	×
Ⅳ (22～36kg)	UF <sup>*1</sup>	L4	L4	×

## ● 上表に記入する記号の説明

UF：この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向きの子供専用シートに適しています。

L1：この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby」に適しています。

L2：この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child baby」に適しています。

L3：この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether」に適しています。

L4：この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正ジュニアシート」に適しています。

×：子供専用シートを取り付けることはできません。

- ※<sup>1</sup> 背もたれを直立状態にしてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。
- ※<sup>2</sup> 子供専用シートを取り付ける位置側のフロントシート前後位置を前から 9 段目までの固定位置のいずれかに調整してください。  
この調整により正しい運転姿勢をとれない場合は、左席に取り付けてください。

子供専用シートの装着については、子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

### ● 子供専用シートのリスト

質量グループ	子供専用シート	カテゴリー
0 (10kg まで)	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	汎用
	トヨタ純正 NEO G-Child baby	汎用
	トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether	汎用
0+ (13kg まで)	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	汎用
	トヨタ純正 NEO G-Child baby	汎用
	トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether	汎用
I (9 ~ 18kg)	トヨタ純正 NEO G-Child baby	汎用
	トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether	汎用
II (15 ~ 25kg)	トヨタ純正ジュニアシート	汎用
III (22 ~ 36kg)	トヨタ純正ジュニアシート	汎用

## ▶ クッション引き起こし式リヤシート装着車

質量グループ	着座位置（または他の位置）			
	フロントシート	リヤシート		
	助手席	右席	左席	中央席
0（10kg まで）	×	U※2	U※2	×
0+（13kg まで）	×	U※2	U※2	×
I（9～18kg）	うしろ向き ×	U※2	U※2	×
	前向き UF※1			
II（15～25kg）	UF※1	U※2	U※2	×
III（22～36kg）	UF※1	U※2	U※2	×

## ● 上表に記入する記号の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの子供専用シートに適しています。

UF： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリの前向きの子供専用シートに適しています。

×： 子供専用シートを取り付けることはできません。

※1 背もたれを直立状態にしてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。

※2 子供専用シートを取り付ける位置側のフロントシート前後位置を前から 5 段目までの固定位置のいずれかに調整してください。  
この調整により正しい運転姿勢をとれない場合は、左席に取り付けてください。

子供専用シートの装着については、子供専用シートの取り扱い説明書もご確認ください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

## 知識

### ■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分に大きく、子供専用シートが不要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

### ■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

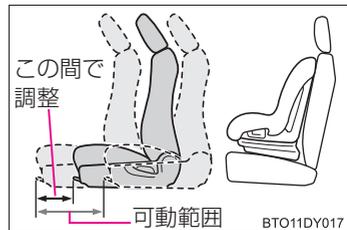
「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→ P. 38)を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

### ■ リヤシートに子供専用シートを取り付けるとき

(クッション固定式リヤシート装着車の「トヨタ純正ジュニアシート」を除く)

リヤシートに子供専用シートを取り付ける場合には、取り付ける位置側のフロントシート前後位置を次の位置に調整してください。

- クッション固定式リヤシート装着車：  
前から9段目までの固定位置のいずれか
- クッション引き起こし式リヤシート装着車：  
前から5段目までの固定位置のいずれか

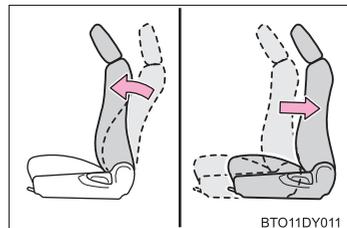


この調整により正しい運転姿勢をとれない場合は、左席に取り付けてください。

### ■ 助手席に子供専用シートを取り付けるとき

やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- 背もたれを直立状態にする
- シートをいちばんうしろに下げる



 **警告****■ 子供専用シートを使用しない場合**

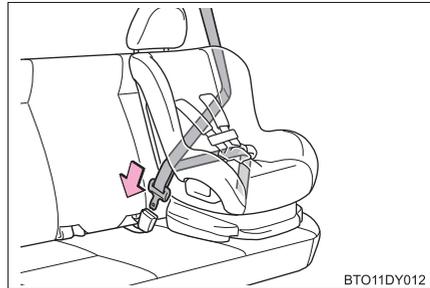
- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。

## チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシート左右席に取り付けてください。取り付け方法は、必ず商品に付属の取り扱い説明書に従ってください。

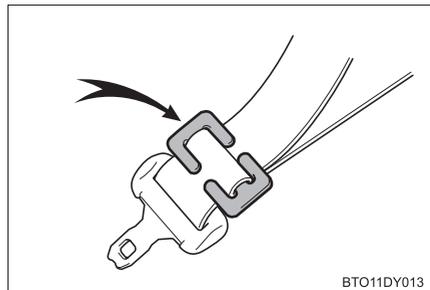
- 1 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで押し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取り扱い説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



- 2 チャイルドシートにシートベルトの固定機構が備わっていない場合は、ロックングクリップ（別売）を使用して固定する

ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロックングクリップ品番：73119-22010）



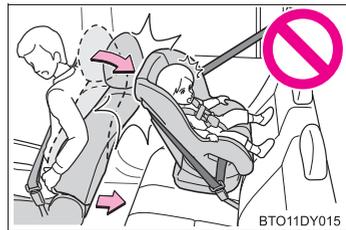
取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

**警告****■チャイルドシートについて**

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取り扱い説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一、ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルが固定されていて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。

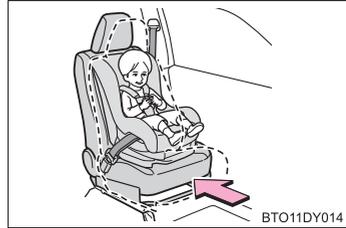


## 警告

### ■チャイルドシートを取り付けるとき

- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろに下げて取り付けてください。

助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けしないでください。  
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。
- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## 排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

### 警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

#### ■ 駐車するとき

- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。
- 長時間エンジンをかけたままにしないでください。  
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。  
まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

#### ■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

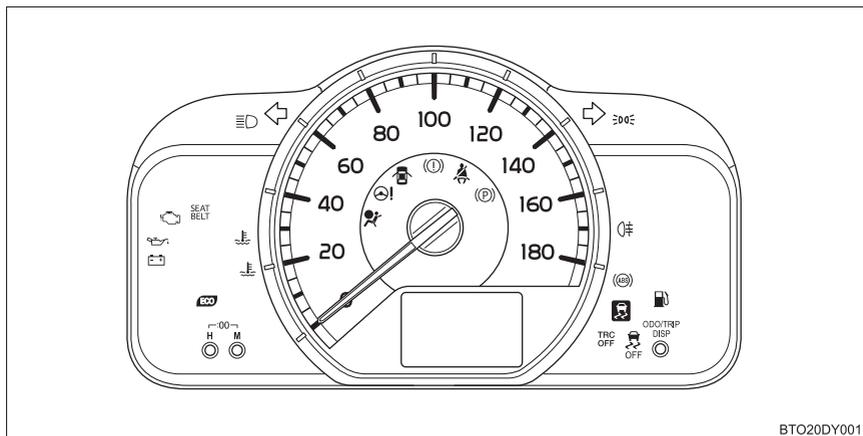
## メーターの見方

# 2

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	48
計器類.....	52
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	53

## 警告灯 / 表示灯

メーターの警告灯・表示灯でお車の状況をお知らせします。



## 警告灯

万一のシステム異常などを警告します。(→ P. 218)



ブレーキ警告灯  
(→ P. 218)



ABS & ブレーキアシスト  
警告灯 (→ P. 219)



充電警告灯 (→ P. 218)



パワーステアリング警告灯  
(→ P. 219)



油圧警告灯 (→ P. 218)



スリップ表示灯  
(→ P. 219)



高水温警告灯 (→ P. 218)



半ドア警告灯 (→ P. 219)



エンジン警告灯  
(→ P. 218)



燃料残量警告灯  
(→ P. 219)



SRS エアバッグ/  
プリテンショナー警告灯  
(→ P. 218)



運転席シートベルト非着用  
警告灯 (→ P. 219)

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後またはエンジンをかけると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 表示灯

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯  
(→ P. 104)



(点滅)

スリップ表示灯  
(→ P. 130)



尾灯表示灯 (→ P. 106)



TRC OFF 表示灯  
(→ P. 130)



ハイビーム表示灯  
(→ P. 106)



VSC OFF 表示灯  
(→ P. 131)



リアフォグランプ表示灯★  
(→ P. 108)



シートベルトインフォメーション表示灯



パーキングブレーキ表示灯  
(→ P. 105)



エコドライブインジケータランプ (→ P. 90)



低水温表示灯

(青色)

※ 作動確認のためにエンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ 低水温表示灯 (青色)

エンジンスイッチが“ON”のとき、エンジン冷却水温が低いと点灯します。

### ■ シートベルトインフォメーション表示灯

エンジンスイッチを“ON”にすると、約 10 秒間点滅して運転者に同乗者のシートベルト着用をうながします。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ シートベルトインフォメーション表示灯について

- 停車中でエンジンスイッチが“ON”のとき、いずれかのドアを開閉すると点滅します。
- シートベルトを着用していてもエンジンスイッチを“ON”にするたび、点滅します。また、点滅中にシートベルトを着用しても、約 10 秒経過するまで消灯しません。

 警告

## ■ 安全装置の警告灯が点灯しないときは

ABS や SRS エアバッグなどの安全装置の警告灯が、エンジンスイッチを“ON”にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 注意

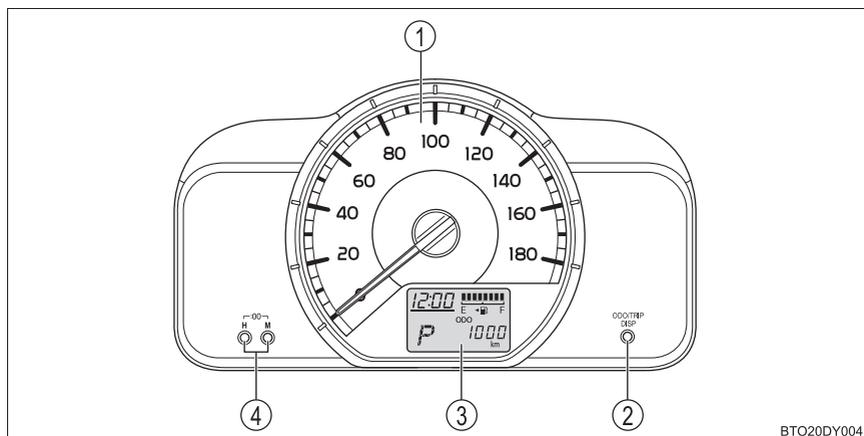
## ■ エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

高水温警告灯（赤色）が点滅または点灯したときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。（→ P. 238）

## ■ 低水温表示灯（青色）が点灯したままのときは

暖機を十分続けていても、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーの異常が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 計器類



- ① スピードメーター  
車両の走行速度を示します。
- ② 表示切りかえボタン  
オドメーター・トリップメーター・燃費表示などの切りかえができます。  
(→ P. 53)
- ③ マルチインフォメーションディスプレイ  
時計や外気温、走行に関するさまざまな情報を表示します。(→ P. 53)
- ④ 時計調整ボタン  
時刻を調整します。(→ P. 167)

---

 知識

## ■メーター・ディスプレイの作動条件

エンジンスイッチが“ON”のとき

## マルチインフォメーションディスプレイ

### 表示内容

マルチインフォメーションディスプレイは、時計や外気温、走行に関するさまざまな情報を表示します。

- トリップインフォメーション (→ P. 54)

オドメーター、トリップメーター、航続可能距離や燃費など、走行に関する情報を表示します。

- 外気温

外気温を表示します。

– 40℃～50℃のあいだで表示します。

- エコドライブインジケータランプのカスタマイズ (→ P. 55)

- メーター照度調整 (→ P. 55)

メーター照明の明るさを調整できます。

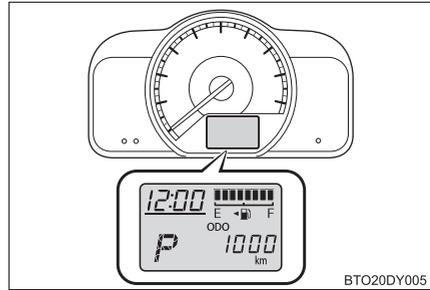
- 時計 (→ P. 167)

- 燃料計

燃料残量を表示します。

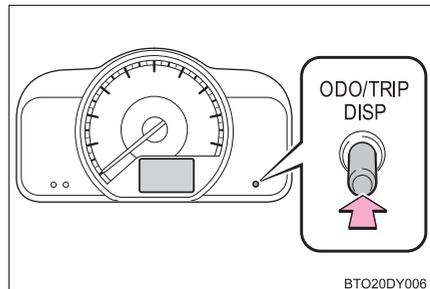
- シフトポジション表示

選択されているシフトポジションを表示します。



### 表示切りかえ

表示を切りかえるには、表示切りかえボタンを押します。



## トリップインフォメーションの機能

### ■ オドメーター

走行した総距離を表示します。

### ■ トリップメーター

リセットしてからの走行距離を表示します。

- ・ 区間距離は、トリップA・トリップB の2種類で使い分けることができます。
- ・ 表示切りかえボタンを約 1 秒以上押すと 0 にもどります。

### ■ 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

### ■ 平均燃費

リセットしてからの平均燃費を表示します。

- ・ リセットするには、平均燃費の表示中に表示切りかえボタンを約 1 秒以上押します。
- ・ 表示される平均燃費は、参考として利用してください。

### ■ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。給油の際はエンジンスイッチを“LOCK”にしてください。万一、エンジンスイッチを“LOCK”にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

## メーター照度調整表示



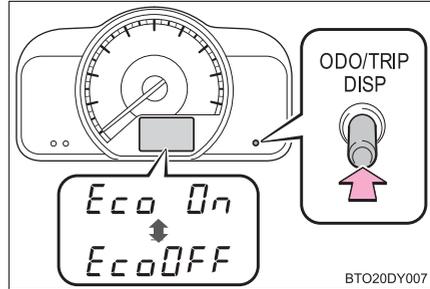
車幅灯が点灯しているとき、メーター照度調整表示に切りかえることができます。

表示切りかえボタンを約 1 秒以上押すと照度を 4 段階に調整できます。

## エコドライブインジケータランプのカスタマイズ

エコドライブインジケータランプは、作動／非作動を設定することができます。

- 1 オドメーター表示中に表示切りかえボタンを約 5 秒以上押す  
カスタマイズ画面が表示されます。
- 2 表示切りかえボタンを押して  
ON / OFF を選択する



- 3 表示切りかえボタンを約 2 秒以上押す

 知識

## ■ バッテリー端子の脱着をしたときは

バッテリー端子の脱着を行うと、次のデータはリセットされます。

- 平均燃費
- 航続可能距離
- メーター照度
- 時計

## ■ 外気温度表示について

次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

## ■ 外気温度表示で“—”または“E”が表示されたときは

システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■ 液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で、異常ではありません。

 注意

## ■ 低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車内を暖めてください。

**各部の操作****3**

3-1. キー	
キー .....	58
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
ドア	
(フロントドア・リヤドア) ...	60
バックドア .....	64
3-3. シートの調整	
フロントシート .....	69
リヤシート .....	70
ヘッドレスト .....	76
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル .....	78
インナーミラー .....	80
ドアミラー .....	82
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ .....	84

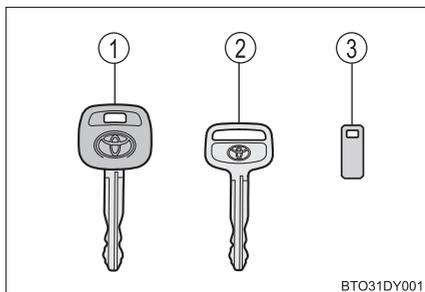
## キー

### キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

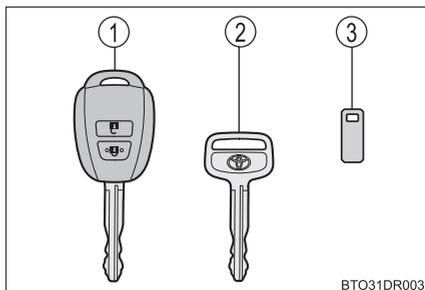
#### ▶ ワイヤレスドアロック非装着車

- ① マスターキー
- ② スペアキー
- ③ キーナンバープレート



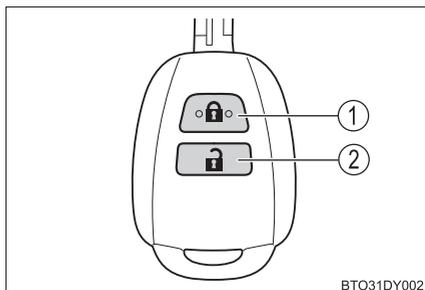
#### ▶ ワイヤレスドアロック装着車

- ① ワイヤレスリモコン付き  
マスターキー
- ② スペアキー
- ③ キーナンバープレート



### ワイヤレスリモコン★

- ① ドアの施錠 (→ P. 60)
- ② ドアの解錠 (→ P. 60)



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識**■ キーを紛失したとき**

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

**■ 航空機に乗るときは（ワイヤレスドアロック装着車）**

航空機にワイヤレスキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

**■ 電池の消耗について（ワイヤレスドアロック装着車）**

- 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。
- ワイヤレスリモコンを使用しなくても電池は消耗します。  
次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。（→ P. 190）
  - ・ ワイヤレスリモコンが作動しない
  - ・ 作動範囲が狭くなった

 注意**■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- むらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない

**■ キー取り扱いの注意（ワイヤレスドアロック装着車）**

ワイヤレスキーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。
- 認証ラベルをはがさないでください。認証ラベルのないものの使用は禁止されています。

## ドア（フロントドア・リヤドア）

### 車外からの施錠・解錠

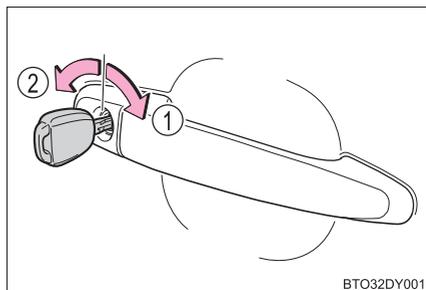
#### ◆ キー

- ▶ ドアロックスイッチ非装着車の  
フロントドア

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

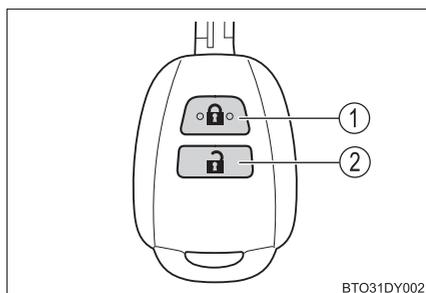
- ▶ ドアロックスイッチ装着車の  
運転席ドア

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



#### ◆ ワイヤレスリモコン★

- ① 全ドアを施錠する  
必ず施錠されたことを確認してください。
- ② 全ドアを解錠する



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 知識

### ■ 作動の合図（ワイヤレスドアロック装着車）

ワイヤレスリモコンでのドアの施錠・解錠を非常点滅灯の点滅で知らせます。  
（施錠は 1 回、解錠は 2 回）

### ■ ワイヤレスリモコンの作動条件（ワイヤレスドアロック装着車）

- 周囲の状況により作動可能距離がかわることがあります。確実に作動させるためには、車から約 1m まで近付いて操作してください。
- エンジンスイッチにキーが挿し込まれている場合は、ワイヤレスリモコンが作動しません。

### ■ 解錠操作のセキュリティ機能（ワイヤレスドアロック装着車）

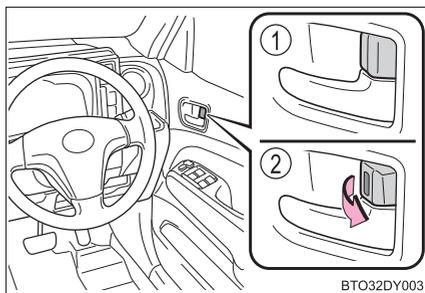
ワイヤレスリモコンでの解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

## 車内からの施錠・解錠

### ◆ ロックレバー

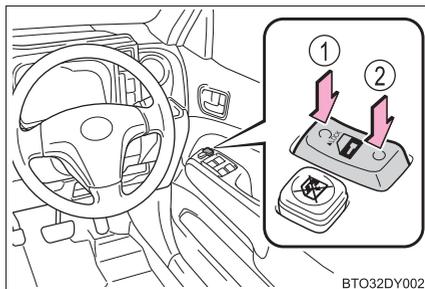
- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開けられます。



### ◆ ドアロックスイッチ★

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### キーを使わずに外側からフロント席を施錠するときは

- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

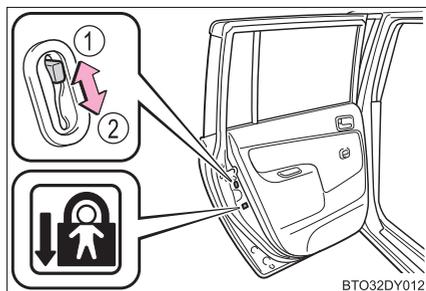
キーがエンジンスイッチに挿し込まれているときは施錠されません。

### チャイルドプロテクター

施錠側になると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

- 1 解錠
- 2 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



BTO32DY012

### 知識

#### ■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、リヤドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

#### ■ワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況 (ワイヤレスドアロック装着車)

- 次のような場合、ワイヤレス機能が正常に働かないおそれがあります。
  - ・ ワイヤレスキーの電池が消耗しているとき
  - ・ 近くにテレビ塔や発電所・放送局・空港など強い電波を発生する設備、電波式のオーディオ機器など電波を発生する電子機器・大型ディスプレイがあるとき
  - ・ 無線機や携帯電話・コードレス電話などの無線通信機器を携帯しているとき
  - ・ ワイヤレスキーが金属製のものに接したり、覆われているとき
  - ・ 近くで電波式ワイヤレスキーを使用しているとき
  - ・ ワイヤレスキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いているとき
  - ・ リヤウインドウガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

 **警告****■ 事故を防ぐために**

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない  
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

**■ ドアを開閉するときは**

傾斜した場所・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

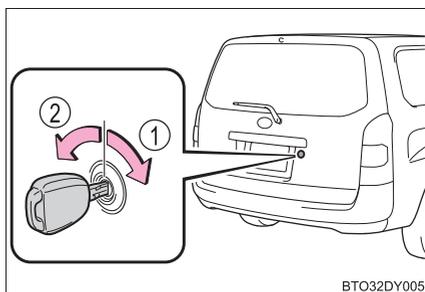
## バックドア

バックドアは次の方法で施錠・解錠、および開けることができます。

### 車外からの施錠・解錠

#### ◆ キー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する



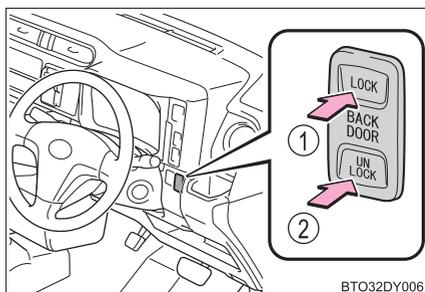
#### ◆ ワイヤレスリモコン★

→ P. 60

### 車内からの施錠・解錠

#### ◆ バックドアロックスイッチ★

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する



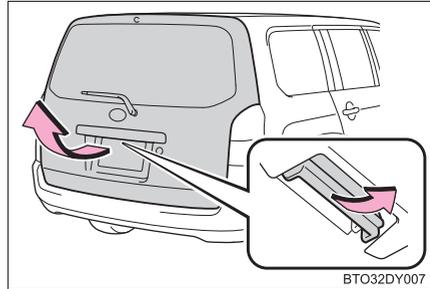
#### ◆ ドアロックスイッチ★

→ P. 61

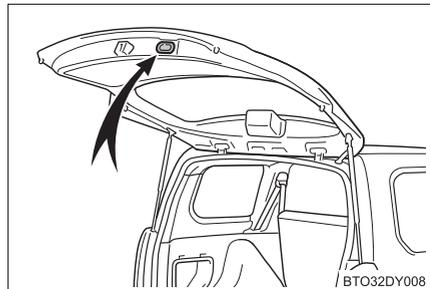
★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**バックドアを開けるには**

バックドアハンドルを引いて、バックドアを持ち上げる

**バックドアを閉めるときは**

バックドアハンドルを持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。



 **警告****■ 走行中の警告**

- 走行中はバックドアを閉めてください。  
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあり危険です。走行前にバックドアが閉まっていることを必ず確認してください。
- 走行前にバックドアが完全に閉まっていることを確認してください。  
バックドアが完全に閉まっていなると、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ラゲージルームには絶対に人を乗せないでください。  
急ブレーキ、急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ お子さまを乗せているときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ラゲージルームでお子さまを遊ばせないでください。  
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。  
不意にバックドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

## 警告

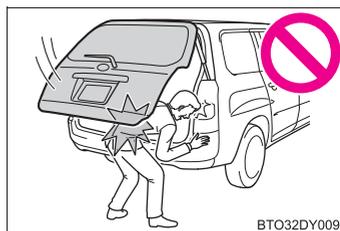
### ■ バックドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

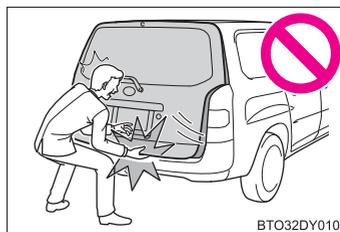
- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。  
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜した場所では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



BTO32DY009

- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。
- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアハンドルを持ったままバックドアを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。



BTO32DY010

- バックドアダンパーステーを持ってバックドアを閉めたり、ぶらさがったりしないでください。  
手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリ用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

 注意

## ■ ダンパーステアについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステアが取り付けられています。ダンパーステアの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。

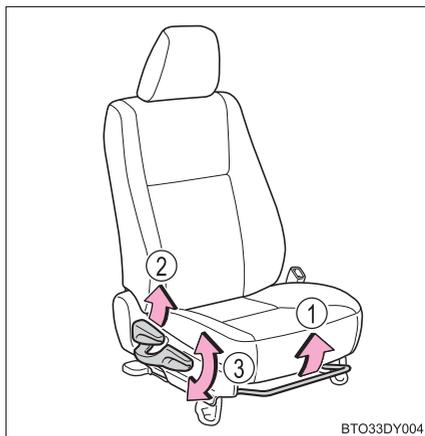
- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステアのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を付けない
- ステアに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない



## フロントシート

### 調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整  
(運転席のみ)



### ⚠ 警告

#### ■ シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

#### ■ リクライニング調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

### ⚠ 注意

#### ■ リヤシートの背もたれを前に倒して使用するとき (クッション引き起こし式リヤシート装着車)

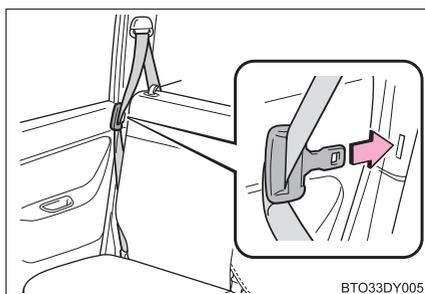
正しい運転姿勢がとれないなどでフロントシートをさらにうしろに下げたい場合は、リヤシートのクッションを取りはずしてください。(→ P. 72)

## リヤシート

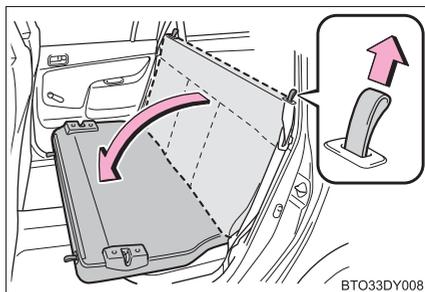
リヤシートは、背もたれを前に倒して折りたたむことができます。

### 背もたれを前に倒す（クッション固定式シート）

- 1 フロントシートを前方に移動させる（→ P. 69）  
リヤシートの背もたれを倒したときに、あたらないようにします。
- 2 左右席シートベルトのバックルと中央席シートベルトを格納する（→ P. 25）
- 3 左右席シートベルトのプレートをベルトハンガーに格納する



- 4 シート両端のストラップのいずれか片方を引いてロックをはずし、背もたれを前方に倒す

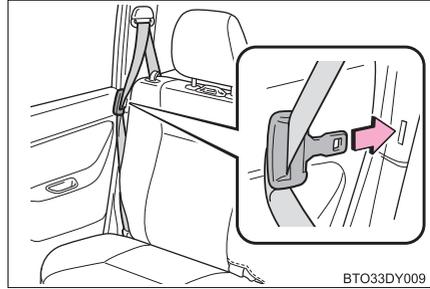


#### ■ 背もたれをもどすときは

左右席シートベルトのプレートがベルトハンガーに格納されていることを確認してから、背もたれを起こしてロックしてください。

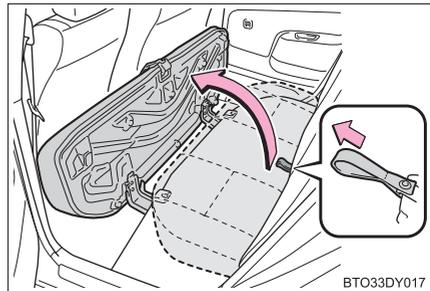
### 背もたれを前に倒す（クッション引き起こし式シート）

- 1 フロントシートを前方に移動させる（→ P. 69）  
リヤシートのクッションを引き起こしたときに、あたらないようにします。
- 2 左右席シートベルトのバックルと中央席シートベルトを格納する（→ P. 25）
- 3 左右席シートベルトのプレートをベルトハンガーに格納する

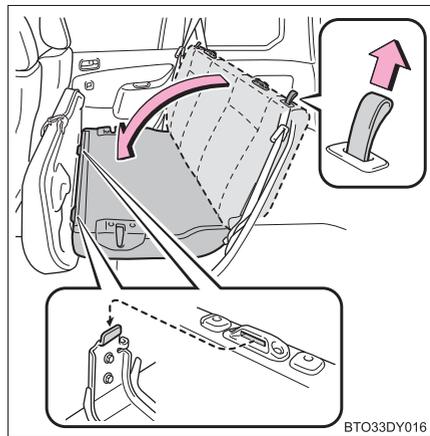


- 4 ヘッドレストをはずす（→ P. 76）
- 5 ストラップを持ったままクッションを引き起こす

クッションに手をかけず、ストラップを引いてクッションを引き起こしてください。



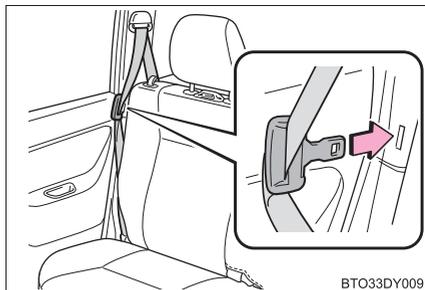
- 6 シート両端のストラップのいずれか片方を引いてロックをはずし、背もたれを前方に倒す  
背もたれのホルダーがクッションのフックに固定されていることを確認してください。



## ◆ クッションを取りはずすときは

必要に応じてクッションを取りはずすことができます。

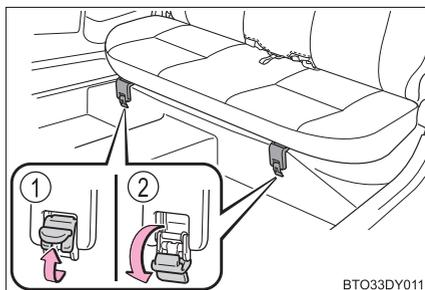
- 1 フロントシートを前方に移動させる (→ P. 69)  
リヤシートのクッションを引き起こしたときに、あたらないようにします。
- 2 左右席シートベルトのバックルと中央席シートベルトを格納する (→ P. 25)
- 3 左右席シートベルトのプレート  
をベルトハンガーに格納する



BTO33DY009

- 4 ヘッドレストをはずす (→ P. 76)
- 5 クッションヒンジ部のロックをはずす

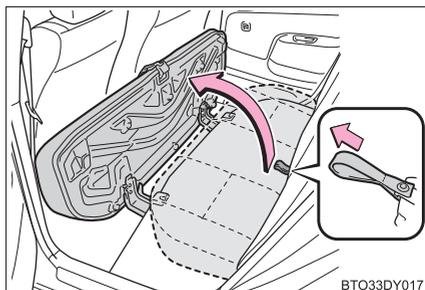
- ① レバーを引き上げる
- ② フックをはずす



BTO33DY011

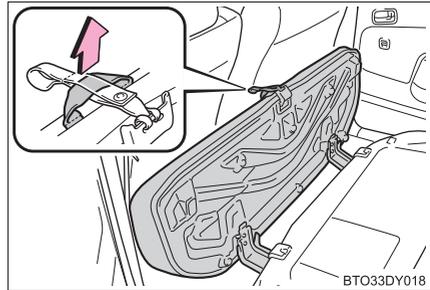
- 6 ストラップを持ったままクッションを引き起こす

クッションに手をかけず、ストラップを引いてクッションを引き起こしてください。

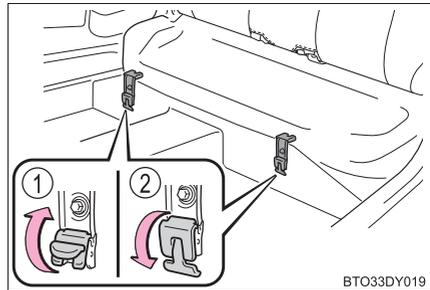


BTO33DY017

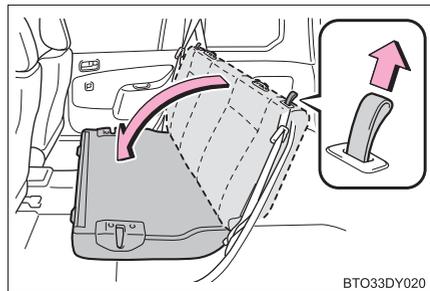
- 7** バンドを持ってクッションを引き上げ、取りはずす  
ストラップではなく、バンドを持って引き上げてください。



- 8** クッションヒンジ部をロックする
- ① フックをかける
  - ② レバーを下げる



- 9** シート両端のストラップのいずれか片方を引いてロックをはずし、背もたれを前方に倒す



■ 背もたれをもどすときは

左右席シートベルトのプレートがベルトハンガーに格納されていることを確認してから、背もたれを起こしてロックしてください。

■ 取りはずしたクッションを取り付けるときは

- 1 ヒンジ部のロックをはずす
- 2 クッションを取り付ける
- 3 ヒンジ部をロックする

 **警告****■ 背もたれを倒すときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中に操作をしない
- 安全で平坦な場所に停車し、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにする
- 操作前に、周囲の安全を確認する
- 操作中は、可動部や結合部に手足を挟まないように注意する
- お子さまに操作させない
- 倒した背もたれの上やラゲージルームに人を乗せて走行しない
- お子さまがラゲージルームに入らないよう注意する

**■ クッションの引き起こし・取りはずしについて  
(クッション引き起こし式シート)**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- クッションの引き起こしは、必ずストラップを持って行う
- クッションを取りはずした状態でリヤ席に乗車しない
- 取りはずしたクッションの上に座ったり、ものを置かない

**■ シートをもとにもどしたあとは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートを前後・上下に軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認する
- シートベルトを背もたれやクッションに挟み込まないようにする
- クッション引き起こし式シート：ヘッドレストをもとどおりに取り付ける

 **注意****■ 背もたれを倒して荷物を積むときは（クッション引き起こし式シート）**

必ずクッションを引き起こすか取りはずしてください。  
クッションを引き起こさず、背もたれを倒すだけで荷物を積むと、シートが破損するおそれがあります。

**■ 取りはずしたクッションを保管するときは（クッション引き起こし式シート）**

再度取り付けて使用することができるように、なくしたり、破損させたりしないでください。

**■ 車検の際は（クッション引き起こし式シート）**

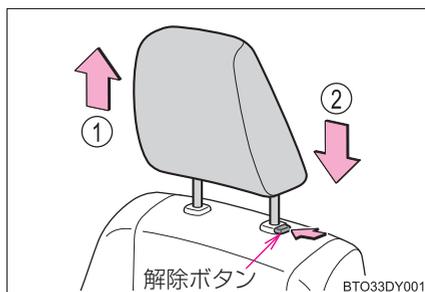
クッションを取り付けて検査を受ける必要があります。

## ヘッドレスト★

### ▶ 分割式ヘッドレスト（フロントシート）

- ① 上げる
- ② 下げる

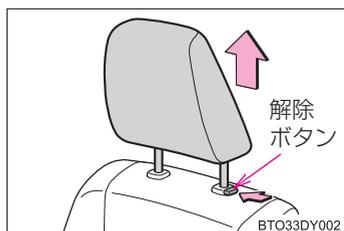
下げるときは、解除ボタンを押しなが  
ら操作します。



### 知識

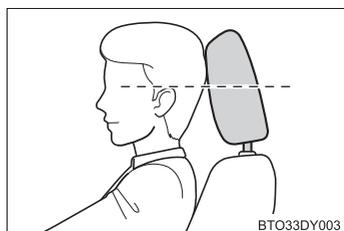
#### ■ ヘッドレストを取りはずすとき（分割式ヘッドレスト）

解除ボタンを押しながら取りはずします。



#### ■ ヘッドレストの高さについて（フロントシートの分割式ヘッドレスト）

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん  
上のあたりになるよう調整してください。



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ヘッドレストについて**

次のことをお守りください。

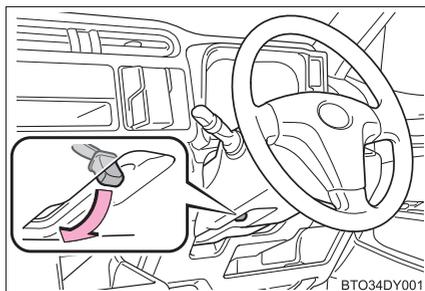
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

## ハンドル

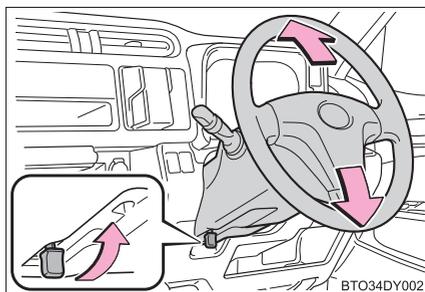
### 調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



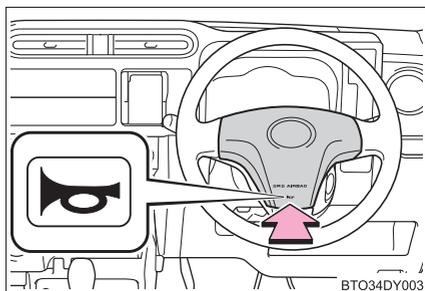
- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



### ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



 知識

## ■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。  
固定が不十分だと、ホーンが鳴らない場合があります。

 警告

## ■ 走行中の警告

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。  
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ■ ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。  
固定が不十分だとハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

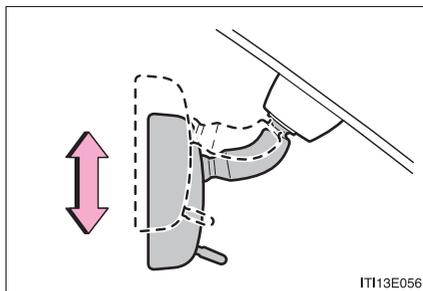
## インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

### 上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する

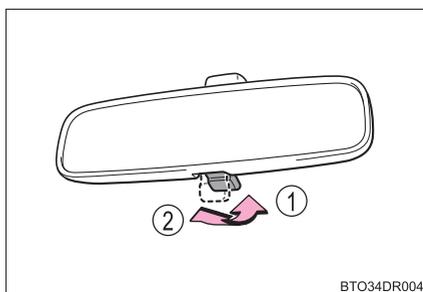


### 防眩機能

#### ▶ 手動防眩ミラー

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



## ▶ 自動防眩ミラー

後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

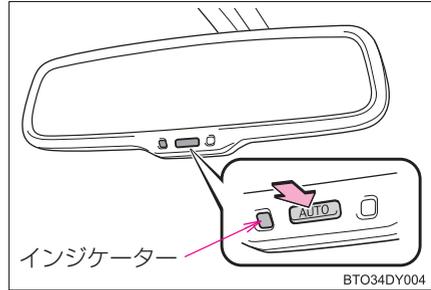
自動防眩機能の切りかえ

ON / OFF

ON のときはインジケータが点灯します。

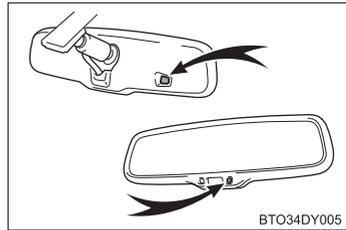
エンジンスイッチを“ON”にしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

ボタンを押すと OFF になりインジケータが消灯します。


 知識

## ■ センサーの誤作動防止（自動防眩ミラー装着車）

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたり、センサーを覆ったりしないでください。


 警告

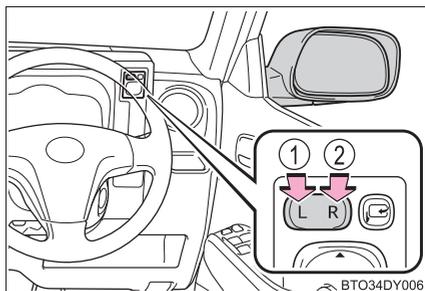
走行中はミラーの調整をしないでください。  
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ドアミラー

### 調整のしかた

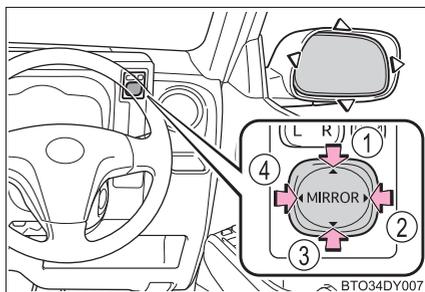
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

- ① 左
- ② 右



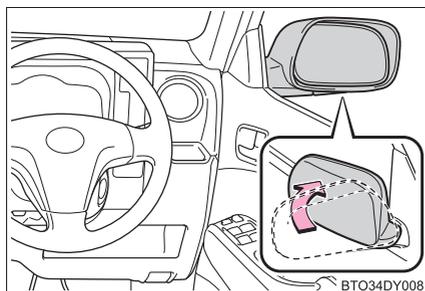
- 2 ミラーの鏡面を調整するには、スイッチを押す

- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



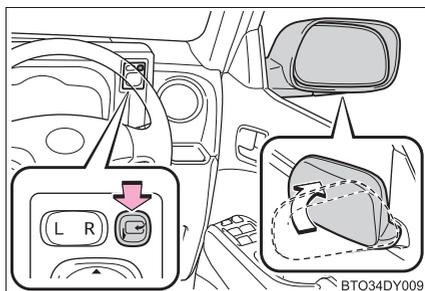
### ドアミラーを格納する

#### ▶ 手動タイプ



手で後方に押しつけて格納する

#### ▶ 電動タイプ



ボタンを押してドアミラーを格納する

もう一度押すと、もとの位置にもどります。

 知識

## ■ 作動条件（手動タイプの格納を除く）

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき

## ■ ミラーが曇ったとき（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 149）

 警告

## ■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

## ■ ミラーが動いているとき（手動タイプの格納を除く）

手をふれないでください。

手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

## ■ ミラーヒーターが作動しているとき（ミラーヒーター装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

## パワーウィンドウ★

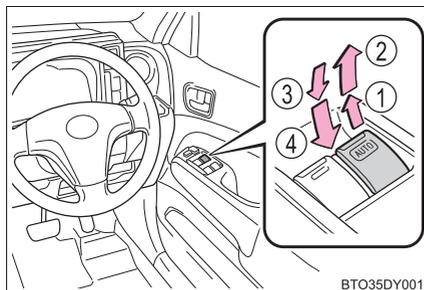
### 開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

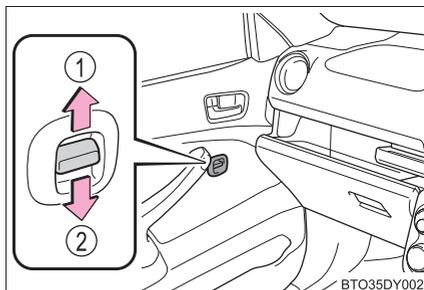
スイッチを操作すると、ドアガラスを下記のように動かします。

▶ 運転席

▶ 運転席を除く★



BTO35DY001



BTO35DY002

- ① 閉める
- ② 自動全閉  
(運転席ドアガラスのみ) ※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開  
(運転席ドアガラスのみ) ※

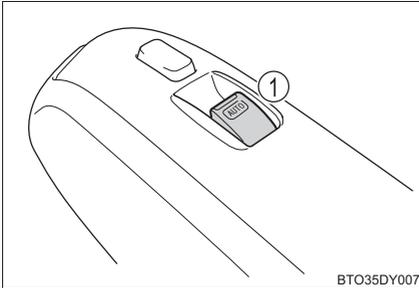
- ① 閉める
- ② 開ける

※ 途中で停止するとき、スイッチを反対側へ操作します。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ 運転席スイッチ

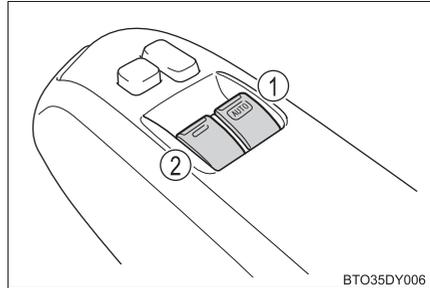
### ▶ 運転席パワーウィンドウ装着車



BTO35DY007

- ① 運転席ドアガラススイッチ

### ▶ 前席パワーウィンドウ装着車

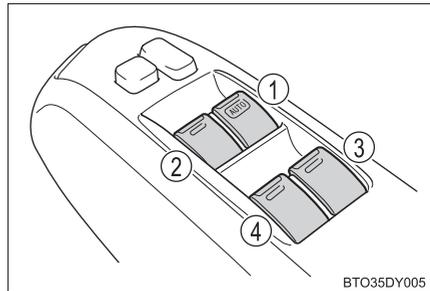


BTO35DY006

- ① 運転席ドアガラススイッチ  
② 助手席ドアガラススイッチ

### ▶ 前席+後席パワーウィンドウ装着車

- ① 運転席ドアガラススイッチ  
② 助手席ドアガラススイッチ  
③ 後席右側ドアガラススイッチ  
④ 後席左側ドアガラススイッチ

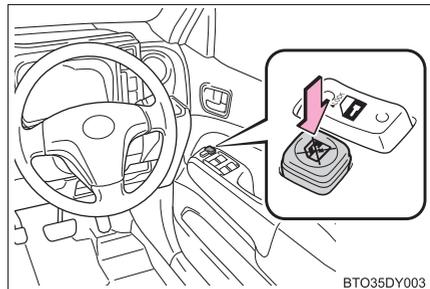


BTO35DY005

## ■ ウィンドウロックスイッチ★

スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



BTO35DY003

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON” のとき

## ■ 挟み込み防止機能（運転席ドアガラス）

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

 警告

次のことを必ずお守りください。

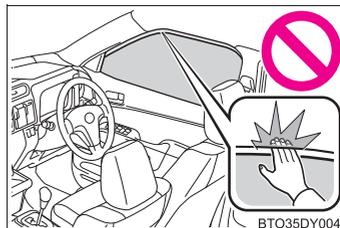
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ■ ドアガラスを開閉するときは

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。（→ P. 85）

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- 車から離れるときはエンジンスイッチを“LOCK”にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ■ 挟み込み防止機能（運転席ドアガラス）

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引続けた状態で作動しません。指などを挟まないように注意してください。

## 運転

## 4

4-1. 運転にあたって	
運転にあたって.....	88
荷物を積むときの注意 .....	98
4-2. 運転のしかた	
エンジン（イグニッション）	
スイッチ.....	99
オートマチックトランス	
ミッション（CVT）.....	102
方向指示レバー.....	104
パーキングブレーキ.....	105
4-3. ランプのつけ方・	
ワイパーの使い方	
ランプスイッチ.....	106
リヤフォグランプスイッチ ...	108
ワイパー&ウォッシャー	
（フロント）.....	110
ワイパー&ウォッシャー	
（リヤ）.....	112
4-4. 給油のしかた	
給油口の開け方.....	114
4-5. 運転支援装置について	
バックモニター.....	118
運転を補助する装置.....	129
4-6. 運転のアドバイス	
寒冷時の運転.....	135

## 運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

### エンジンをかける

→ P. 99

### 発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをDにする (→ P. 102)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→ P. 105)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

### 停車する

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける  
長時間停車する場合は、シフトレバーをPまたはNにします。(→ P. 102)

### 駐車する

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかける (→ P. 105)
- 3 シフトレバーをPにする (→ P. 102)
- 4 エンジンスイッチを“LOCK”にしてエンジンを停止する
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する  
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め<sup>※</sup>を使用してください。  
<sup>※</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

### 上り坂の発進のしかた

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進する

 知識

## ■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→ P. 129)

## ■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

## ■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離したとき

## ■ 運転者標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー部に取り付けることはできません。

## ■ オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する
- 高速走行直後に急減速や急停止をする

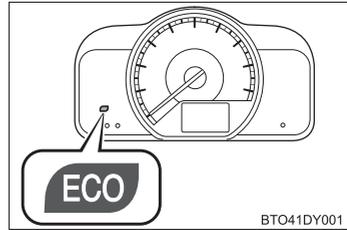
## ■環境に配慮した運転

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケータランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

● 次の場合、エコドライブインジケータランプは作動しません。

- ・ シフトポジションがD以外のとき
- ・ 車速が約 100km/h 以上のとき

● エコドライブインジケータランプの作動／非作動を設定できます。  
(→ P. 55)



## ⚠ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■発進するとき

エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリーブ現象で車が動き出すのを防ぎます。

### ■運転するとき

● 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。

- ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
- ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

● 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■運転するとき**

- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。  
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 210を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 102)
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- オフロード走行をしないでください。  
やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。  
また、V フレックスフルタイム 4WD 車はオンロード専用です。オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD です。無理な運転はしないでください。
- 渡河などの水中走行はしないでください。  
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。
- シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。  
急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出したりして乗員にあたり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ すべりやすい路面を運転するとき**

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンプレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

**■ シフトレバーを操作するとき**

- シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNにすると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンプレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき**

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあり危険です。

**■ 停車するとき**

- 空ぶかしをしないでください。  
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。  
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 駐車するとき**

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
  - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
  - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターを開閉式ワイドフリーラックなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておく、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウィンドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。  
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウィンドウを開けたまま放置しないでください。  
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてエンジンを停止し、施錠してください。  
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。
- エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。  
やけどをするおそれがあります。

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 仮眠するとき**

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ ブレーキをかけるとき**

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また、制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一エンジンが停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使い切ってしまう。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

**■ 万一脱輪したとき (4WD 車)**

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。前・後輪の回転差が激しい状態が続くと、駆動系部品に無理な力が加わり焼き付きなどの損傷を受けたり、焼き付きにより、車両が急に飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 運転しているとき**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

**■ 駐車するとき**

必ずシフトレバーをPにしてください。Pにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

**■ 部品の損傷を防ぐために**

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

**■ 走行中にタイヤがパンクしたら**

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法はP. 221 を参照してください。

 **注意****■ 冠水路走行に関する注意**

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を受けるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスアクスル・トランスファー（4WD 車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト（4WD 車）・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

## 荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

### 警告

#### ■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

#### ■ 荷物を積むときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージルームに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
  - ・ 運転席足元
  - ・ 助手席・リヤ席（荷物を積み重ねる場合）
  - ・ インストルメントパネル
  - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。
- シート背もたれより高いものをラゲージルームに積まないでください。
- リヤシートの背もたれを折りたたんで、寸法が長い荷物を積むときは、できるだけフロントシートの背もたれの真うしろには積まないでください。
- ラゲージルームに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積みすぎないでください。
- 荷重を不均等につけないようにしてください。

これらはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドルの操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## エンジン（イグニッション）スイッチ

### エンジンのかけ方

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- ② シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- ③ ブレーキペダルをしっかりと踏む
- ④ エンジンスイッチを“START”の位置にまわす

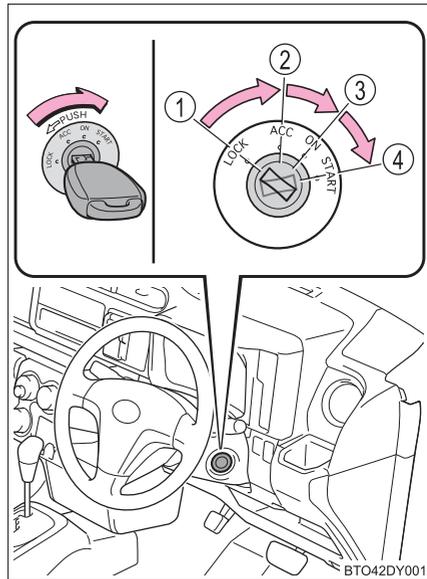
### エンジンスイッチの位置の切りかえ

- ① “LOCK”（OFF）
  - ・ シフトレバーの位置が P のとき、キーを抜き挿しすることができます。
  - ・ キーを抜いたとき、ステアリングロックがかかります。
- ② “ACC”
 

アクセサリコネクターなどの電装品が使用できます。
- ③ “ON”
 

すべての電装品が使用できます。
- ④ “START”
 

エンジンが始動できます。



 知識

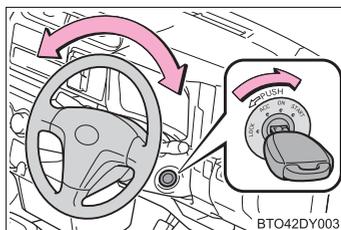
## ■ キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

- 1 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 2 キーを押し込みながら“LOCK”までまわす



## ■ ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



## ■ キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき、運転席ドアを開けると警告音が鳴ります。

 **警告****■ エンジンを始動するときは**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ 走行中の警告**

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。  
緊急時、走行中にエンジンを停止したい場合には“ACC”にしてください。  
ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
(→ P. 210)

 **注意****■ バッテリーあがりを防止するために**

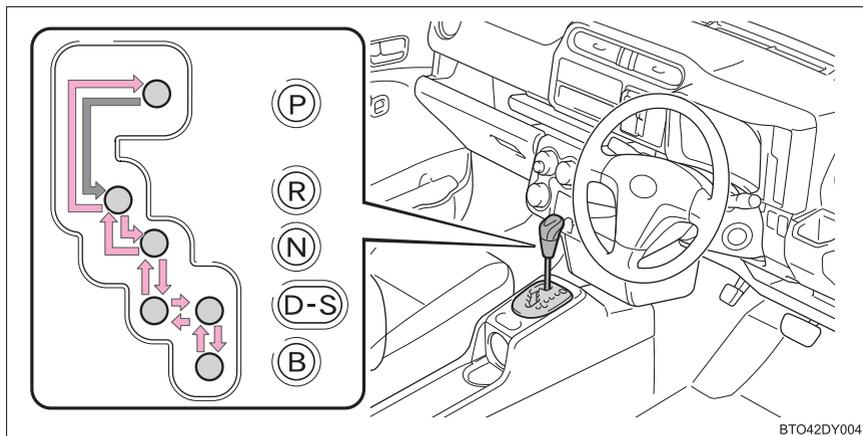
エンジンがかかっていないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたまま長時間放置しないでください。

**■ エンジンを始動するとき**

- 一度に 30 秒以上スターターをまわさないでください。
- エンジンが冷えた状態で空ぶかししないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店でエンジンの点検を受けてください。

## オートマチックトランスミッション (CVT)

### シフトレバーの動かし方



← エンジンスイッチが“ON”の状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

### シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはエンジン始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※
S	坂道走行
B	急な下り坂走行

※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

 知識

## ■ リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

## ■ シフトレバーをPからシフトできないとき

→ P. 233

 警告

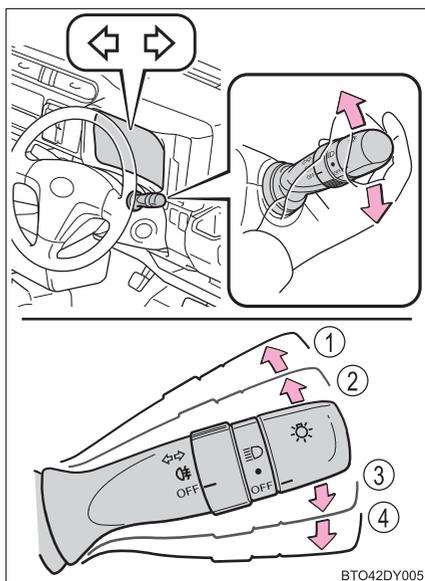
## ■ すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンプレーキカの急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

## 方向指示レバー

### 操作のしかた

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで、左側方向指示灯が点滅します。
- ③ 右側へ車線変更  
(レバーを途中で保持)  
レバーを離すまで、右側方向指示灯が点滅します。
- ④ 右折



### 知識

#### ■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON” のとき

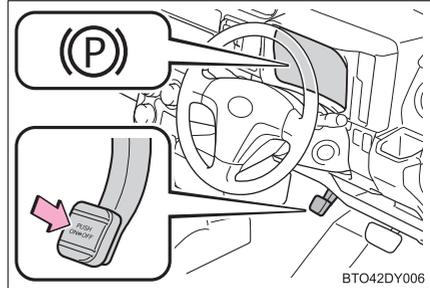
#### ■ 表示灯の点滅が異常に速くなったときは

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

## パーキングブレーキ

### 操作のしかた

パーキングブレーキをかけるには、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングペダルをいっぱいまで踏み込む（再度踏み込むと解除される）



### 知識

#### ■ パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

パーキングブレーキを解除しないまま車を発進させ、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。

#### ■ 冬季のパーキングブレーキの使用について

→ P. 136

### 注意

#### ■ 走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。

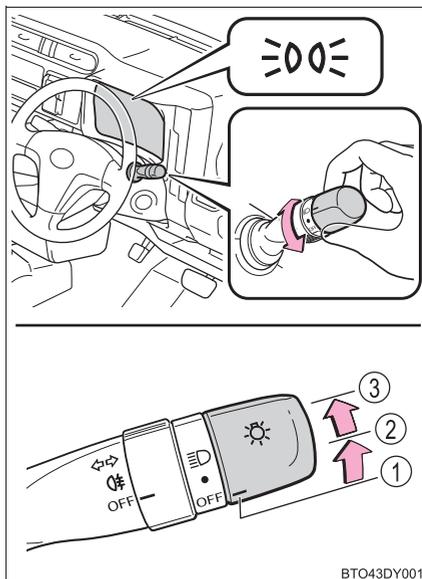
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

## ランプスイッチ

ヘッドランプなどを点灯できます。

### 操作のしかた

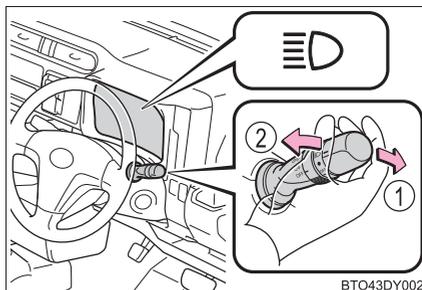
- ① OFF 消灯
- ② ● 車幅灯・尾灯・番号灯を点灯
- ③ ≡D 上記ランプとヘッドランプを点灯



BTO43DY001

### ハイビームにする

- ① ヘッドランプ点灯時、ハイビームに切りかえ  
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。
- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯  
ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

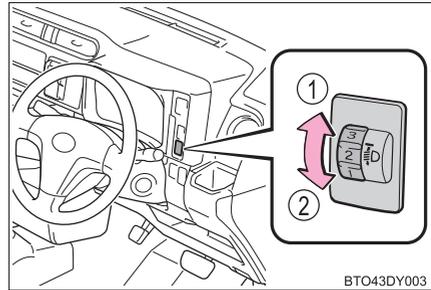


BTO43DY002

## 手動光軸調整ダイヤル

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



BTO43DY003

### ■ 目盛り設定の目安

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置	
乗員	荷物	FF車	4WD車
運転者	なし	0	
運転者	ラゲージルーム満載時	4	4.5

### □ 知識

#### ■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ランプスイッチが ● または  の位置のまま、エンジンスイッチからキーを抜いて運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

### 注意

#### ■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

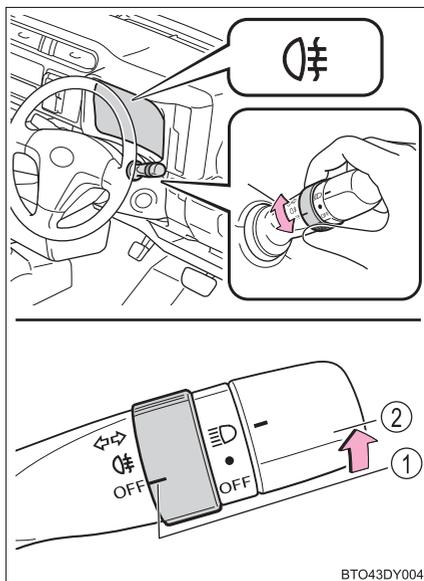
## リヤフォグランプスイッチ★

雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。

### 操作のしかた

- ① OFF 消灯する
- ②  点灯する

ヘッドランプ・車幅灯などのランプスイッチが OFF または ● のときは、リヤフォグランプスイッチを OFF から  にまわすことはできません。



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ 点灯条件

- ヘッドランプが点灯しているときに使用できません。
- リヤフォグランプが点灯しているときにヘッドランプを消灯させても、車幅灯が点灯していれば、リヤフォグランプは消灯しません。
- リヤフォグランプが点灯しているときに、ヘッドランプ・車幅灯などのランプスイッチを OFF にして車幅灯を消灯させると、リヤフォグランプも消灯します。(リヤフォグランプスイッチが自動で OFF の位置にもどります)

## ■ リヤフォグランプについて

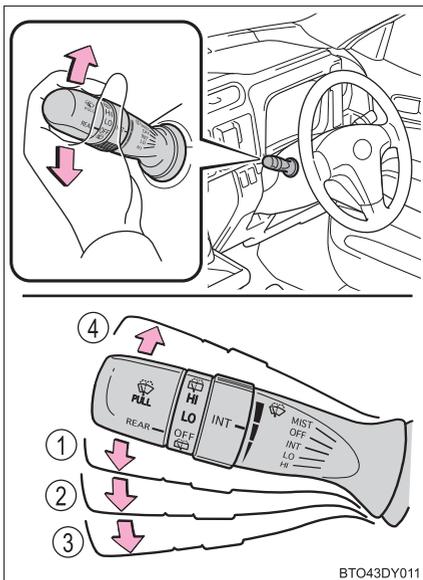
- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なとき以外は使用しないでください。

## ワイパー&ウォッシャー（フロント）

### 操作のしかた

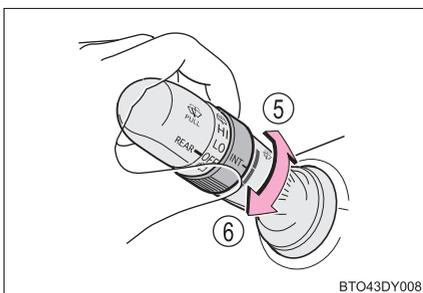
次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① 間欠作動（INT）
- ② 低速作動（LO）
- ③ 高速作動（HI）
- ④ 一時作動（MIST）



間欠作動（INT）を選択しているとき、間欠時間を調整することができます。（間欠時間調整式ワイパー装着車）

- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度（減）
- ⑥ 間欠ワイパーの作動頻度（増）



- ⑦ ウォッシャー液を出す  
ワイパーが連動して作動します。



BTO43DY009

## 知識

### ■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON” のとき

### ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

## 警告

### ■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## 注意

### ■ フロントウインドウガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

### ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

### ■ ノズルがつまったときは

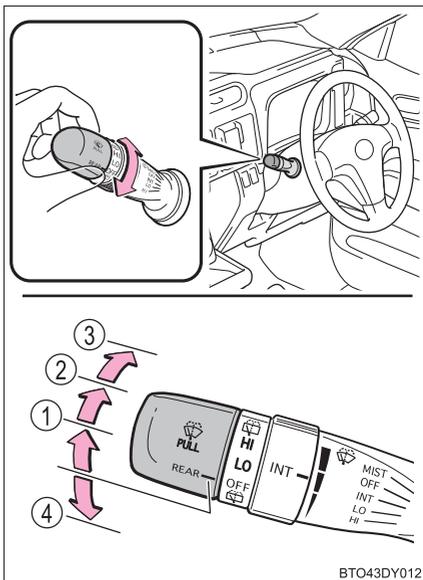
ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

## ワイパー&ウォッシャー（リヤ）★

### 操作のしかた

次のようにレバーの端をまわして、ワイパーの作動を選択します。

- ① 間欠作動（LO）
- ② 通常作動（HI）
- ③ ウォッシャー液を出す  
ワイパーが連動して作動します。
- ④ ウォッシャー液を出す



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ 作動条件

エンジンスイッチが“ON” のとき

## ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 注意

## ■ リヤウインドウガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

## ■ ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

## ■ ノズルがつまったときは

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

## 給油口の開け方

### 給油する前に

- すべてのドアとドアガラスを閉め、エンジンスイッチを“LOCK”にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

### 知識

#### ■ 燃料の種類

- 無鉛レギュラーガソリン
- バイオ混合ガソリン（レギュラー）

#### ■ バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

 **警告****■ 給油するときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。  
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。

- 喫煙しないでください。

- 給油口にノズルを確実に挿入してください。

- 継ぎ足し給油をしないでください。

- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

 **注意****■ 給油するとき**

指定のガソリンを使用してください。

指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

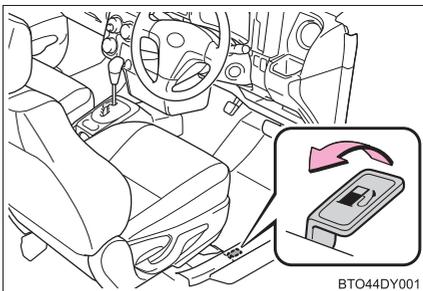
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

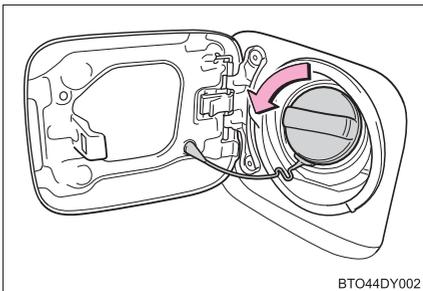
※ エタノール混合率 10%をこえるもの、または ETBE 混合率 22%をこえるもの

**給油口の開け方**

- 1 オープナーを引き上げて、給油扉を開ける



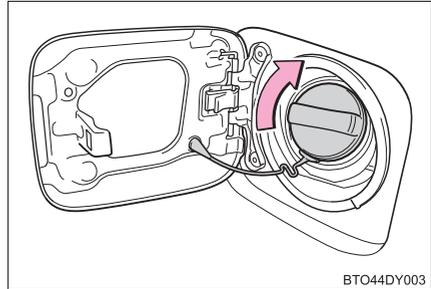
- 2 キャップをゆっくりまわして開ける



### 給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



BTO44DY003

### 警告

#### ■ キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## バックモニター★

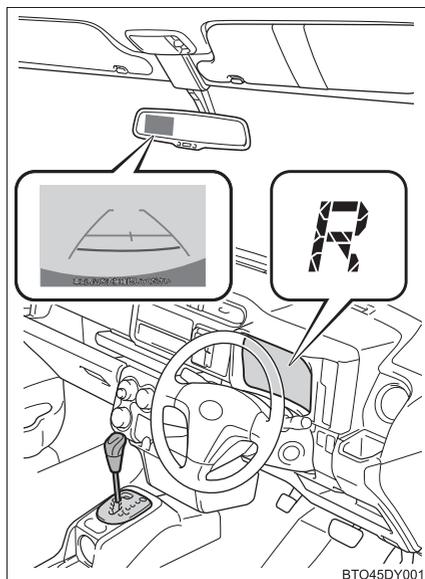
車両後方の映像とガイド線をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

エンジンスイッチが“ON”のとき、シフトレバーをRにすると、バックモニターの画面が表示されます。

次のとき、バックモニターの画面が解除されます。

- ・ シフトレバーをR以外にしたとき
- ・ バックモニターの画面を表示して、5分が経過したとき



★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

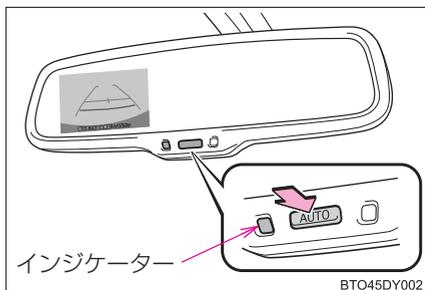
## 画面の表示／非表示

バックモニターの画面が表示されているとき、インナーミラーのAUTO ボタンを押して、画面のONモードと OFF モードを切りかえることができます。

ON モード：画面が表示され、緑色のインジケーターが点灯します。

OFF モード：画面が非表示になり、橙色のインジケーターが点灯します。

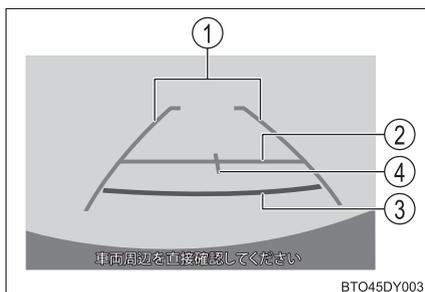
エンジンスイッチを“LOCK”から“ON”にすると、バックモニターの画面はONモードになります。



## 画面の見方について

ガイド線は画面に表示されます。ガイド線は車両や路面の状況により、誤差を生じることがあります。

- ① 車幅延長線（青色）  
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。  
実際の車幅より広く表示します。
- ② 距離目安線（青色）  
バンパー後端から約1m先を示します。
- ③ 距離目安線（赤色）  
バンパー後端から約0.5m先を示します。
- ④ 車両中央線（青色）  
車幅の中心を示します。

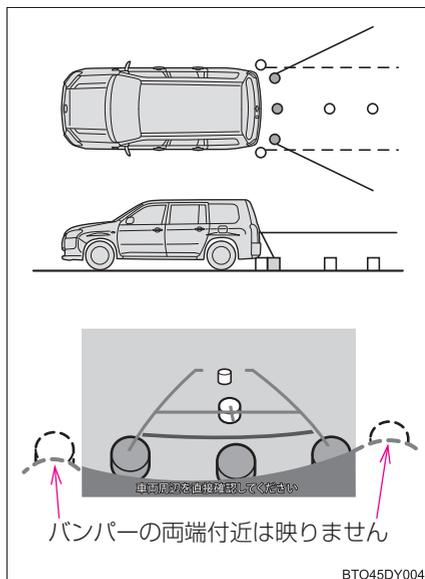


## バックモニターの注意点について

### ■ 画面に映る範囲について

バックモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

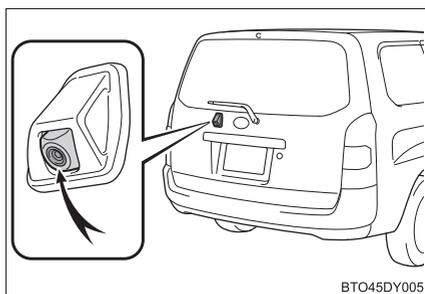
- ・ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・ バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・ カメラのレンズの特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ・ カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- ・ 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。



BTO45DY004

### ■ カメラについて

バックモニターのカメラは、トヨタエンブレムの左側にあります。



BTO45DY005

### ● カメラのお手入れについて

カメラに水滴・雪・泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。

この場合、大量の水でカメラの汚れを流してください。汚れが落ちたら、カメラレンズを水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。

## ■ 画面と実際の路面との誤差について

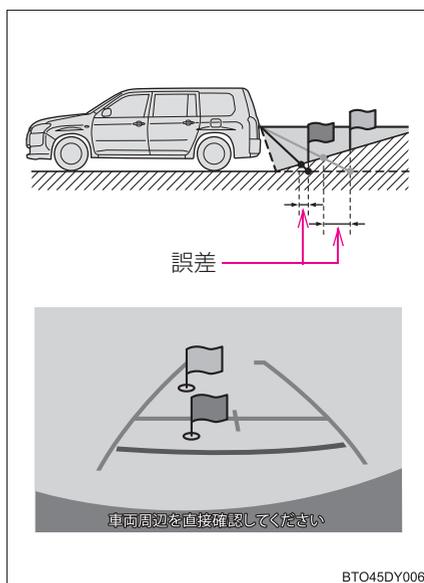
距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

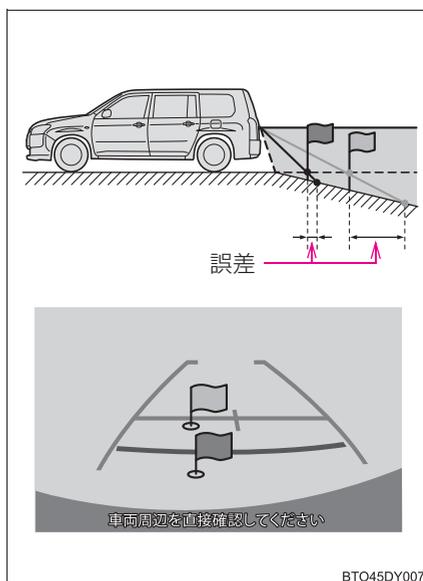
### ● 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



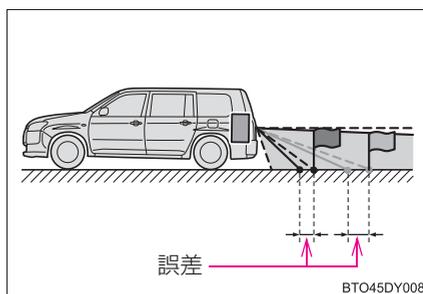
- 急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



- 車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

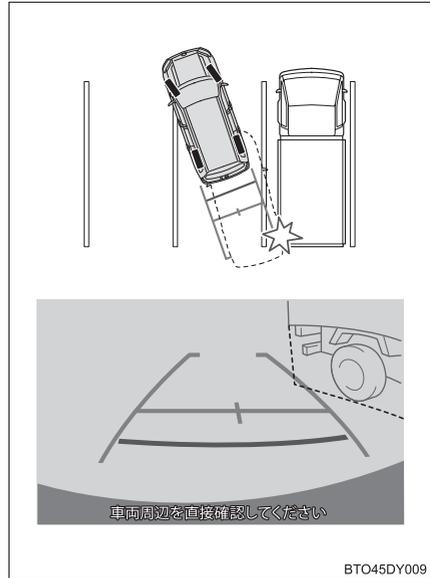


## ■ 立体物が近くにあるとき

車幅延長線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の距離を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

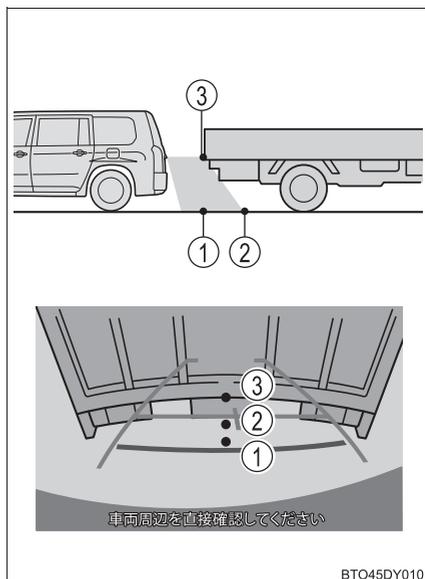
### ● 車幅延長線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が車幅延長線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



### ● 距離目安線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線により ② の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には ① の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では ①、②、③ の順に近く見えますが、実際の距離は ① と ③ は同じ距離で、② は ① と ③ より遠い距離にあります。



## 知っておいていただきたいこと

### ■ 故障とお考えになる前に

下記のような症状になったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

考えられる原因	処置
<input type="checkbox"/> 画面が見にくい	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間など暗いところで使用するとき</li> <li>・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき</li> <li>・ 外気温が低いとき</li> <li>・ カメラに水滴が付いたとき</li> <li>・ 雨天時など湿度が高いとき</li> <li>・ カメラ付近に異物（泥など）が付いたとき</li> <li>・ カメラにすり傷が付いたとき</li> <li>・ 白壁や明るいものが画面に映り込んだとき</li> <li>・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたったとき</li> <li>・ 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯などの照明下で使用したとき</li> </ul>	<p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 （カメラおよびその周辺環境が改善されてから、バックモニターをご使用ください）</p>
<input type="checkbox"/> 画面が不鮮明	
カメラのレンズに水滴・雪・泥など異物や汚れが付着しているとき	<p>大量の水でカメラの汚れを流したあと、カメラレンズを水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。</p>
<input type="checkbox"/> 画面がずれている	
カメラ部に強い衝撃が加わったとき	トヨタ販売店で点検を受けてください。
<input type="checkbox"/> ガイド線が大きくずれる	
カメラの位置がずれているとき	トヨタ販売店で点検を受けてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）</li> <li>・ 傾斜地で使用するとき</li> </ul>	<p>車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。</p>

 知識**■バックモニターを使用するときは**

インナーミラーの防眩機能が解除されます。

**■バックモニターの設定について**

エンジンスイッチが“ON”かつシフトレバーが R のとき、下記の設定ができます。

**●画面を継続的に非表示にするには**

AUTO ボタンを 12 秒以上押し続けると、次のように画面が切りかわり、画面が継続的に非表示になります。

- ・ ボタンを押し続けると、画面が非表示になり、約 6 秒後にいったん画面が表示されます。それから約 6 秒後に画面が非表示になり、インジケーターが橙色に点灯します。
- ・ エンジンスイッチを“LOCK”から“ON”にしても画面が表示されなくなります。

**●画面を表示するには**

AUTO ボタンを押します。(インジケーターが緑色に点灯します)

 **警告****■ バックモニターを使用するときは**

バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。  
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。  
特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。十分理解したうえで、バックモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 次のような状況では、バックモニターを使用しないでください。
  - ・ 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・ タイヤチェーンを使用しているとき
  - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・ カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。特に動いている物の映像が歪む、または画面から見えなくなることがあります。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P. 120)

 **注意****■カメラの取り扱いについて**

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことにご注意ください。
  - ・カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけたりして、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ・カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、カメラレンズを水洗いし、やわらかい布でふき取ってください。  
お守りいただかないと、カメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
  - ・カメラレンズ以外の黒色部分は樹脂でできていますので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## 運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずには運転には十分に注意してください。

### ◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロック防止に貢献し、スリップを抑制します。

### ◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

### ◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

### ◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

### ◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、ブレーキペダルから足を離しても、一時的に制動力を保持し、発進操作を補助します。

### ◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

### ◆ Vフレックスフルタイム 4WD（4WD車）

オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD です。すべりやすい雪道や上り坂などでスムーズな発進、加速に貢献します。

通常の直進走行では FF（前輪駆動）に近い状態で走行します。

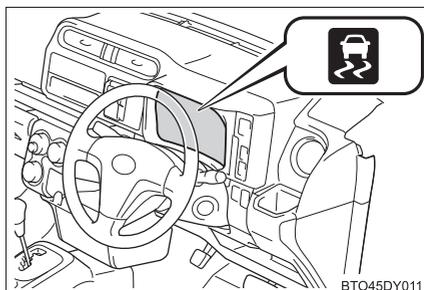
前・後輪に回転差が生じるとビスカスカップリングにより、その回転速度の差に応じた最適なトルクを後輪へ配分します。

### ◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

### TRC・VSC が作動しているとき

TRC・VSC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



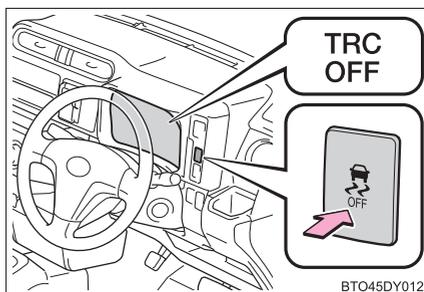
### TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す

TRC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



 知識

## ■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには停車時に  を押し 3 秒以上保持してください。

TRC OFF 表示灯と VSC OFF 表示灯が点灯します。

もう一度  を押し、システム作動可能状態にもどります。

## ■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトレバーの位置が P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

## ■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトレバーを P または N の位置にした
- アクセルペダルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

## ■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
  - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
  - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
  - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
  - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

### ■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがあります。異常ではありません。

### ■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、次のときはシステム作動可能状態にもどります。

- エンジンスイッチを“LOCK”にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき  
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

### ■ EPS の効果が下がる時

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、エンジンを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

### ■ 緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速が約 55 km/h 以上
- ブレーキペダルが踏み込まれ、車両の減速度から急ブレーキだと判断された

### ■ 緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- ブレーキペダルから足を離れた
- 車両の減速度から急ブレーキではないと判断された

 **警告****■ ABS の効果を発揮できないとき**

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪で覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

**■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき**

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

**■ TRC の効果を発揮できないとき**

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

**■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき**

ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面では、ヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。

**■ スリップ表示灯が点滅しているときは**

VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

**■ TRC や VSC を OFF にするときは**

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

 **警告****■ Vフレックスフルタイム 4WD について (4WD 車)**

- この車の 4WD (V フレックスフルタイム 4WD) は、オンロード専用です。オフロード走行やラリー走行などが目的ではなく、一般道での優れた走行安定性に寄与することを目的とした 4WD ですので、無理な運転はしないでください。
- 脱輪などにより、いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。  
前・後輪の回転差が激しい状態が続くと、駆動系部品に無理な力が加わり焼き付きなどの損傷を受けたり、焼き付きにより、車両が急に飛び出し思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**■ タイヤまたはホイールを交換するときは**

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン(溝模様)のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。(→ P. 249) 異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC・V フレックスフルタイム 4WD (4WD 車) が正常に作動しません。  
タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

**■ タイヤとサスペンションの取り扱い**

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

## 寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

### 冬の前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・ エンジンオイル
  - ・ 冷却水
  - ・ ウォッシャー液
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも同一サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。  
（タイヤについて：→ P. 183）

### 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かししたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を解かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

### 運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

### 駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをPに入れて駐車し、輪止め<sup>※</sup>をしてください。

<sup>※</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

---

### 知識

---

#### ■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 前2輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う
- 取り付け後 0.5～1.0km 走行したら締め直しを行う

#### ■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

**■ タイヤチェーン装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して車のコントロールを失うのを防ぐ

**■ 駐車時の警告**

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

**■ フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するときは**

たたいて割らないでください。

ウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

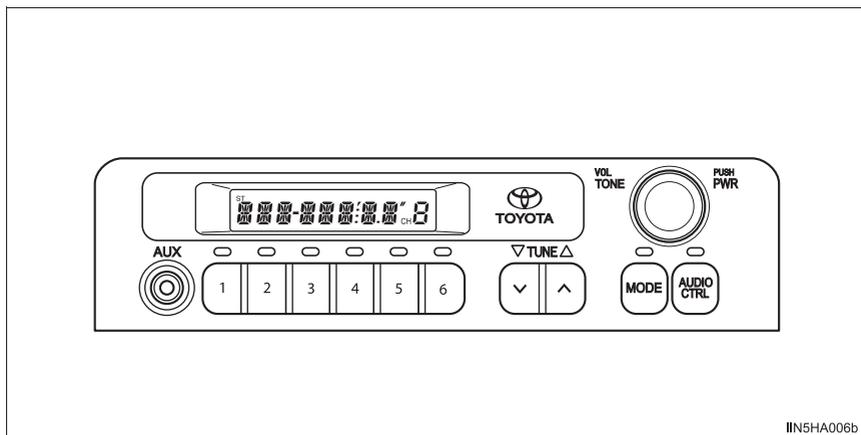


**オーディオ****5**

- 5-1. オーディオの基本操作
  - オーディオの種類..... 140
- 5-2. オーディオの使い方
  - 快適に聞くために..... 141
- 5-3. ラジオの使い方
  - ラジオの使い方..... 142
- 5-4. 外部入力接続機器の使い方
  - AUX 端子（外部入力接続）  
の使い方..... 144
- 5-5. アンテナの取り扱い
  - アンテナ ..... 146

## オーディオの種類★

AM / FM ラジオ



### 知識

#### ■携帯電話の使用

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえることがあります。

### 注意

#### ■バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

#### ■オーディオの取り扱いについて

オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

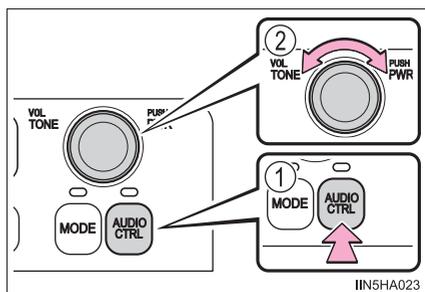
## 快適に聞くために★

音質や音量バランスの設定を変更することができます。

- ① 調整したいモードを表示する
- ② 音質と音量バランスの設定を変更する

5 秒間操作を行わないと、画面がもどります。

最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。



### 設定を変更するには

#### ■ 調整モードの切りかえ

 を押して調整したいモードを選ぶ

“BAS”・“TRE”・“BAL” の設定を変更できます。

#### ■ 音質・音量バランスの調整



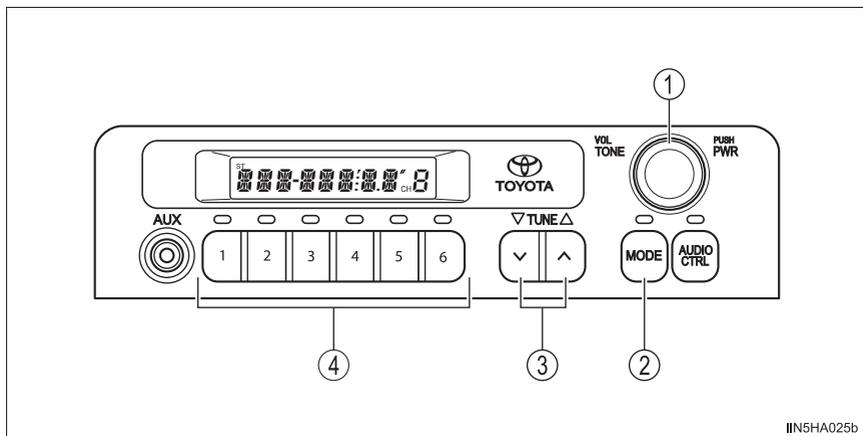
をまわして、音質・音量バランスのレベルを調整します。

調整モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
低音	BAS	- 5 ~ + 5	弱	強
高音	TRE	- 5 ~ + 5		
左右音量 バランス	BAL	L7 ~ R7	右側小	左側小

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ラジオの使い方★

ラジオを聞くために“RADIO”、“AM”または“FM”が表示されるまで **MODE** を押してください。



IIN5HA025b

- ① 電源の ON / OFF：押す  
音量の調整：まわす
- ② AM / FM の切りかえ
- ③ 周波数の調整  
自動選局するときには、0.8 秒以上 1.5 秒未満押す  
もう一度押すと解除されます。
- ④ 選局

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 放送局を記憶させる

- 1  (高い周波数)、または  (低い周波数) を押す、または  (高い周波数) か  (低い周波数) を“ピッ”と音が鳴るまで押し続けて、お好みの放送局を探す
- 2 記憶させたい  1 ~  6 を“ピッ”と音が鳴るまで押し続ける

## 知識

### ■ バッテリーとの接続が断たれたときは

 1 ~  6 に設定されていた放送局が消去されます。

### ■ 受信感度について

車の向きにより、アンテナの向きもかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を保つことが難しい場合があります。

## AUX 端子（外部入力接続）の使い方★

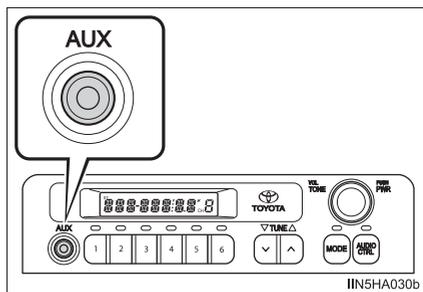
ポータブルオーディオプレーヤーを車両のスピーカーから聞くことができます。

“AUX” が表示されるまで **MODE** を押してください。

### ポータブルオーディオプレーヤーとの接続

ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

接続したポータブルオーディオプレーヤーの電源が入らない場合は、電源を入れます。



### 知識

#### ■ ポータブルオーディオの操作について

音量の調整をするときは、車両のオーディオで調整してください。  
その他の操作は、ポータブルオーディオで行ってください。

#### ■ ポータブルオーディオの電源について

車両のアクセサリソケットに接続して使用すると、再生時にノイズが発生することがあります。ポータブルオーディオに付属のバッテリーなどを使用してください。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■ 走行中の警告**

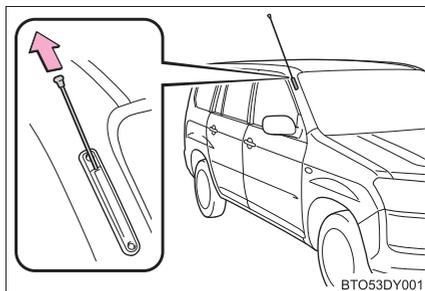
運転中にポータブルオーディオプレーヤーを操作しないでください。

 **注意****■ ポータブルオーディオプレーヤーや AUX 端子の故障を防ぐために**

- 炎天下など、車室内が高温になるため、ポータブルオーディオプレーヤーを車室内に放置しないでください。
- ポータブルオーディオプレーヤーが接続されているときに、ポータブルオーディオプレーヤーの上に乗ったり、ものを上に置かないでください。
- AUX 端子に異物などを入れないでください。

## アンテナ

ラジオ使用時は、いっぱいまで引き出してください。



### 注意

#### ■ アンテナの損傷を防ぐために

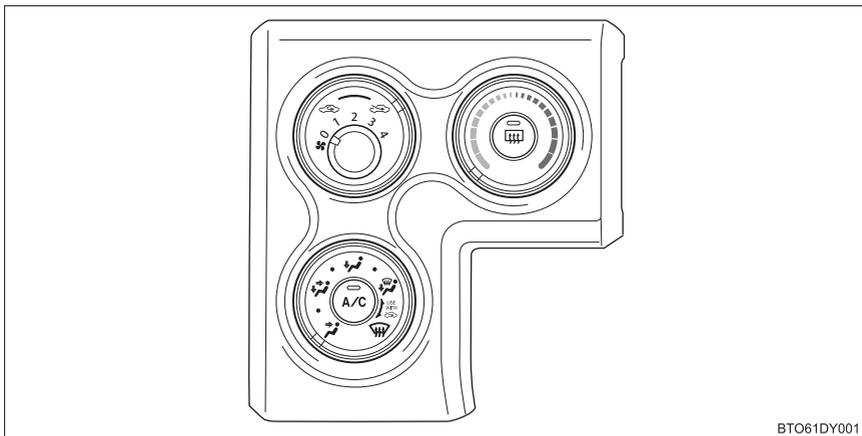
次のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき
- 自動洗車機で洗車するとき

6-1. エアコン・デフォグガーの 使い方	
マニュアルエアコン.....	148
6-2. 室内灯のつけ方	
室内灯一覧.....	153
・フロントルームランプ・ リヤルームランプ.....	153
6-3. 収納装備の使い方	
収納装備一覧.....	154
・センタートレイ (ドリンクホルダー付).....	156
・マルチホルダー.....	158
・インパネトレイ.....	161
・開閉式 ワイドフリーラック.....	162
・センターボックス.....	162
・カップホルダー・ ボトルホルダー.....	163
・オープントレイ・ ポケット.....	165
6-4. その他の室内装備の使い方	
その他の室内装備.....	166
・サンバイザー.....	166
・時計.....	167
・アクセサリーソケット・ アクセサリーコンセント .....	168
・インパネテーブル.....	170
・コートフック.....	172
・デッキサイドポケット.....	172

# マニュアルエアコン

## エアコン操作について



BTO61DY001

### ■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは  を右に、下げるときは左にまわす

エアコン（冷房・除湿機能）の ON・OFF を切りかえるには  を押します。

### ■ 風量を切りかえる

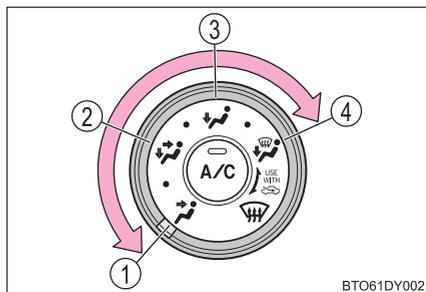
風量を増やすときは  を右に、減らすときは左にまわす

送風を止めるときは、ダイヤルを 0 の位置にします。

### ■ 吹き出し口を切りかえる

 をまわす

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風・フロントウィンドウガラスの曇りを取る



BTO61DY002

ダイヤルの位置を各吹き出し口のあいだにすると、吹き出し口を細かく選択できます。

## その他の機能

### ■ 内気循環／外気導入を切りかえるには



をまわす

内気循環にするには、ダイヤルの位置を  にします。

外気導入にするには、ダイヤルの位置を  にします。

### ■ フロントウィンドウガラスの曇りを取るには



を  の位置に合わせる

内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。



 を押してエアコン（冷房・除湿機能）を ON にすると、曇りが早く取れます。

### ■ リヤウインドウデフォグラー&ミラーヒーター★

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときにお使いください。



を押す

リヤウインドウデフォグラーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的に OFF になります。

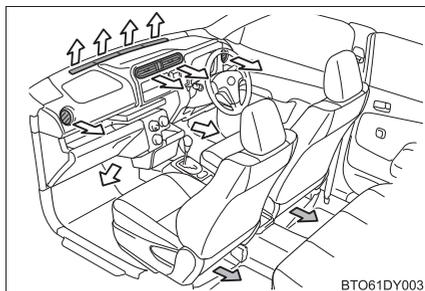
★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 吹き出し口について

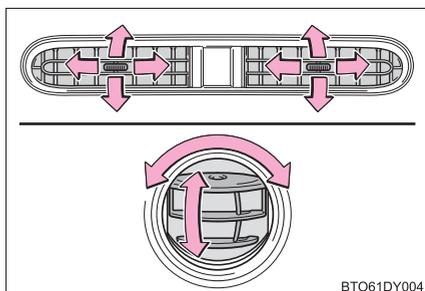
### ■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変わります。

← : 寒冷地仕様車のみ

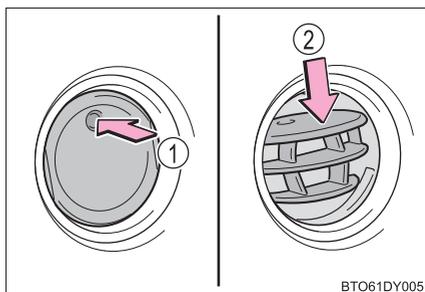


### ■ 風向きの調整



### ■ 吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる



 知識

## ■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、 を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
-  を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

## ■ 内気循環／外気導入について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

## ■ 外気温度が 0℃ 近くまで下がったとき

 を押しても除湿機能が働かない場合があります。

## ■ 換気とエアコンの臭いについて

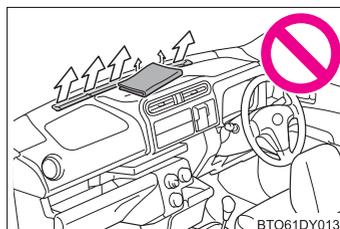
- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

## ■ エアコンフィルターについて

→ P. 187

**警告****■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために**

- 外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、 を  の位置に合わせないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。
- フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために、吹き出し口をさえぎるようなものを置かないでください。送風がさえぎられ、曇りが取れにくくなる場合があります。

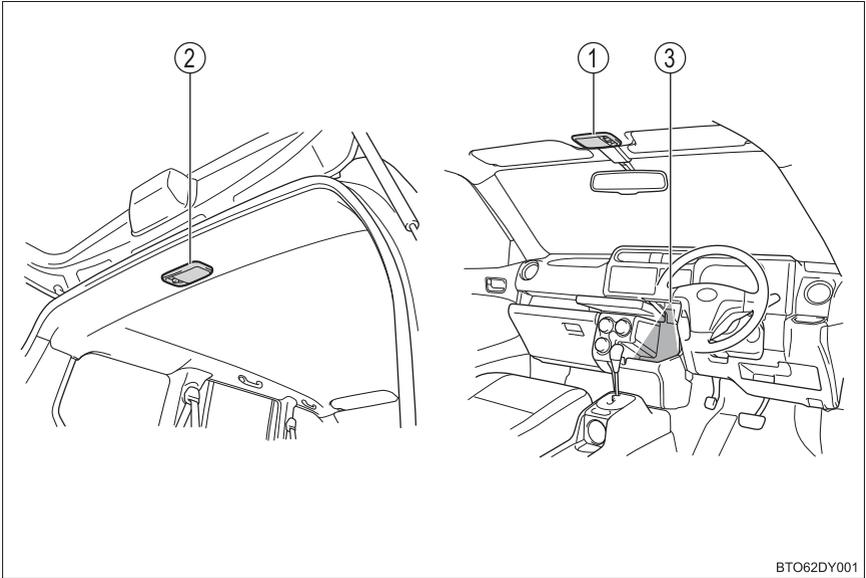
**■ リヤウインドウデフォグラー&ミラーヒーター作動中の警告  
(ミラーヒーター装着車)**

ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

**注意****■ バッテリーあがりを防ぐために**

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

## 室内灯一覧

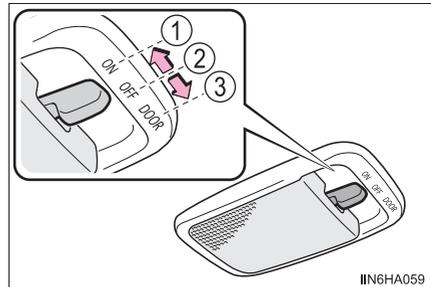


BTO62DY001

- ① フロントルームランプ
- ② リヤルームランプ
- ③ センタートレイ（ドリンクホルダー付）照明  
（車幅灯が点灯しているとき）

### フロントルームランプ・リヤルームランプ

- ① ランプを点灯する
- ② ランプを消灯する
- ③ ドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる（ドアポジション）

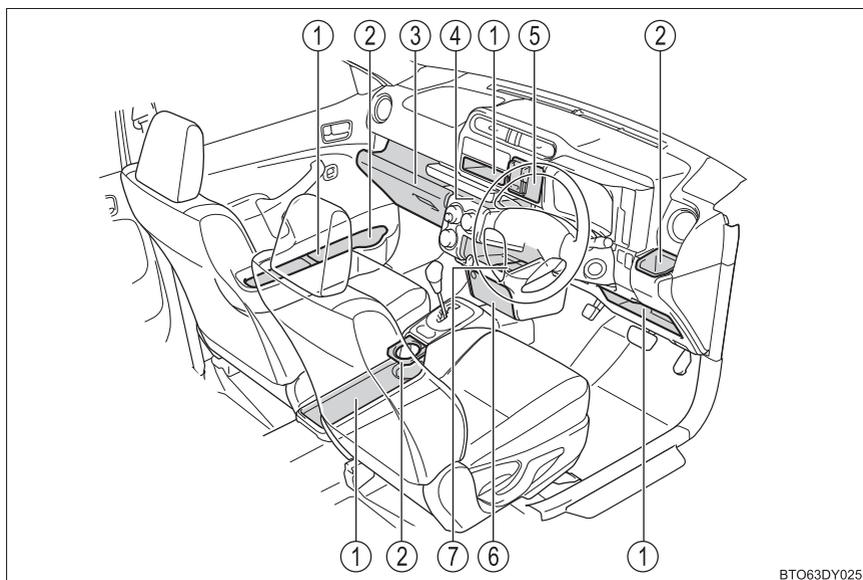


IIN6HA059

### ⚠ 注意

バッテリーあがりを防ぐために、エンジンが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

## 収納装備一覧



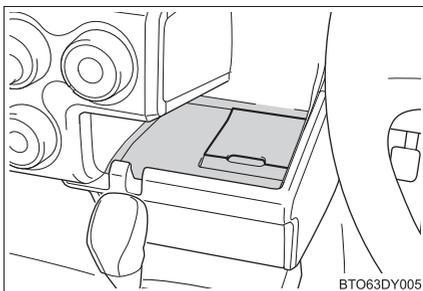
- ① オープントレイ・ポケット (→ P. 165)
- ② カップホルダー・ボトルホルダー (→ P. 163)
- ③ 開閉式ワイドフリーラック (→ P. 162)
- ④ インパネトレイ (→ P. 161)
- ⑤ マルチホルダー (→ P. 158)
- ⑥ センターボックス (→ P. 162)
- ⑦ センタートレイ (ドリンクホルダー付) (→ P. 156)

 **警告**

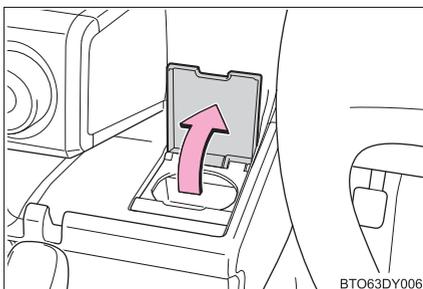
- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。  
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・ 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
  - ・ 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる
- 収納装備を使わないときは、必ずフタを閉じたり、格納してください。  
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタや収納装備に体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

**センタートレイ（ドリンクホルダー付）****■ オープントレイとして使う**

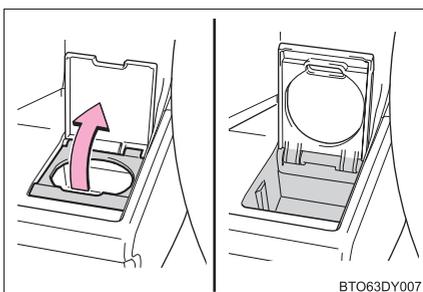
フタを閉める

**■ カップホルダーとして使う**

フタを開ける

**■ 1L紙パックホルダーとして使う**

フタとカップホルダーを開ける



## 知識

### ■ カップホルダーとして使うときは

→ P. 164

### ■ 1L 紙パックホルダーとして使うときは

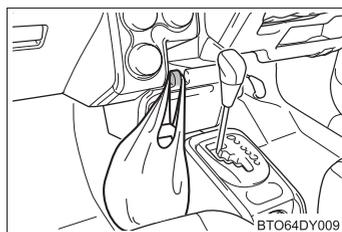
- 紙パックのフタを閉められるものは、必ずフタを閉めてから収納してください。
- 紙パックの大きさ・形によっては収納できないことがあります。

### ■ センタートレイ（ドリンクホルダー付）照明

車幅灯が点灯しているとき、照明が点灯します。（→ P. 153）

### ■ 買い物フック

センタートレイ（ドリンクホルダー付）左側のフックには、袋などをかけることができません。



## 警告

### ■ オープントレイとして使うときは

→ P. 165

### ■ カップホルダーとして使うときは

→ P. 164

### ■ 1L 紙パックホルダーとして使うときは

1L 紙パックホルダーには紙パック以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。

## 注意

● 1L 紙パックホルダーとして使うときは、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

● 破損を防ぐために、センタートレイ（ドリンクホルダー付）左側のフックに 3kg をこえるものをかけたり、過度の負荷をかけないでください。

## マルチホルダー

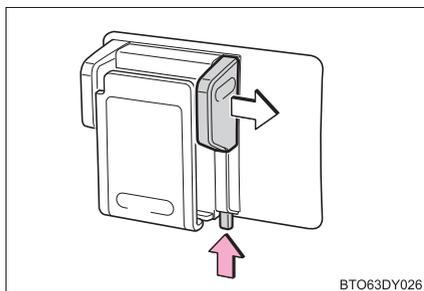
マルチホルダーは、スマートフォンなどの携帯機器やメモ用紙などを収納するための装備です。

携帯機器などを固定して画面を見たり操作するための装備ではありません。

### ■ スマートフォンなどの携帯機器やメモ用紙などを置く

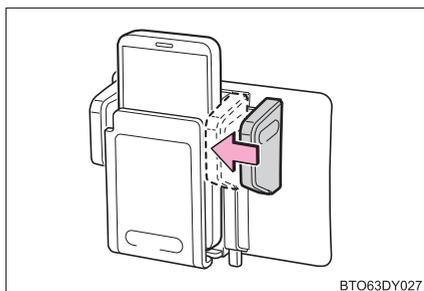
#### 1 ボタンを押す

アジャスターが開きます。



#### 2 アジャスターを閉める

置いたものの大きさに合わせて閉めてください。



## ■ 小物入れとして使う

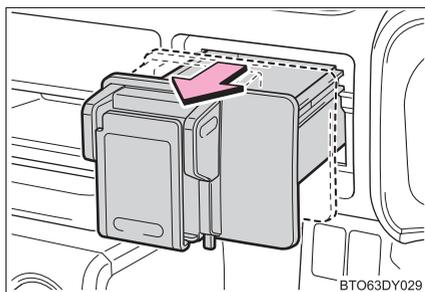
### 1 押して開ける

小物入れが少し開きます。



### 2 手前に引く

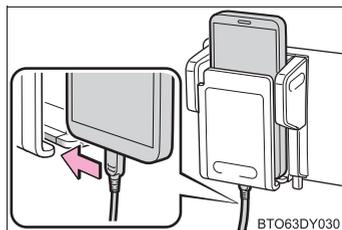
ストッパーにあたり止まるまで、小物入れを引き出すことができます。



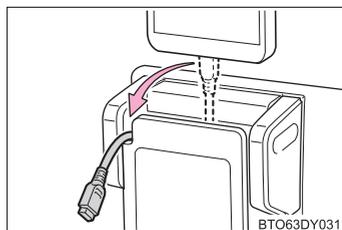
## □ 知識

### ■ スマートフォンなどの携帯機器を置くときは

- 携帯機器に接続したケーブルは、マルチホルダー下部のスリットから出しておくことができます。ケーブルは、スリット右側から通すことができます。



- マルチホルダーから携帯機器を持ち出すときは、はずしたケーブルをホルダー左上のくぼみに引っかけておくことができます。



 **警告**

- アジャスターの操作時などマルチホルダーを使用するときは、ワイパー&ウォッシャースイッチに手があたらないように気を付けてください。手があたりワイパー&ウォッシャーが不意に作動すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- マルチホルダーを小物入れとして使う場合、走行中は必ず閉じてください。開いたマルチホルダーに手が当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

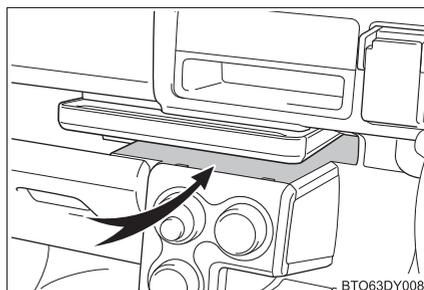
 **注意**

- エアコンの使用状況や車室内外の温度・湿度によっては、マルチホルダーに置いたスマートフォンなどの携帯機器内部が結露するおそれがあります。それぞれの携帯機器に付属の取り扱い説明書もお読みください。
- マルチホルダーを小物入れとして使う場合、重いものを入れしないでください。引き出しにくくなったり、変形するおそれがあります。

## インパネトレイ

A4 サイズまでのバインダーや書類などを入れることができます。

A4 サイズのものは、横向きに入れてください。



### ⚠ 警告

インパネトレイには、トレイから大きくはみ出るようなものや、転がりやすいものを置かないでください。

急ブレーキ時などに、はみ出した部分に体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

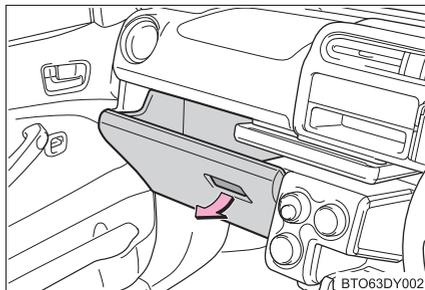
### ⚠ 注意

インパネトレイには、トレイから大きくはみ出るようなものを置かないでください。

インパネテーブル (→ P. 170) を引き出したときにあたり、破損するおそれがあります。

### 開閉式ワイドフリーラック

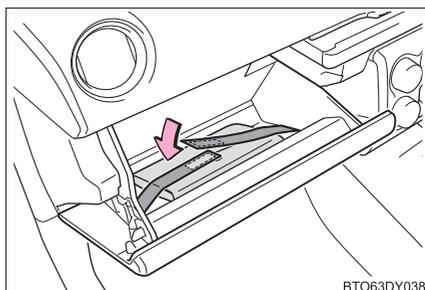
開口部を広げるには、レバーを引き上げる



#### ■ 車検証入れや取扱書などの収納

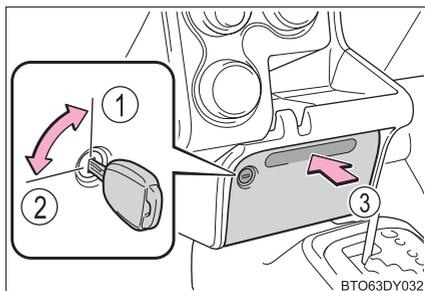
ラック内側のゴムバンドで留めることができます。

左右のゴムバンドどうしを先端で貼り付けることができます。



### センターボックス

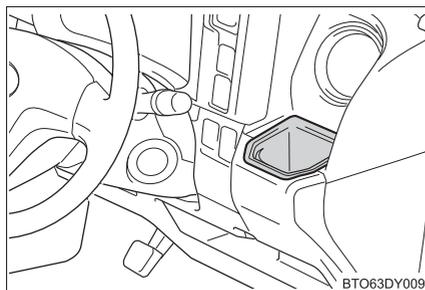
- ① 施錠
- ② 解錠
- ③ 押して開ける



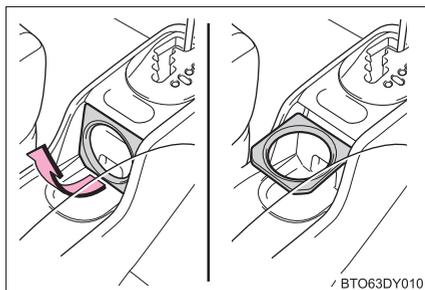
## カップホルダー・ボトルホルダー

### ■ カップホルダー

#### ▶ 運転席右側

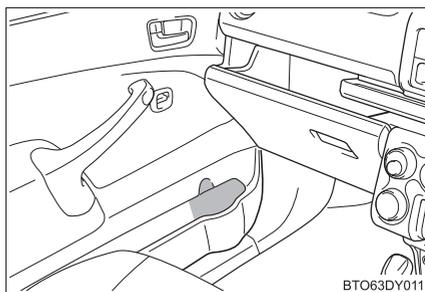


#### ▶ センターコンソール



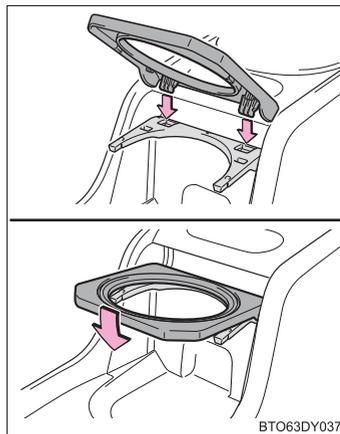
使用するときには、引き起こす

### ■ ボトルホルダー（助手席ドア）



 知識

- フタを閉められるものは、必ずフタを閉めてから収納してください。
- カップ・缶・ペットボトルの大きさ・形によっては収納できないことがあります。
- センターコンソールのカップホルダー部は、はずれてしまっても、再び取り付けて使用することができます。

 警告

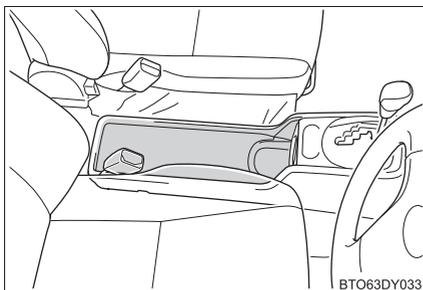
カップホルダー・ボトルホルダーにはカップ・缶・ペットボトル以外のものを置かないでください。  
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

 注意

- センターコンソールのカップホルダーに手をついたり、ホルダーを足で踏んだりしないでください。
- 助手席ドアのボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

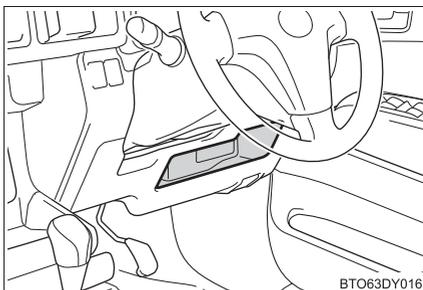
## オープントレイ・ポケット

### ▶ センターコンソールトレイ



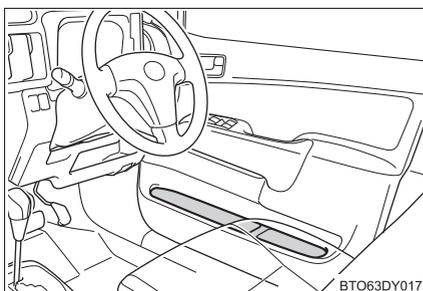
BTO63DY033

### ▶ 運転席ロアポケット



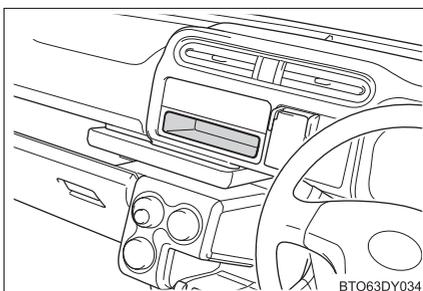
BTO63DY016

### ▶ ドアポケット



BTO63DY017

### ▶ 1DIN ポケット★



BTO63DY034

## ⚠ 警告

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、急ブレーキ時などに収納していたものが飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

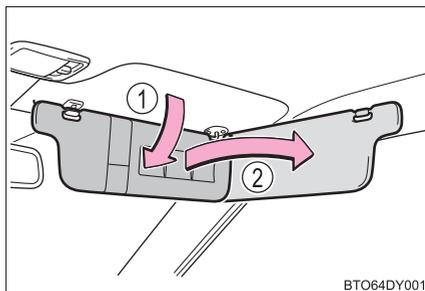
- センターコンソールトレイには、転がりやすいものなど不安定なものを置かない
- センターコンソールトレイにかばんなどを置く場合、走行中やブレーキをかけたときなどに、不安定にならないようにする
- ポケットには、転がりやすいものや、凹面からはみ出るようなものを置かない

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## その他の室内装備

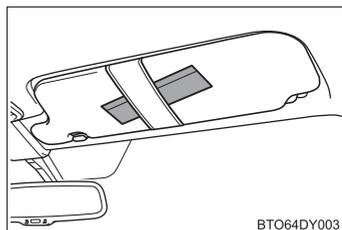
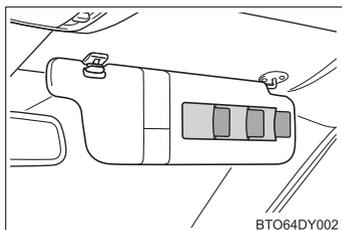
### サンバイザー

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



### 知識

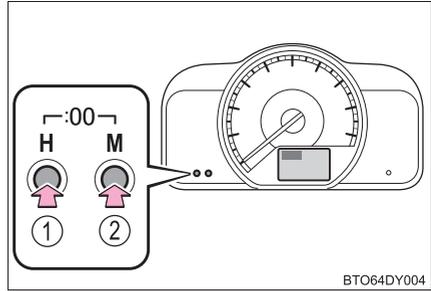
#### ■ チケットホルダー（運転席側）



## 時計

ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する
- ② “分” を調整する

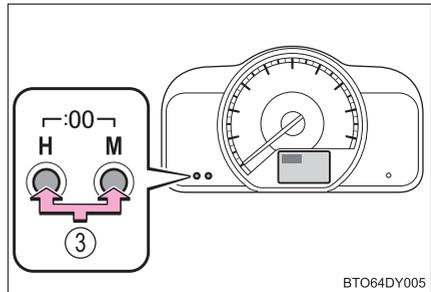


BTO64DY004

- ③ “分” を 00 にする※

時計調整ボタンを同時に 1 秒以上押し続けます。

- ※ (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00  
1:30 ~ 1:59 → 2:00



BTO64DY005

## 知識

- エンジンスイッチが “ON” のとき、時刻が表示されます。
- バッテリー端子の脱着を行うと、時刻はリセットされます。

**アクセサリソケット・アクセサリコンセント★**

次の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

アクセサリソケット：

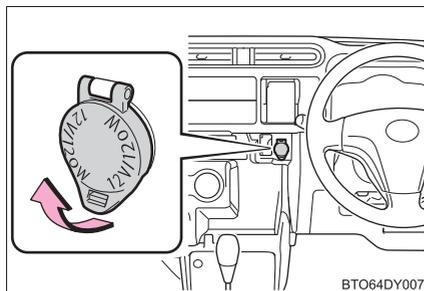
DC12V で最大電流 10A（最大消費電力 120W）以下の電気製品

アクセサリコンセント：

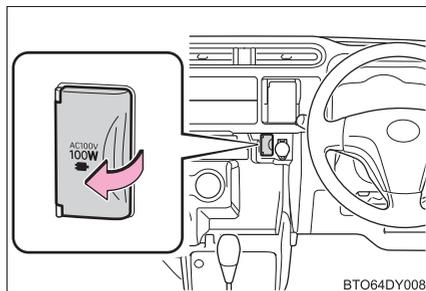
AC100V で最大消費電力 100W 以下の電気製品

▶ アクセサリソケット

▶ アクセサリコンセント



フタを開ける



フタを開ける

**知識**

- エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき、アクセサリソケットを使用できます。
- エンジンスイッチが“ON”のとき、アクセサリコンセントを使用できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **注意****■ ショートや故障を防ぐために**

挿し込み口に異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。

**■ ヒューズが切れるのを防ぐために****▶ アクセサリーソケット**

DC12V で最大電流 10A（最大消費電力 120W）をこえる電気製品を使用しないでください。

**▶ アクセサリーコンセント**

AC100V で最大消費電力が 100W をこえる電気製品は使用しないでください。消費電力が 100W をこえる電気製品を使用すると、保護回路が作動して電源を遮断します。

**■ バッテリーあがりを防ぐために**

エンジンが停止した状態で、アクセサリーソケット・アクセサリーコンセントを長時間使用しないでください。

**■ 正しく作動しないおそれがある電気製品（アクセサリーコンセント）**

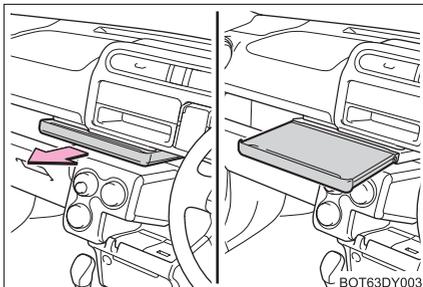
次のような AC100V の電気製品は、消費電力が 100W 以下の場合でも正常に作動しないおそれがあります。

- 起動時のピーク電力が高い電気製品
- 精密なデータを処理する計測機器
- 電源周波数の切りかえ（50 / 60Hz）のある機器
- 極めて安定した電力供給を必要とするその他の電気製品

## インパネテーブル

### 引き出す

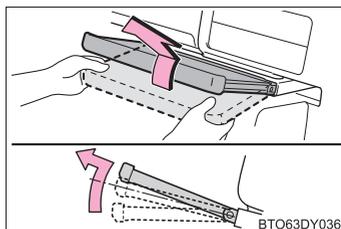
停車しているときに、引き出して使用してください。



### 知識

- インパネテーブルは、弁当の置き場所、車内での伝票書き、小型パソコンでの作業などに使用できます。
- インパネテーブルは、次のように取りはずすことができます。

- 1 テーブルをすべて引き出す
- 2 テーブル手前の両端を持って、上げながら引き抜く



 **警告**

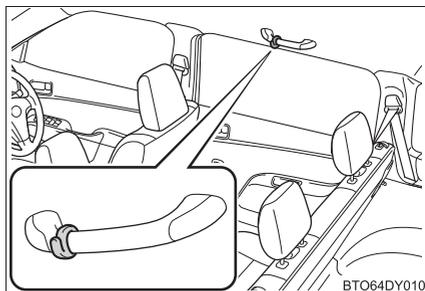
- 走行中は、インパネテーブルを必ず格納してください。  
急ブレーキや急旋回時などに、テーブルに体があたり、テーブルの上に置いているものが落ちたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- インパネテーブルにもたれかからないでください。  
テーブルが破損し、けがをするおそれがあります。

 **注意**

- 破損を防ぐために、インパネテーブルに 10kg をこえるものを置いたり、過度の負荷をかけないでください。
- コインやカードなどを上に置いたまま、インパネテーブルを格納しないでください。  
コインやカードなどが中に入り込んで取れなくなるおそれがあります。

## コートフック

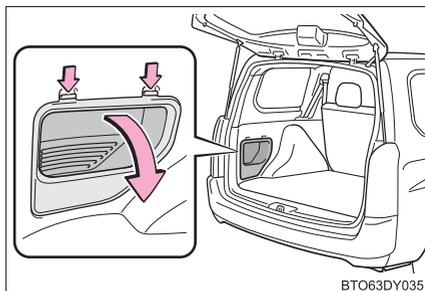
リヤの運転席側に付いています。



## デッキサイドポケット

ラゲージルームの助手席側にあります。

取りはずすときは、ツメを押しながら  
はらず



## 警告

- デッキサイドポケット裏側のスペースには、換気用の弁が取り付けられています。次の理由から荷物などを収納しないでください。
  - ・ 荷物が弁をふさぎ、換気性能が悪化し、ドアの閉まりが悪くなるおそれがあります。
  - ・ 荷物で弁が押し開かれたままの状態になり、車内に排気ガスや水が侵入するおそれがあります。
- デッキサイドポケットを取りはずして使用したあとは、必ず取り付けおいてください。

## お手入れのしかた

# 7

### 7-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	174
内装の手入れ.....	177

### 7-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット .....	179
ガレージジャッキ .....	181
ウォッシャー液の補給 .....	182
タイヤについて .....	183
エアコンフィルターの 交換 .....	187
ワイヤレスキーの電池交換 ...	190
ヒューズの点検・交換 .....	192
電球（バルブ）の交換 .....	194

## 外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかけてください。(およそ体温以下を目安としてください)

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

 知識

## ■ 自動洗車機を使うときは

- ドアミラー・アンテナを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

## ■ 高圧洗浄機を使うときは

- 車内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。

## ■ バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

 警告

## ■ 洗車をするときは

エンジンルーム内に水をかけないでください。  
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

## ■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
  - ・ 海岸地帯を走行したあと
  - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
  - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
  - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
  - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
  - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

**■ ランプの清掃**

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

**■ 高圧洗浄機を使うときは**

- 洗車時に高圧洗浄機でカメラ★やカメラ周辺に直接水をあてないでください。高い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクター類に近付けすぎないでください。水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により性能が劣化したり、部品が損傷するおそれがあります。
  - ・ 駆動系部品
  - ・ ステアリング部品
  - ・ サスペンション部品
  - ・ ブレーキ部品

**■ アンテナの損傷を防ぐために**

→ P. 146

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

### 車内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る  
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

### 知識

#### ■ カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

#### ■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。

シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

### 警告

#### ■ 車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRS エアバッグの構成部品や配線などをぬらさないでください。(→ P. 29)  
電気の不具合により、エアバッグが展開したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
  - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
  - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

**■ 床に水がかかると**

水で洗わないでください。

オーディオ★やフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

**■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは**

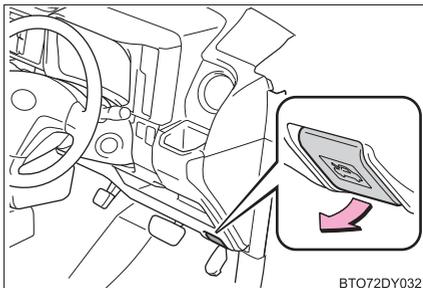
- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

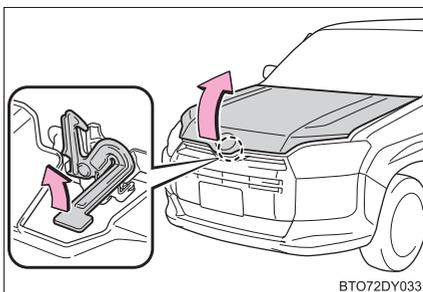
## ボンネット

車内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

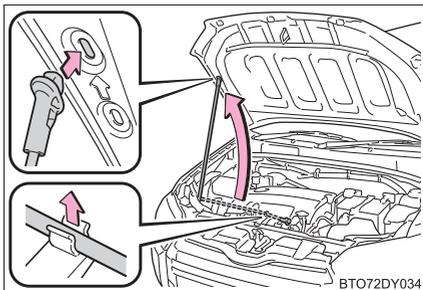
- 1 ボンネット解除レバーを引く  
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



**警告****■ 走行前の確認**

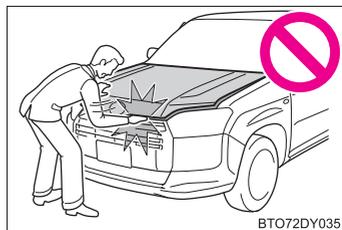
ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。  
ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ エンジンルームを点検したあとは**

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。  
点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあります。

**■ ボンネットを閉めるときは**

手などを挟まないように注意してください。  
重大な傷害を受けるおそれがあります。

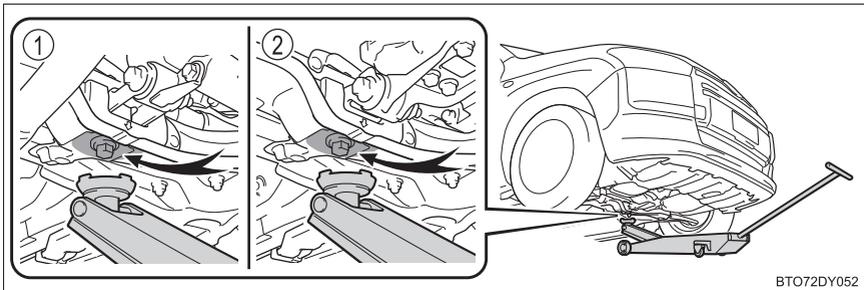
**注意****■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。  
ボンネットがへこむおそれがあります。

## ガレージジャッキ

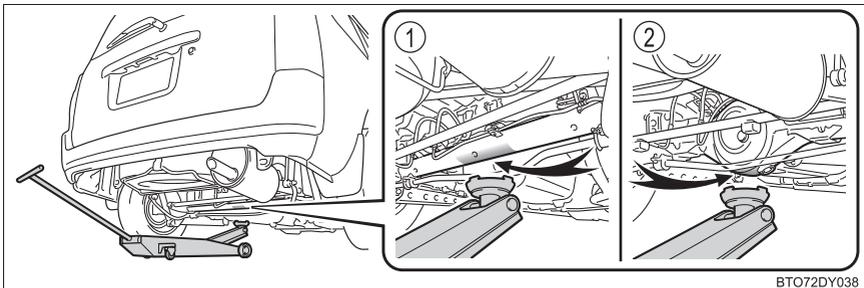
ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取り扱い説明書に従って、安全に作業してください。  
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。  
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

### ◆ フロント側



- ① 1NR-FE エンジン搭載車
- ② 1NZ-FE エンジン搭載車

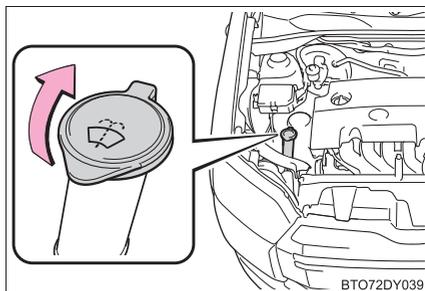
### ◆ リヤ側



- ① FF 車
- ② 4WD 車

## ウォッシャー液の補給

タンク側面から液量を確認し、不足しているときは、キャップを開けてウォッシャー液を補給する



### ⚠ 警告

#### ■ ウォッシャー液を補給するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補給しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

### ⚠ 注意

#### ■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

#### ■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

## タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

### タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

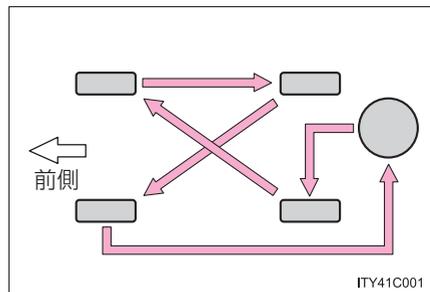
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

### タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



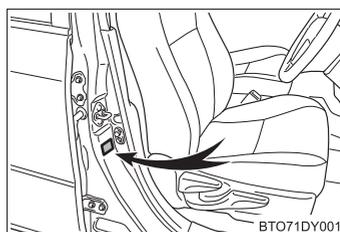
 知識

**■ タイヤ空気圧の数値**

	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )			
	前輪		後輪	
	空荷時	積荷時 <sup>※</sup>	空荷時	積荷時 <sup>※</sup>
FF 車	220 (2.2)	240 (2.4)	220 (2.2)	290 (2.9)
4WD 車			230 (2.3)	

※ 100kg 以上または 4 名乗車以上

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。


**■ タイヤ関連の部品を交換するとき**

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

## 警告

### ■点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

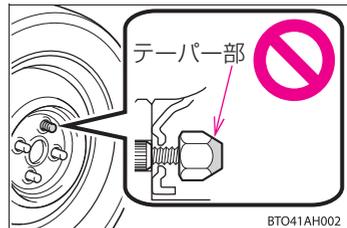
### ■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

### ■タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。  
テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースを塗らないでください。  
ナットを締めるときに必要な以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

### ■異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ 走行中に空気もれが起こったら**

走行を続けしないでください。  
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

**■ 悪路走行に対する注意**

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。  
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

## エアコンフィルターの交換

エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

### 交換のしかた

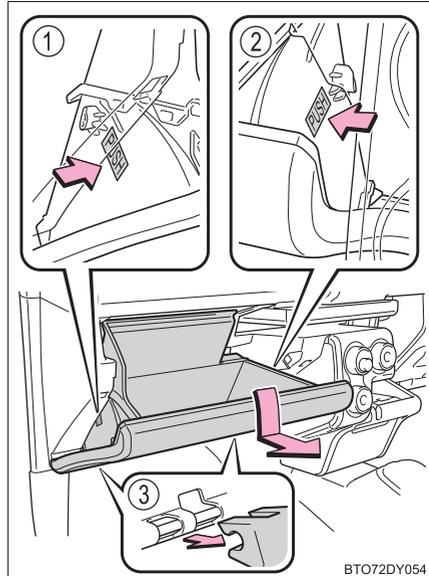
1 エンジンスイッチを“LOCK”にする

2 開閉式ワイドフリーラックの開  
口部を広げ、上部・下部のツメを  
はずして取りはずす

- ① 上部左側のツメを取りはずす
- ② 上部右側のツメを取りはずす
- ③ 下部のツメを取りはずす

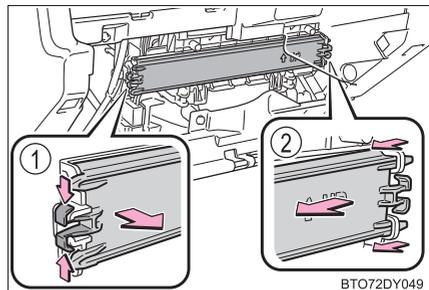
上部のツメをはずすときは、開閉式ワイドフリーラック側面の「PUSH」の部分を押してください。

上部左側のツメをはずした状態で、上部右側のツメをはずしてください。



3 フィルターカバーを取りはずす

- ① カバーの固定を解除する
- ② カバーを矢印の方向にずらして抜く

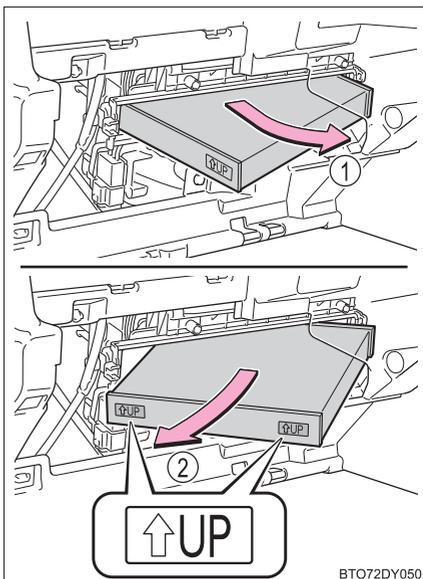


**4** フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

**①** 車両内側へまわすように引き出す

フィルターの左側面がすべて出るまで引き出してください。

**②** 車両外側へまわすように取りはずす



**5** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

**知識**

**■ フィルターの交換について**

フィルターは次の時期を目安に交換してください。

20,000km [10,000km<sup>\*</sup>] ごと

<sup>\*</sup> 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

**■ エアコンの風量が減少したときは**

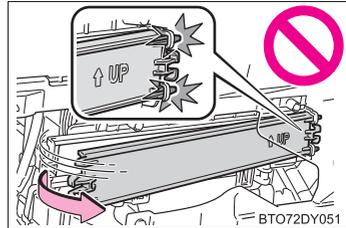
フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを交換してください。

 **注意****■ エアコンを使用するときの注意**

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。  
水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

**■ フィルターカバーを取りはずすときは**

フィルターカバーの固定を解除するために矢印の方向に動かすときは、カバー右端を固定している部分に無理な力がかからないよう注意してください。  
破損するおそれがあります。



## ワイレスキーの電池交換★

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

### 用意するもの

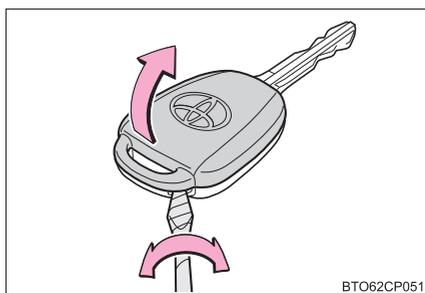
- マイナスドライバー
- リチウム電池 CR2016

### 電池交換のしかた

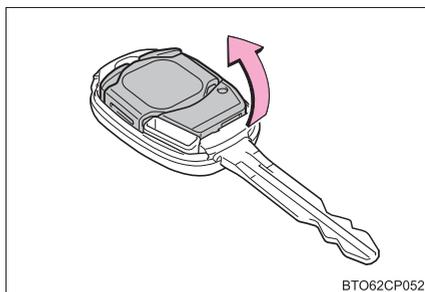
#### 1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

ボタン側を下向きにしてカバーをはずしてください。上向きにするとボタンがはずれるおそれがあります。

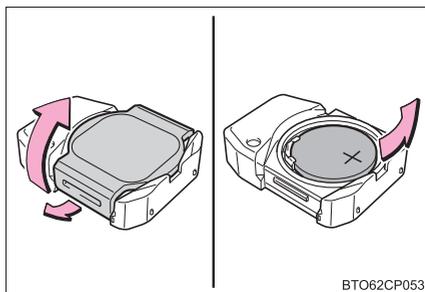


#### 2 モジュールを取り出す



#### 3 モジュールカバーをはずし、消耗した電池を取り出す

新しい電池は + 極を上にして取り付けます。



#### 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ リチウム電池 CR2016 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

## ■ 電池が消耗していると

次のような状態になります。

- ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 警告

## ■ 取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

## ■ 交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

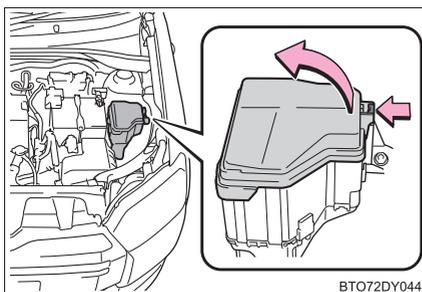
- ぬれた手で電池を交換しない  
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

## ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

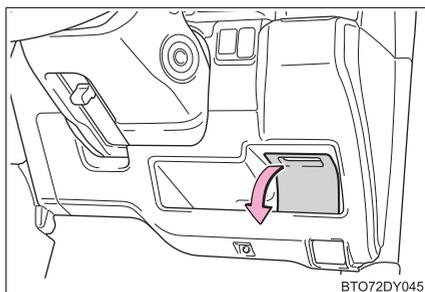
- 1 エンジンスイッチを“LOCK”にする
- 2 ヒューズボックスを開ける

▶ エンジンルーム



ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

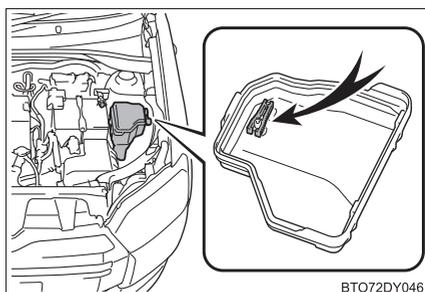
▶ 運転席ドアポケット



取っ手を引いて、カバーをはずす

- 3 ヒューズはずしでヒューズを引き抜く

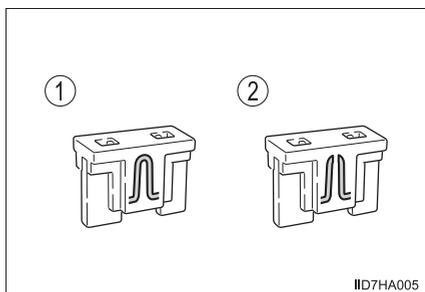
ヒューズはずしは、エンジンルームにあるヒューズボックスのカバーに付いています。



- 4 ヒューズが切れていないか点検する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



 知識

## ■ ヒューズを交換したあと

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。  
(→ P. 194)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

 警告

## ■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 注意

## ■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 電球（バルブ）の交換

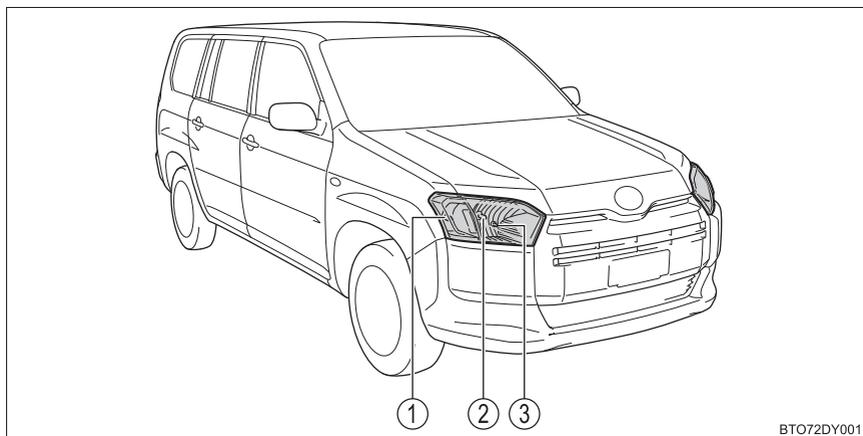
次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

### 電球の用意

切れた電球の W（ワット） 数を確認してください。（→ P. 250）

### バルブ位置

#### ■ フロント

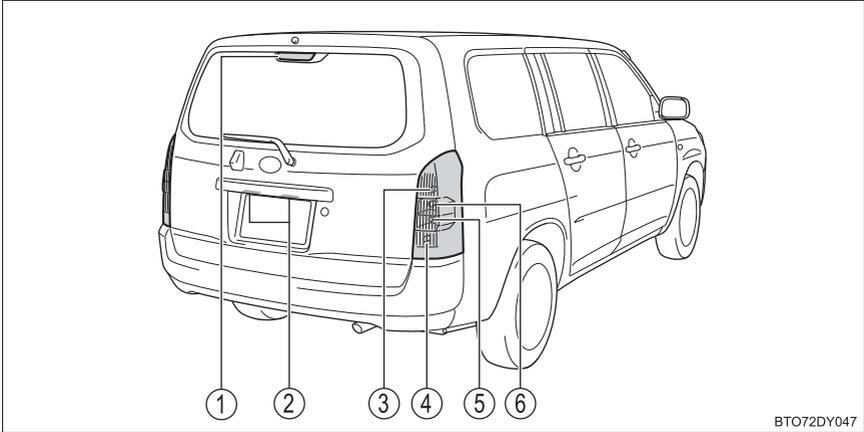


① フロント方向指示灯／  
非常点滅灯

② ヘッドランプ

③ 車幅灯

## ■ リヤ



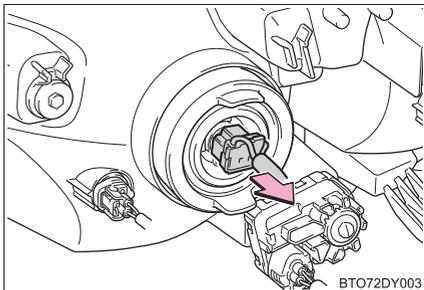
- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ① ハイマウントストップランプ | ④ リヤフォグランプ★     |
| ② 番号灯           | ⑤ 後退灯           |
| ③ 制動灯／尾灯        | ⑥ リヤ方向指示灯／非常点滅灯 |

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

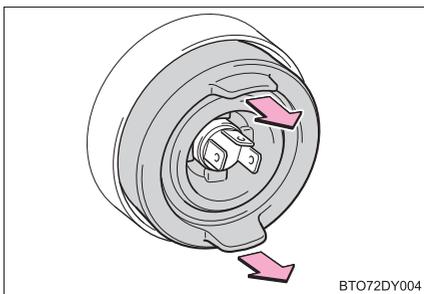
## 電球交換のしかた

### ■ ヘッドランプ

- 1 ボンネットを開け、コネクターを取りはずす

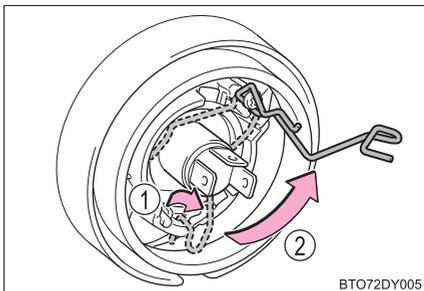


- 2 ゴムカバーを取りはずす

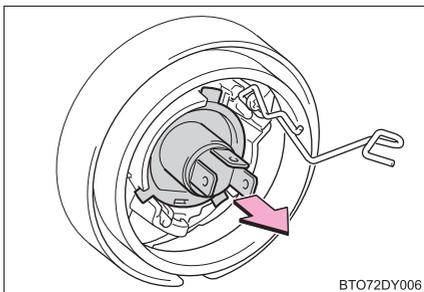


- 3 留め金をはずす

- ① フックからはずす
- ② 開く



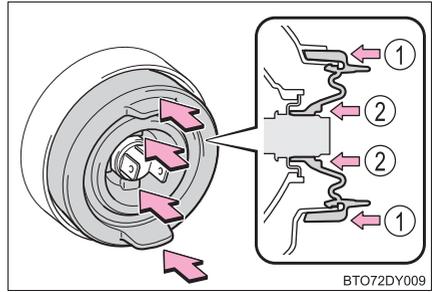
- 4 電球を取りはずす



- 5 新しい電球を取り付け、留め金をかける

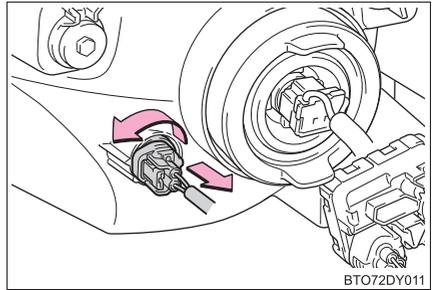
**6** ゴムカバーを取り付ける

- ① 外周をしっかりとめ込む
- ② 内周（電球まわり）を全周にわたり電球の金具部分が確認できるまで押し込む

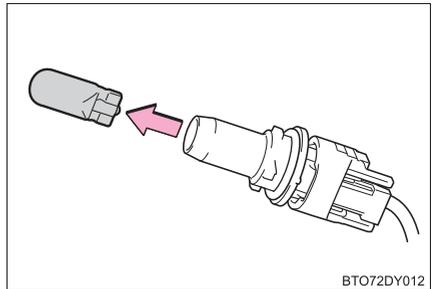
**7** コネクターを取り付け、ボンネットを閉める

## ■ 車幅灯

- 1** ボンネットを開け、ソケットを取りはずす



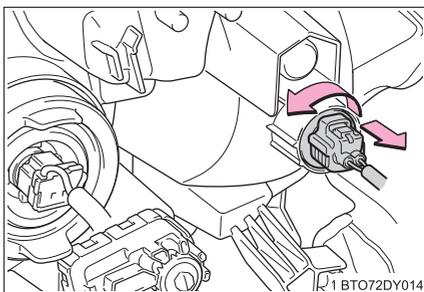
- 2** 電球を取りはずす



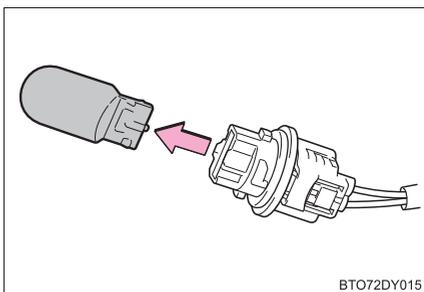
- 3** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

## ■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

- 1 ボンネットを開け、ソケットを取りはずす



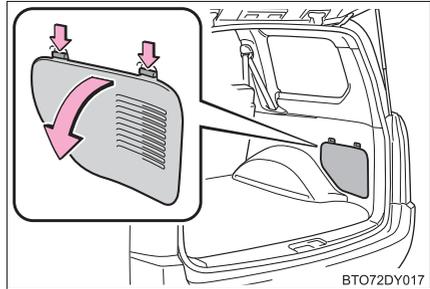
- 2 電球を取りはずす



- 3 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

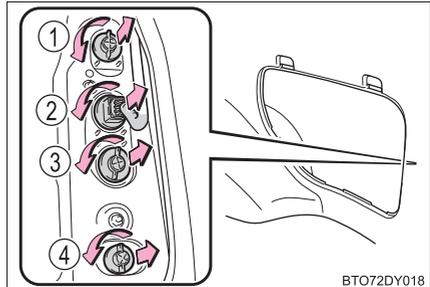
## ■ 制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯・ リヤフォグランプ★

- 1 バックドアを開け、カバーを取り  
はずす



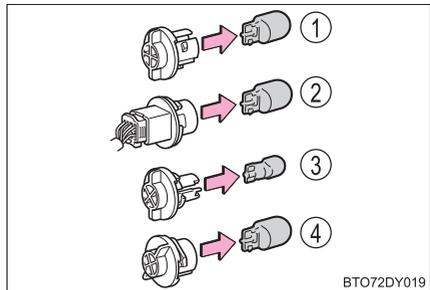
- 2 ソケットを取りはずす

- ① 制動灯／尾灯
- ② リヤ方向指示灯／  
非常点滅灯
- ③ 後退灯
- ④ リヤフォグランプ



- 3 電球を取りはずす

- ① 制動灯／尾灯
- ② リヤ方向指示灯／  
非常点滅灯
- ③ 後退灯
- ④ リヤフォグランプ



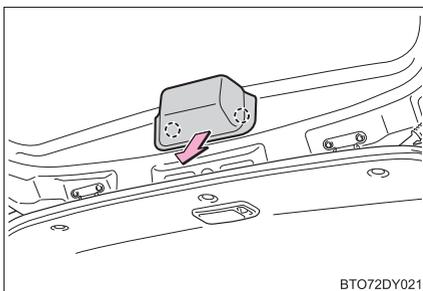
- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

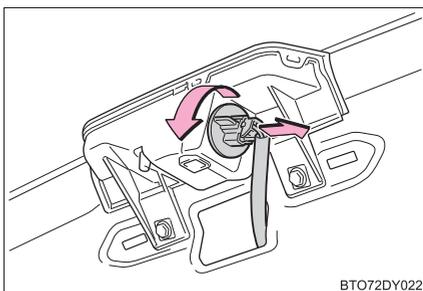
## ■ ハイマウントストップランプ

- 1 バックドアを開け、カバーを取りはずす

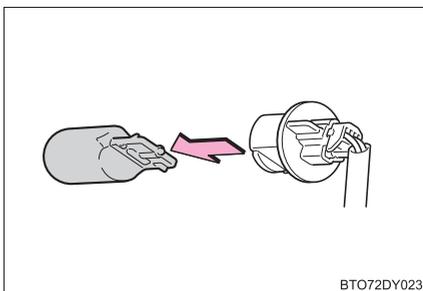
カバー裏に固定具（2個）があります。



- 2 ソケットを取りはずす



- 3 電球を取りはずす



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

## ■ 番号灯

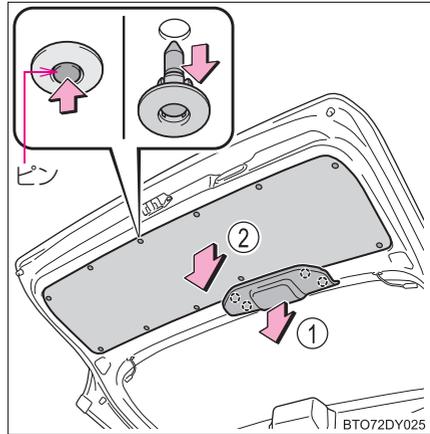
- 1 バックドアを開け、カバーと内張りを取りはずす

① カバー裏に固定具（4 個）があります。

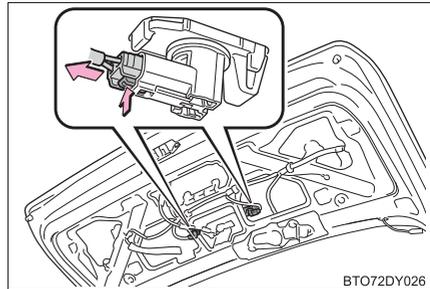
② ピンを押し込んで、クリップ（11 個）をはずします。

ピンを必要以上に強く押し込まないでください。ピンがクリップからはずれ、抜けなくなるおそれがあります。

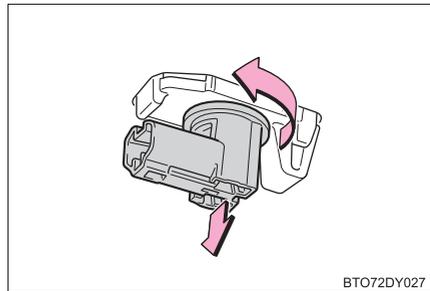
クリップをはずすときは、内張りが落下しないように、手で支えてください。

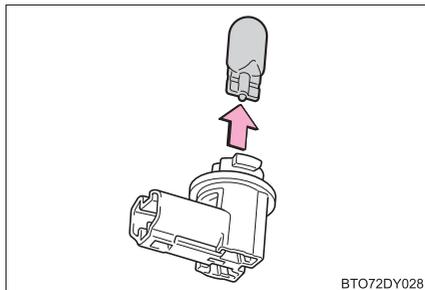


- 2 コネクターを取りはずす

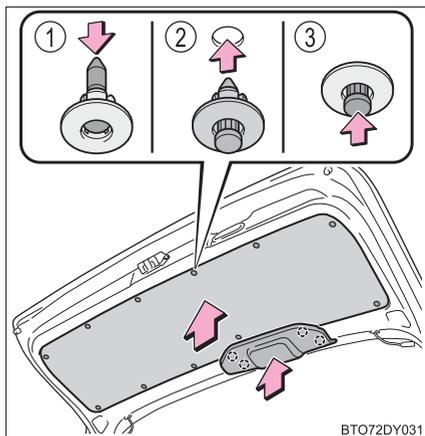


- 3 ソケットを取りはずす



**4** 電球を取りはずす**5** 新しい電球を取り付け、ソケットを取り付ける**6** コネクターを取り付ける**7** 内張りとカバーを取り付け、バックドアを閉める

- ① 押し込まれたピンを反対方向に押し、先端を出す
- ② クリップを挿し込む
- ③ ピンを押す



- サイド方向指示灯／非常点滅灯の電球が切れたときは  
トヨタ販売店で交換してください。

## 知識

### ■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

## 警告

### ■ 電球を交換するときは

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。  
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。  
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。  
取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路・および構成部品を、修理または分解しないでください。感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。



## 万が一の場合には

## 8

## 8-1. まず初めに

故障したときは.....	206
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	207
発炎筒 .....	208
車両を緊急停止するには .....	210

## 8-2. 緊急時の対処法

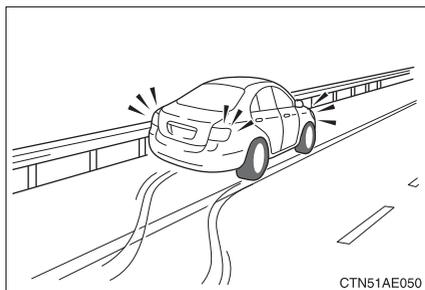
けん引について .....	211
警告灯がついたときは .....	218
パンクしたときは .....	221
エンジンが かからないときは .....	232
シフトレバーが シフトできないときは .....	233
バッテリーが あがったときは .....	234
オーバーヒートしたときは ...	238
スタックしたときは .....	241

## 故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

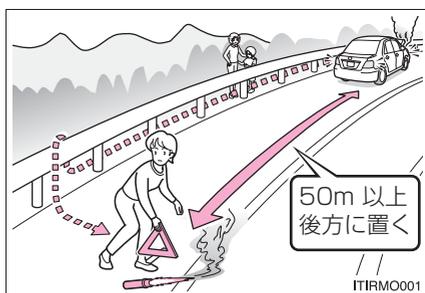
非常点滅灯（→ P. 207）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

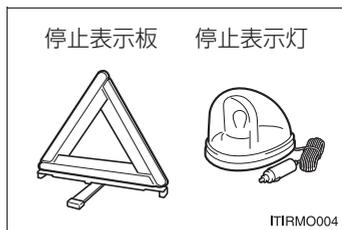
- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 208）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



### 知識

#### ■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

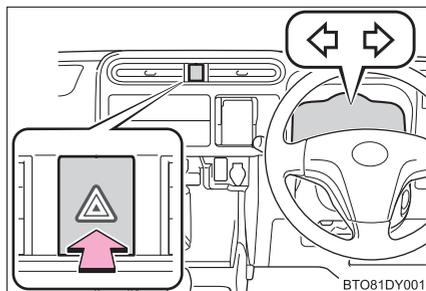


## 非常点滅灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。  
もう一度押すと消灯します。



### 知識

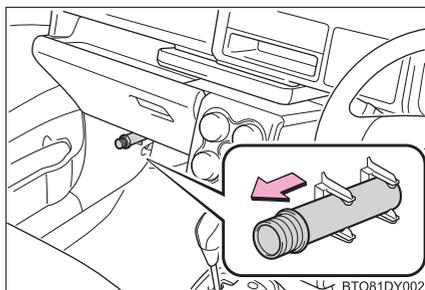
#### ■ 非常点滅灯について

エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。

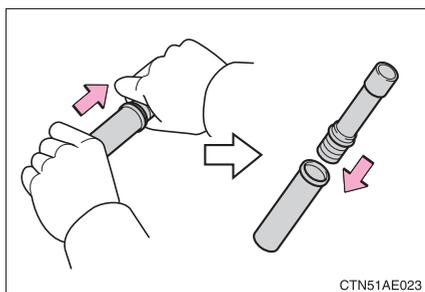
## 発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。  
 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)  
 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

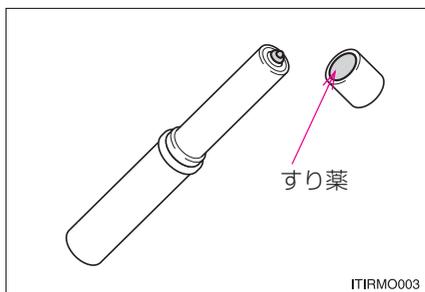
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる  
 必ず車外で使用してください。  
 着火させる際は、筒先を顔や体に向け  
 ないでください。



### 知識

#### ■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でのお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 **警告****■ 発炎筒を使用してはいけない場所**

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。  
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

**■ 発炎筒の取り扱いについて**

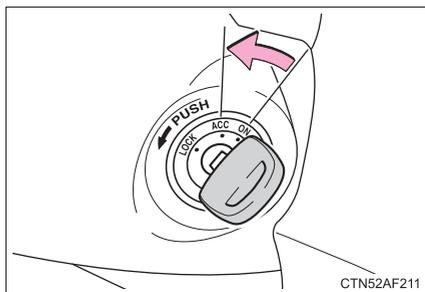
次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

## 車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける  
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトレバーを N に入れる  
▶ シフトレバーが N に入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 エンジンを停止する  
▶ シフトレバーが N に入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 エンジンスイッチを“ACC”にして、エンジンを停止する



- 5 車を安全な道路脇に停める

### ⚠ 警告

#### ■ 走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは

- ブレーキの効きが悪くなると共にハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

## けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

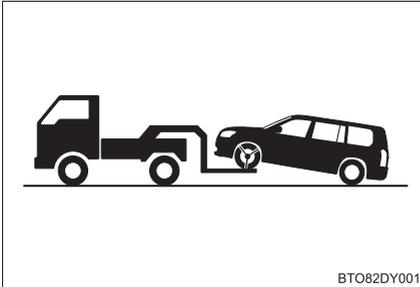
### けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンがかかるが車が動かない
- 異常な音がする

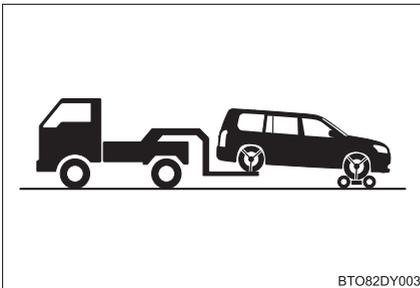
### レッカー車でけん引するとき

- ▶ 前向きにけん引するときは (FF 車)



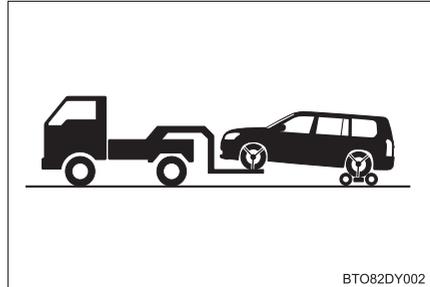
パーキングブレーキを解除する

- ▶ うしろ向きにけん引するときは



台車を使用して前輪を持ち上げる

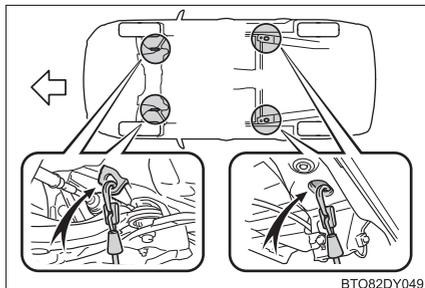
- ▶ 前向きにけん引するときは (4WD 車)



台車を使用して後輪を持ち上げる

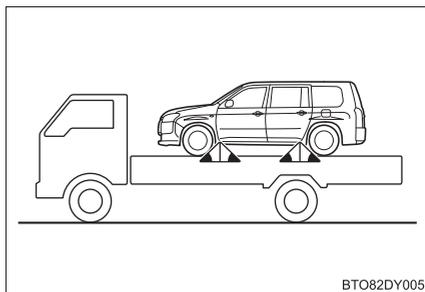
### 車両運搬車を使用するとき

車両運搬車で輸送されているときは、図の場所にフックを取り付ける



BTO82DY049

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する

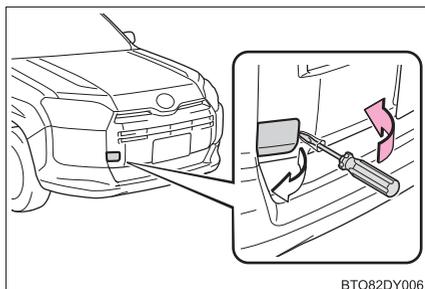


BTO82DY005

### けん引されるとき

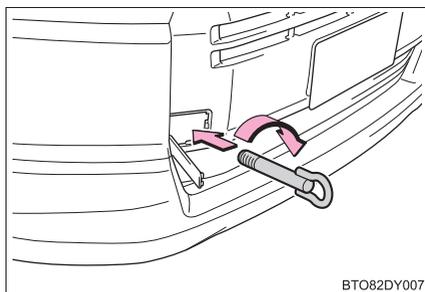
- 1 けん引フックを取り出す (→ P. 222)
- 2 フタをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



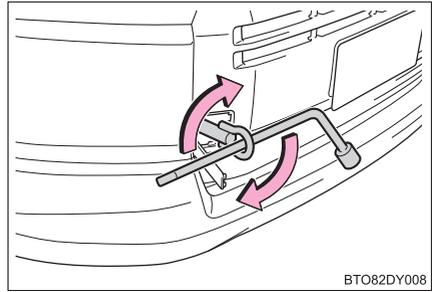
BTO82DY006

- 3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



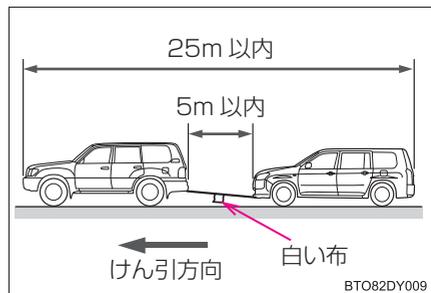
BTO82DY007

- 4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



- 5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける  
車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

- 6 ロープの中央に白い布を付ける  
布の大きさ：  
0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上



- 7 運転者はけん引される車両に乗り、エンジンをかける  
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“ON”にしてください。
- 8 けん引される車両のシフトレバーをNにしてから、パーキングブレーキを解除する  
けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。  
シフトレバーがシフトできないときは：→ P. 233

 知識

## ■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

## ■けん引されるときに

エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

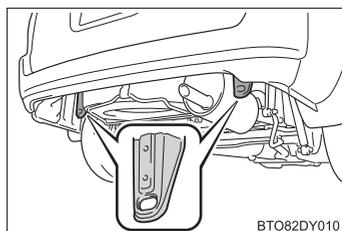
## ■ホイールナットレンチについて

工具袋に収納されています。(→ P. 222)

## ■輸送用フックについて

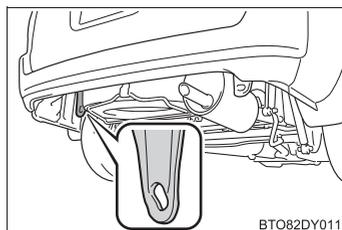
このフックは船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりすることはできません。

(寒冷地仕様車の助手席側は、緊急用フックとして使用することができます)



## ■緊急用フックについて (寒冷地仕様車の助手席側)

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



## ⚠ 警告

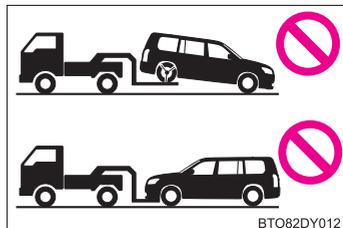
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■けん引されるとき

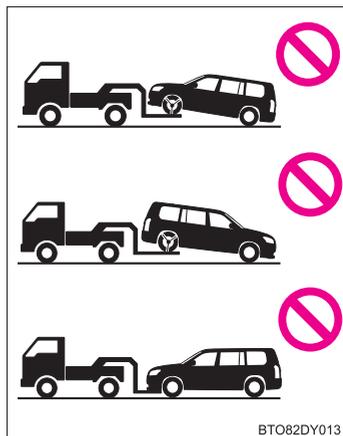
#### ▶ FF 車

必ず前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損するおそれがあります。



#### ▶ 4WD 車

4 輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり車が台車から飛び出したりするおそれがあります。



**警告****けん引中の運転について**

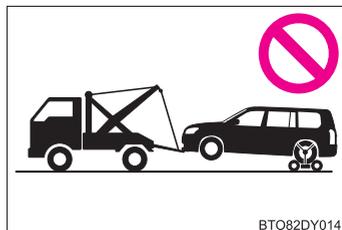
- ロープによるけん引を行うときは、けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。  
けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- エンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。  
ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

**けん引フックを車両に取り付けるとき**

指定の位置にしっかりと取り付けてください。  
指定の位置にしっかりと取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

**注意****レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。



BTO82DY014

**車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブルなどを過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

 **注意****■ 駆動系部品の損傷を防ぐために**

- ロープでけん引される時は次のことを必ずお守りください。
  - ・ ワイヤロープは使用しない
  - ・ 速度 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
  - ・ 前進方向でけん引する
  - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

**■ 長い下り坂でけん引するときは****▶ FF 車**

レッカー車で前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

**▶ 4WD 車**

レッカー車で 4 輪とも持ち上げた状態でけん引して下さい。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

**■ 輸送用フックについて**

輸送用フックで他車に引っ張り出してもらったり、他車をけん引したりしないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

**■ 緊急用フックについて（寒冷地仕様車の助手席側）**

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- 緊急用フックで他車をけん引しないでください。

## 警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### 警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<p>ブレーキ警告灯（警告ブザー※<sup>1</sup>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレーキ液の不足</li> <li>・ ブレーキ系統の異常</li> </ul> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。</p>
	<p>充電警告灯</p> <p>充電系統の異常</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>
	<p>油圧警告灯（警告ブザー）</p> <p>エンジンオイルの圧力異常</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>
 (赤色)	<p>高水温警告灯</p> <p>エンジン冷却水高温異常</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、「オーバーヒートしたときは」(→ P. 238) に従ってください。</p>
	<p>エンジン警告灯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジン電子制御システムの異常</li> <li>・ 電子制御スロットルの異常</li> <li>・ オートマチックトランスミッション電子制御システムの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p>SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SRS エアバッグシステムの異常</li> <li>・ プリテンショナー付シートベルトシステムの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

警告灯	警告灯名・警告内容・対処方法
	<b>ABS &amp; ブレーキアシスト警告灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ABS の異常</li> <li>・ ブレーキアシストの異常</li> </ul> → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	<b>パワーステアリング警告灯（警告ブザー）</b> EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	<b>スリップ表示灯</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ VSC システムの異常</li> <li>・ TRC システムの異常</li> <li>・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常</li> </ul> VSC・TRC の作動時には、点滅します。（→ P. 130） → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	<b>半ドア警告灯（警告ブザー※<sup>2</sup>）</b> いずれかのドアが確実に閉まっていない → 全ドアを閉める
	<b>燃料残量警告灯</b> 燃料の残量が約 7.5 L 以下になった → 燃料を補給する
	<b>運転席シートベルト非着用警告灯（警告ブザー※<sup>3</sup>）</b> 運転席シートベルトの非着用 → 運転席シートベルトを着用する

※<sup>1</sup> **ブレーキ警告ブザー：**

ブレーキ液が不足しているときに車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

※<sup>2</sup> **半ドア走行時警告ブザー：**

いずれかのドアが確実に閉まっていない状態で走行し、車速が約 5km/h 以上になると、警告ブザーが鳴ります。

※<sup>3</sup> **運転席シートベルト非着用警告ブザー：**

運転席シートベルトを非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席シートベルトを非着用のまま 30 秒が経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。

 知識

## ■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

## ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

 警告

## ■ パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドル操作が非常に重くなることがあります。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

## パンクしたときは

この車両には、スペアタイヤが搭載されています。パンクしたタイヤを、備え付けのスペアタイヤと交換してください。  
(タイヤについての詳しい説明は、P. 183 を参照してください)

### 警告

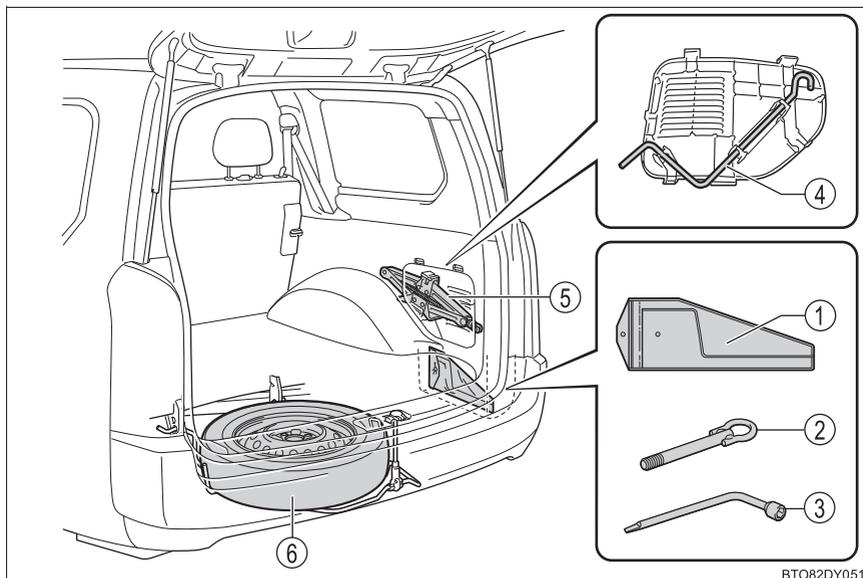
#### ■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。  
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーをPに入れる
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

## スペアタイヤ・工具・ジャッキの位置



① 工具袋

② けん引フック

③ ホイールナットレンチ

④ ジャッキハンドル

⑤ ジャッキ

⑥ スペアタイヤ

 **警告****■ ジャッキの使用について**

次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

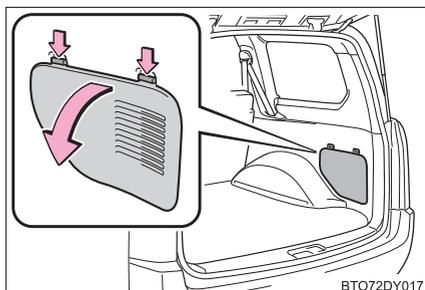
- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり、他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、エンジンをかけたり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

## 工具・ジャッキの取り出し方

- 1 ツメを押しながら、カバーを取りはずす

カバーの裏側にジャッキハンドルが取り付けられています。(→P. 222)

裏側のスペースに工具袋が収納されています。(→P. 222)

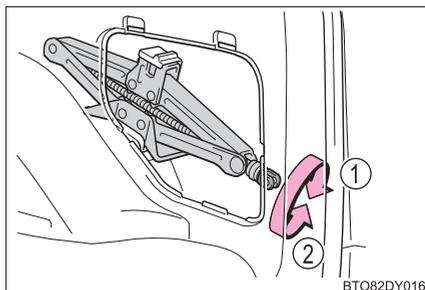


BT072DY017

- 2 ジャッキをゆるめて取りはずす

- ① 締まる
- ② ゆるむ

使用後はもとの位置にもどし、確実に固定してください。



BT082DY016

## 知識

### ■ 停止表示板の収納について

カバー裏側のスペースに停止表示板を収納することができます。

ただし、停止表示板のケースの大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

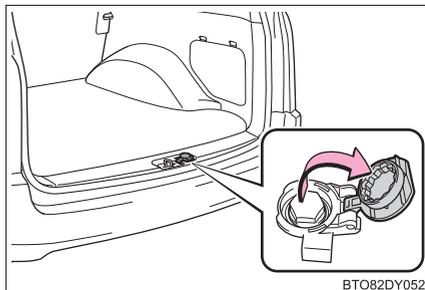
## 警告

### ■ カバー裏側のスペースについて

- カバー裏側のスペースには、換気用の弁が取り付けられています。次の理由から工具袋・停止表示板以外のものを収納しないでください。
  - ・ 荷物が弁をふさぎ、換気性能が悪化し、ドアの閉りが悪くなるおそれがあります。
  - ・ 荷物で弁が押し開かれたままの状態になり、車内に排気ガスや水が侵入するおそれがあります。
- 工具袋は、収納スペースの最深部に横向きにして収納してください。

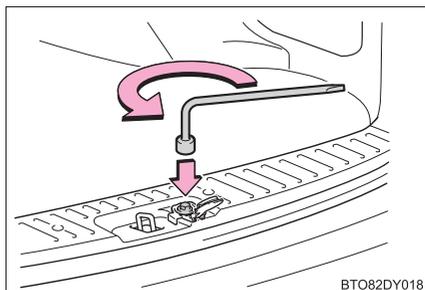
## スペアタイヤの取り出し方

- 1 カバーを開ける



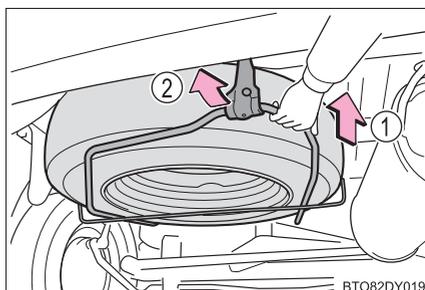
- 2 スペアタイヤ格納具がフックからはずせる程度にボルトをゆるめる

ボルトをゆるめすぎると、格納具が落下するおそれがあるため注意してください。



- 3 スペアタイヤ格納具を少し持ち上げ (①)、フックを手前に引いてはずす (②)

格納具が落下しないように、手でしっかり支えてください。



- 4 スペアタイヤ格納具を地面に降ろして、スペアタイヤを取り出す

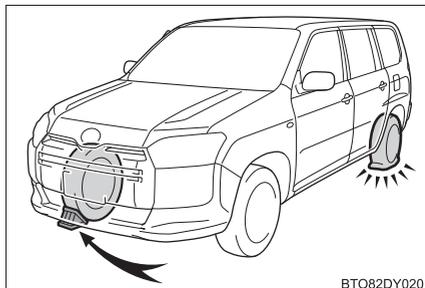
- 5 スペアタイヤ格納具をいったんもとにもどす

格納具をフックにかけ、ボルトを締め付けてもとにもどします。  
スペアタイヤを格納するときは：→ P. 230

## パンクしたタイヤの取りはずし

### 1 輪止め※をする

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

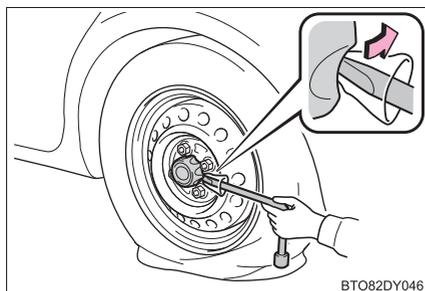


BTO82DY020

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪のうしろ
	右側	左側後輪のうしろ
後輪	左側	右側前輪の前
	右側	左側前輪の前

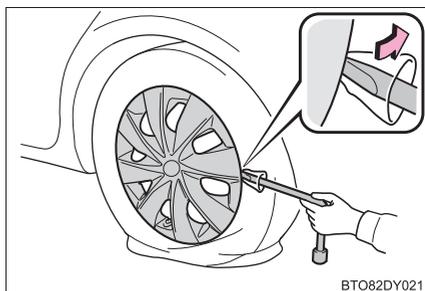
### 2 ホイールキャップをはずす

▶ センターキャップ装着車



BTO82DY046

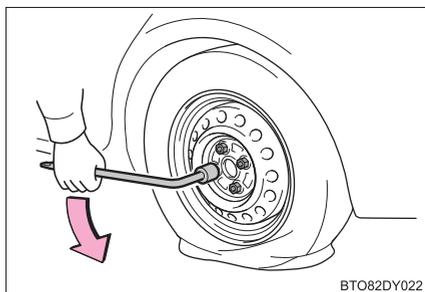
▶ フルキャップ装着車



BTO82DY021

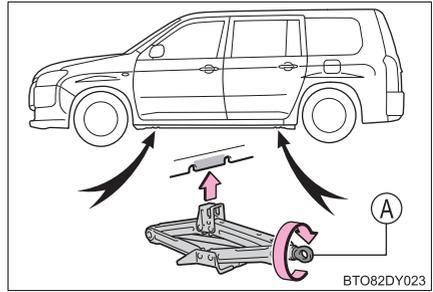
傷が付くのを防ぐため、ホイールナットレンチの先端に布などを巻いて保護してください。

### 3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる

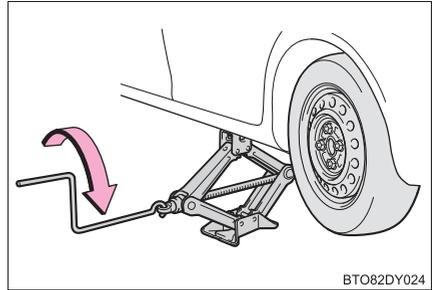


BTO82DY022

- 4 ジャッキのA部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける

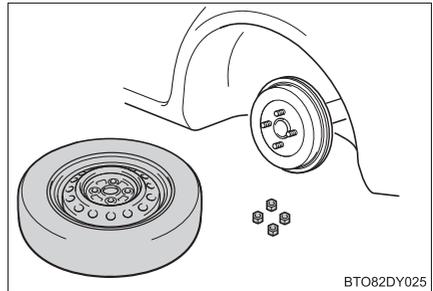


- 5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上に出します。



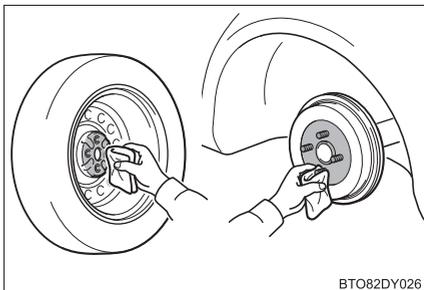
 **警告****■ タイヤ交換について**

- 次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
  - ・ スペアタイヤは、ジャッキアップする前に格納具から取りはずしておく
  - ・ スペアタイヤ格納具を操作するときは、可動部分やスペアタイヤのあいだに手や足などを挟まないように注意する
  - ・ スペアタイヤ格納具を降ろす、または持ち上げるときは、足の上などに落とさないよう、手でしっかり支える
  - ・ スペアタイヤは完全に地面に降ろしてから取り出す
  - ・ ホイールキャップは直接手をかけて取らない  
取り扱いには十分に注意してください。けがをするおそれがあります。
  - ・ 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれない  
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ ホイールの交換後はすぐに  $103 \text{ N} \cdot \text{m}$  ( $1050 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ ) の力でナットを締める
  - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
  - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
  - ・ ナットを取り付けるときは、必ずテーパ部分を内側にして取り付ける  
(→ P. 185)

## タイヤの取り付け

- 1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。

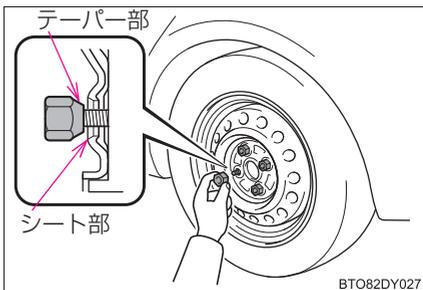


BTO82DY026

- 2 タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

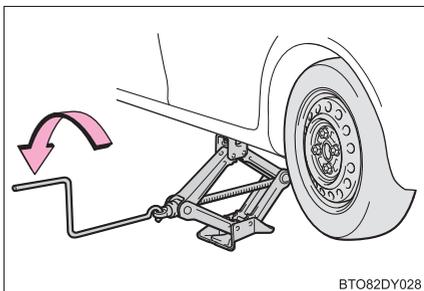
ホイール取り付けボルト・ナットのねじ部・ナットのテーパ部分の汚れ、異物を取り除いてください。

ナットのテーパ部分がホイールのシート部に軽くあたるまでまわします。



BTO82DY027

- 3 車体を下げる

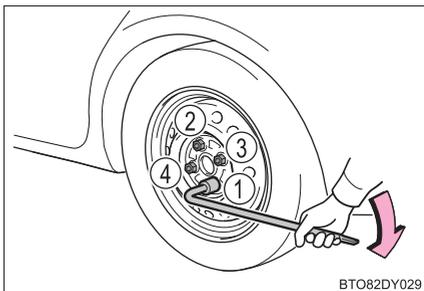


BTO82DY028

- 4 図の番号順でナットを 2、3 度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

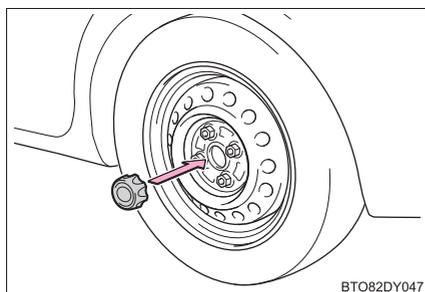
103 N・m (1050 kgf・cm)



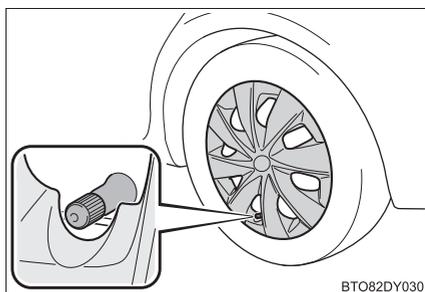
BTO82DY029

## 5 ホイールキャップを取り付ける

▶ センターキャップ装着車



▶ フルキャップ装着車



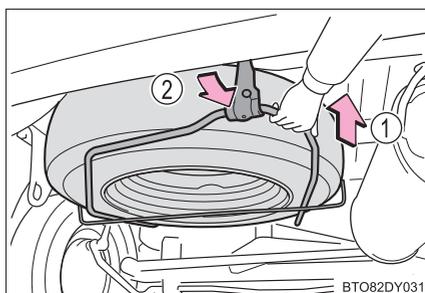
タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けます。

## 6 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを格納する

### スペアタイヤの格納

- 1 スペアタイヤ格納具にタイヤを載せて持ち上げ（①）、フックをかけてボルトを締め付ける（②）  
フックを格納具にかけるときは、はずした場所と同じ位置にかけてください。

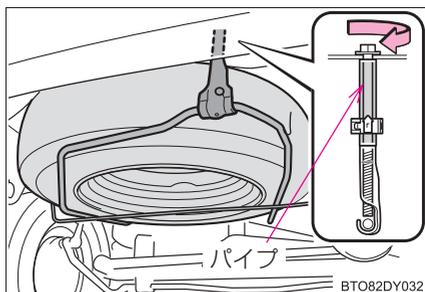
格納具に載せたタイヤががたつかないことを確認してください。



- 2 パイプががたつかなくなるまでボルトを締め付けたあと、さらに1/4回転以上締め付ける

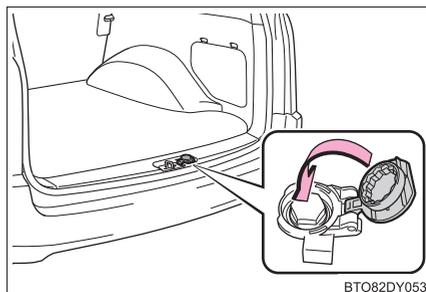
参考：締め付けトルク

16.2 N・m (165.3 kgf・cm) 以上



### 3 カバーを閉める

カバーを閉めたあとは、ボルト回転方向にゆさぶり、ボルトの先端に確実にハマっていることを確認してください。



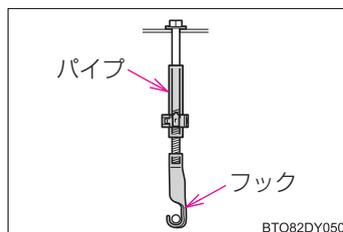
## 知識

### ■ スペアタイヤについて

空気圧を必ず点検してください。(→ P. 249)

### ■ スペアタイヤ格納具のフックについて

スペアタイヤ格納具を降ろす際に、ボルトをゆるめすぎてフックが脱落した場合は、図のようにパイプが入っているのを確認してからフックを取り付けてください。



## ⚠ 注意

### ■ スペアタイヤを格納するときは

- タイヤと車両とのあいだにもものが挟まっていないことを確認してください。
- タイヤを格納したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとタイヤががたつき、走行中にはずれるおそれがあります。
- インパクトレンチを使用する場合は、締めすぎに注意し、本締めはホイールナットレンチで行ってください。インパクトレンチで本締めを行うと、格納具を損傷するおそれがあります。

## エンジンがかからないときは

正しいエンジンのかけ方（→ P. 99）に従っても、エンジンがかからないときは、次のことを確認してください。

### スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。  
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。  
再度、正しい手順（→ P. 99）に従って、エンジンをかけてください。

### スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 234）
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

### スターターがまわらない／室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

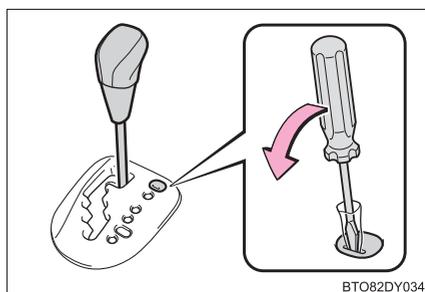
- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 234）  
処置のしかたがわからないとき、あるいは処置をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

## シフトレバーがシフトできないときは

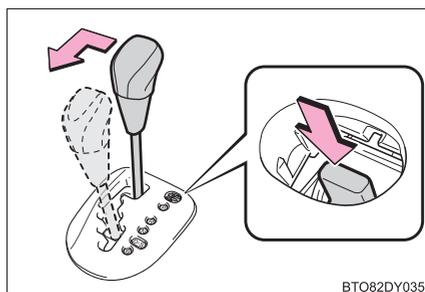
ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 エンジンスイッチを“ACC”にする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 5 シフトロック解除ボタンを押す  
ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



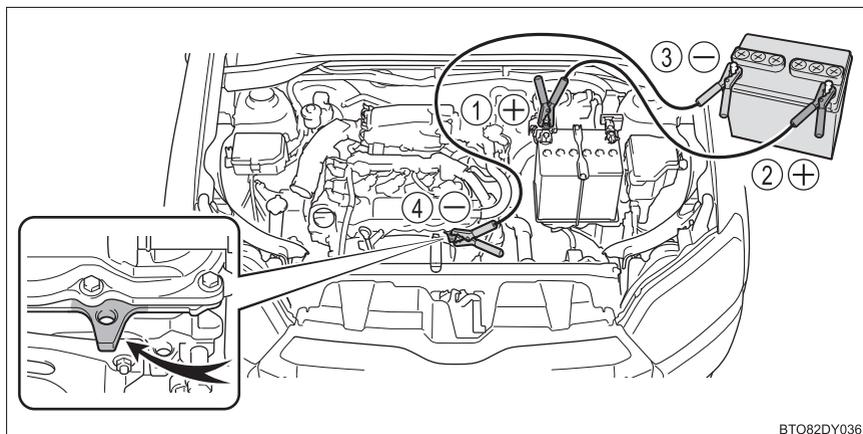
## バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

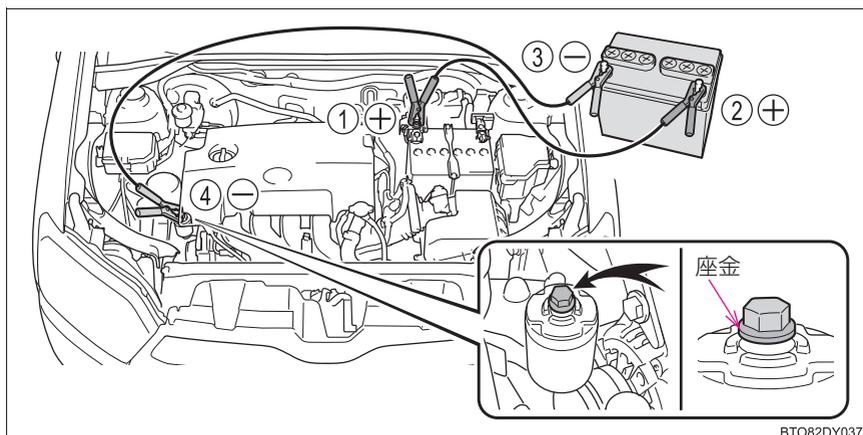
ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。

- 1 ボンネットを開ける (→ P. 179)
- 2 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ

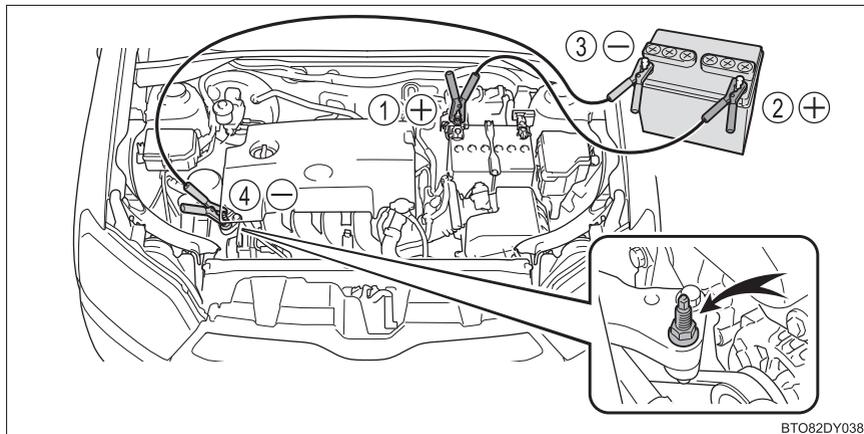
### ▶ 1NR-FE エンジン搭載車



### ▶ 1NZ-FE エンジン搭載の FF 車



## ▶ 1NZ-FE エンジン搭載の 4WD 車



BTO82DY038

- ① 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの + 端子につなぐ
- ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの + 端子につなぐ
- ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの - 端子につなぐ
- ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ

1NZ-FE エンジン搭載の FF 車：ボルトの座金部に確実につかないでください。

- 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 4 救援車のエンジン回転を維持したまま、自車のエンジンをかける
- 5 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす

エンジンがかかっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

 知識

## ■ バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

## ■ バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンがかかっているときは、ランプやエアコンの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

## ■ バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。(バッテリーは走行中に自動で充電されます)

 警告

## ■ バッテリーの引火または爆発を防ぐために

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない
- ブースターケーブルは + 側と - 側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

## ■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上に、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったたりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける  
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

 **注意****■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

## オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 高水温警告灯（赤色）（→ P. 48）が点滅または点灯したり、エンジン出力が低下する（スピードが出ないなど）
- エンジンルームから蒸気が出る

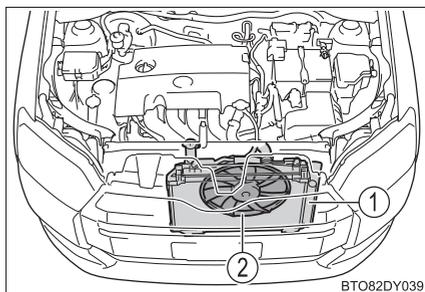
### 対処方法

- 1 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、エンジンを停止する
- 2 蒸気が出ている場合：  
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける  
  
蒸気が出ていない場合：  
注意してボンネットを開ける

- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

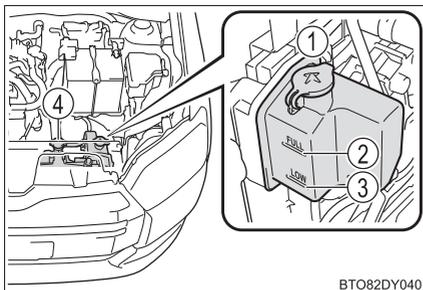
- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



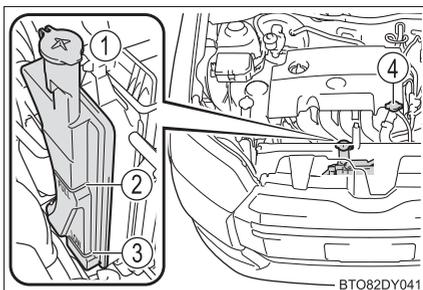
- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

## ▶ 1NR-FE エンジン搭載車



- ① リザーバータンク  
② “FULL”（上限）

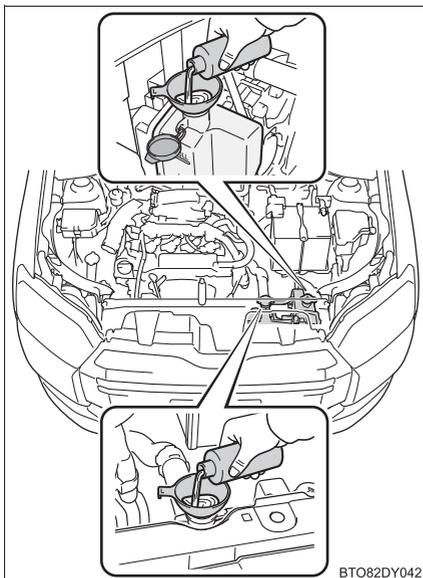
## ▶ 1NZ-FE エンジン搭載車



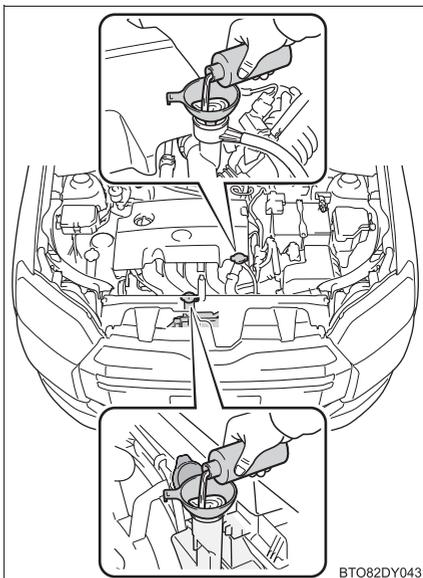
- ③ “LOW”（下限）  
④ ラジエーターキャップ

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

## ▶ 1NR-FE エンジン搭載車



## ▶ 1NZ-FE エンジン搭載車



冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。

- 6 エンジンを開始し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON・OFF をくり返してください。

(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

- 7 ファンが作動していない場合：  
すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する

ファンが作動している場合：  
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

### 警告

#### ■ エンジンルームを点検するとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合は、ラジエーターキャップおよび冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。  
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

### 注意

#### ■ 冷却水を入れるとき

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。

エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

#### ■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 市販の冷却水添加剤を使用しない

## スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、次の方法で脱出してください。

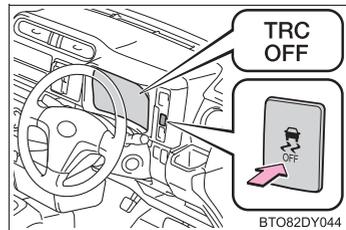
- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにして、エンジンを停止する
- 2 前輪周辺の土や雪を取り除く
- 3 前輪の下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 シフトレバーをDまたはRに入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

### 知識

#### ■脱出しにくいときは



を押してTRCをOFFにしてください。



### 警告

#### ■脱出するときは

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

#### ■シフトレバーを操作するときは

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- 前輪が空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

**車両情報****9****9-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など) .....	244
--------------------------------------	-----

**9-2. カスタマイズ機能**

ユーザーカスタマイズ 機能一覧 .....	251
--------------------------	-----

## メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

### 燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
・ 無鉛レギュラーガソリン ・ バイオ混合ガソリン（レギュラー）※	50

※ エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

## エンジンオイル

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値 <sup>※1</sup> )	
		オイルのみ 交換	オイルと オイルフィ ルター交換
トヨタキャッスルモーターオイル SN 0W-20 <sup>※2</sup> —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20	1NR-FE	3.2	3.4
トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20			
トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30	1NZ-FE	3.4	3.7
トヨタキャッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30			

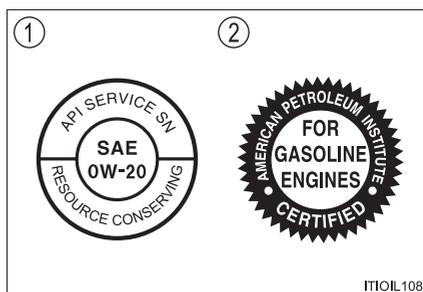
※<sup>1</sup> エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※<sup>2</sup> 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

## ■ 指定エンジンオイル

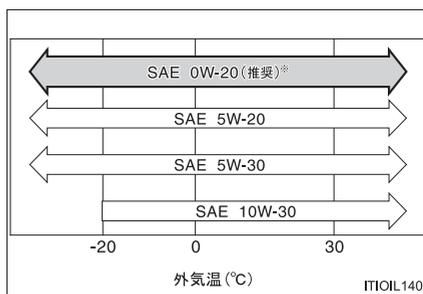
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。  
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION マーク



## ■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について (例として 0W-20 で説明します) :

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い (数値が大きい) オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

## ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント	1NR-FE	4.7
凍結保証温度 濃度 30% - 12℃ 濃度 50% - 35℃	1NZ-FE	5.0

## オートマチックトランスミッション (CVT)

指定銘柄	エンジン	駆動方式	容量 [L] (参考値※)
トヨタ純正 CVT フルード FE	1NR-FE	FF	6.42
	1NZ-FE	FF	7.47
		4WD	7.88

※ 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

## トランスファー (4WD 車)

指定銘柄 (推奨粘度)	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	0.45

## リヤディファレンシャル (4WD 車)

指定銘柄 (推奨粘度)	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	1.7

## ブレーキ

### ■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

### ■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間*	76

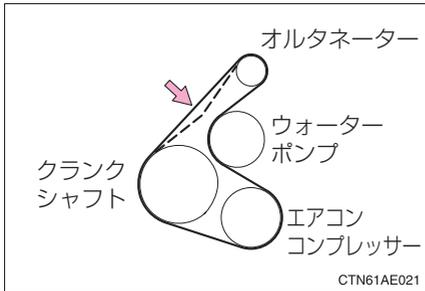
\* エンジン回転時に 490 N (50 kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

### ■ パーキングブレーキ

項目	基準値 [回数]
踏みしろ 操作力 300 N (30.6 kgf) のときのノッチ*数	10 ~ 13

\* ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです。

## V リブベルト

項目	エンジン	駆動方式	基準値 [mm]
たわみ量  <small>CTN61AE021</small>	1NR-FE	FF	自動調整式
	1NZ-FE	FF	
		4WD	
押力 98 N (10 kgf) (冷間時)			

## ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
2.3

## タイヤ・ホイール

タイヤサイズ	ホイール サイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )			
		前輪		後輪	
		空荷時	積荷時 <sup>*</sup>	空荷時	積荷時 <sup>*</sup>
155/80R14 88/86N LT	14 × 5J	220 (2.2)	240 (2.4)	▶ FF車 220 (2.2) ▶ 4WD車 230 (2.3)	290 (2.9)

\* 100kg 以上または 4 名乗車以上

## 電球 (バルブ) ※

電球		W (ワット) 数
車外	ヘッドランプ (バルブタイプ: H4)	60 / 55
	車幅灯	5
	フロント方向指示灯 / 非常点滅灯	21
	サイド方向指示灯 / 非常点滅灯	5
	制動灯 / 尾灯	21 / 5
	リヤ方向指示灯 / 非常点滅灯	21
	後退灯	16
	リヤフォグランプ★	21
	ハイマウントストップランプ	21
	番号灯	5
車内	フロントルームランプ	8
	リヤルームランプ	8

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

## 車両仕様

型式	エンジン	駆動方式
NSP160V	1NR-FE (1.3L ガソリン)	FF (前輪駆動)
NCP160V	1NZ-FE (1.5L ガソリン)	
NCP165V		4WD (4 輪駆動)

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている機能の中には、ボタン操作により設定を変更することができるものがあります。

### 車両カスタマイズ設定一覧

機能の内容	初期設定	変更後
エコドライブインジケータランプの作動 (→ P. 55)	ON	OFF
バックモニター★画面の継続的な非表示 (→ P. 126)	表示	非表示

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



## さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	254
車から音が鳴ったときは (音さくいん).....	257
アルファベット順さくいん.....	258
五十音順さくいん.....	260

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

### 施錠／解錠／ドアの開閉ができない



#### キーをなくした

- キーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーを作ることができます。（→ P. 59）



#### 施錠・解錠できない （ワイヤレスドアロック装着車）

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→ P. 190）
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。（→ P. 62）



#### リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？  
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。  
いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。（→ P. 62）

## 故障かな？と思ったら



### エンジンがかからない

- シフトレバーは P になっていますか？（→ P. 99）
- ステアリングロックされていませんか？（→ P. 100）
- バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 234）



### ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーが P から動かない

- エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？  
エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないとき（→ P. 233）



### エンジンを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- 盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます。（→ P. 99）



### パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない （助手席または後席パワーウィンドウ装着車）

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？  
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 85）



### 警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 257）をご確認ください。



### 警告灯が点灯または点滅したとき

- 警告灯が点灯または点滅したときは、P. 218 をご確認ください。

**トラブルが発生した****タイヤがパンクした**

- 車を安全な場所に止め、パンクしたタイヤをスペアタイヤに交換してください。（→ P. 221）

**立ち往生した**

- むかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 241）

## 車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

### 車に乗るとき／車から降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	エンジンスイッチにキーが挿してある	P. 100
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 107

### 走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 219
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 105
	運転席のシートベルトを着用していない	P. 219
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 93

## アルファベット順さくいん

### 4WD

(フォーホイールドライブ) ..... 129, 250

### A/C

(エアコン) ..... 148

### ABS

(アンチロックブレーキシステム) ..... 129, 219

### ACC

(アクセサリー) ..... 99

### ECO

(エコノミー／エコロジー) ..... 55, 90

### EDR

(イベントデータレコーダー) ..... 8

### EPS

(電気リックパワーステアリング) ..... 129

### FF

(フロントエンジンフロントドライブ) ..... 250

### ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション) ..... 246

### INT

(インターミットtent) ..... 110

### SRS

(サブリメンタルレストレイントシステム) ..... 29, 218

### TRC

(トラクションコントロール) ..... 129

### VSC

(ビークルスタビリティコントロール) ..... 129



## 五十音順さくいん

## あ

アースポイント	
(バッテリーあがりの処置).....	234
アウターミラー (ドアミラー) .....	82
操作 .....	82
格納のしかた .....	82
ミラーヒーター .....	149
アクセサリーコンセント .....	168
アクセサリーソケット .....	168
アクセサリーモード .....	99
アンチロックブレーキ	
システム (ABS) .....	129
アンテナ	
ラジオ .....	146

## い

イグニッションスイッチ	
(エンジンスイッチ)	
位置の切りかえ .....	99
エンジンのかけ方 .....	99
位置交換	
(タイヤローテーション) .....	183
イベントデータレコーダー	
(EDR) .....	8
インジケーター (表示灯) .....	50
インナーミラー .....	80
インパネテーブル .....	170
インパネトレイ .....	161

## う

ウインカー (方向指示灯) .....	104
電球 (バルブ) の	
交換 .....	198, 199
方向指示レバー .....	104
ワット数 .....	250
ウインドウ .....	84
ウォッシャー .....	110, 112
パワーウインドウ .....	84
リヤウインドウ	
デフォッガー .....	149
ウインドウロックスイッチ .....	85
ウォーニングランプ	
(警告灯) .....	49, 218
ウォッシャー .....	110, 112
液の補給 .....	182
スイッチ .....	110, 112
タンク容量 .....	249
冬の前の準備・点検 .....	135
動けなくなったときは	
(スタック) .....	241
運転 .....	88
雨の日の運転 .....	89
運転を補助する装置 .....	129
環境に配慮した運転 .....	90
寒冷時の運転 .....	135
正しい運転姿勢 .....	22
手順 .....	88
運転席シートベルト	
非着用警告灯 .....	219
運転席リアポケット .....	165

## え

エアコン	148
曇り取り（フロント ウインドウガラス）	149
フィルターの交換	187
マニュアルエアコン	148
エアバッグ	29
SRS エアバッグ警告灯	218
お子さまのための注意	30
改造・廃棄	32
作動条件	33
正しい姿勢	22
配置	29
AUX 端子	144
エコドライブインジケーター ランプ	55, 90
エレクトリックパワー ステアリング（EPS）	129
エンジン	
エンジンがかからない （エンジンが 始動できない）	232
エンジン警告灯	218
エンジンスイッチ	99
エンジンの始動方法	99
オーバーヒート	238
かけ方	99
緊急時の停止方法	210
ボンネット	179

エンジンオイル	245
冬の前の準備・点検	135
メンテナンスデータ	245
油圧警告灯	218
容量	245
エンジンスイッチ	
位置の切りかえ	99
エンジンのかけ方	99
エンジンフード（ボンネット） 開け方	179

## お

オイル（エンジンオイル）	245
応急用タイヤ	221
空気圧	249
交換方法	221
オーディオ	140
アンテナ	146
AUX 端子	144
オーディオの種類	140
音質調整	141
外部入力端子	144
ラジオ	142
オートマチックトランス ミッション（CVT）	102
シフトレバーがシフト できない	233
オーバーヒート	238

## オープナー

給油扉.....	116
ボンネット.....	179
オープントレイ.....	165
お子さまを乗せるとき.....	35
ウインドロックスイッチ.....	85
エアバッグ.....	30
お子さまの安全のために.....	35
キーの電池.....	191
子供専用シート.....	36
シートの取り扱いに	
関する警告.....	74
シートベルトの着用.....	26
チャイルドシートの取り付け... 43	
チャイルドプロテクター.....	62
発炎筒の取り扱いに	
関する警告.....	209
バックドアに関する警告.....	66
バッテリーに関する警告.....	236
パワーウインドウに	
関する警告.....	86
オドメーター	
機能.....	54
表示切りかえボタン.....	53

## か

カードホルダー.....	166
カーペット	
洗淨.....	177
フロアマットの取り付け方.....	20
外気温度表示.....	53
外装の電球（バルブ）	
交換要領.....	194
ワット数.....	250
開閉式ワイドフリーラック.....	162
買い物フック.....	157
カスタマイズ機能.....	251
ガソリンスタンドでの情報.....	276
型式.....	250
カップホルダー.....	163
カメラ	
バックモニター.....	118
ガラスの曇り取り（リヤ	
ウインドウデフォグガー）.....	149
ガレージジャッキ.....	181
冠水路走行.....	97
寒冷時の運転.....	135

## き

キー	58
エンジンがかからない	
ときは	232
キーナンバープレート	58
キーの構成	58
キーレスエントリー	58
キーをなくした	59
電池が切れた	190
ワイヤレスリモコン	58
キーレスエントリー	
ワイヤレスドアロック	58
給油	114
給油のしかた	114
メンテナンスデータ	244
緊急時シートベルト固定機構	26
緊急時の対処	
エンジンが始動できない	232
オーバーヒートした	238
キーの電池が切れた	190
キーをなくした	59
緊急用フック	214
警告灯がついた	218
けん引	211
故障したときは	206
シフトレバーがシフト	
できない	233
車両を緊急停止する	210
スタックした	241
発炎筒	208
バッテリーがあがった	234
パンクした	221
緊急ブレーキシグナル	129

## く

空気圧 (タイヤ)	249
空調	
フィルターの交換	187
マニュアルエアコン	148
区間距離計 (トリップメーター)	
機能	54
表示切りかえボタン	53
曇り取り	
フロントウインドウガラス	149
リヤウインドウ	
デフォッガー	149
クラクション (ホーン)	78
クリアランスランプ (車幅灯)	106
スイッチ	106
電球 (バルブ) の交換	197
ワット数	250
クリップ	
フロアマット	20
グローブボックス	162

## け

警音器 (ホーン).....	78
計器類 (メーター).....	52
警告灯/表示灯.....	48
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	53
メーター.....	52
警告灯.....	49, 218
ABS & ブレーキアシスト.....	219
SRS エアバッグ.....	218
エンジン.....	218
高水温.....	218
シートベルト非着用.....	219
充電.....	218
スリップ.....	219
トラクションコントロール....	219
燃料残量.....	219
パワーステアリング.....	219
半ドア.....	219
ビークルスタビリティ コントロール.....	219
ヒルスタートアシスト コントロール.....	219
プリテンショナー.....	218
ブレーキ.....	218
油圧.....	218

## 警告ブザー

キー抜き忘れ.....	100
シートベルト非着用.....	219
パーキングブレーキ 未解除走行時.....	105
パワーステアリング.....	219
半ドア.....	219
ブレーキ.....	218
油圧.....	218
ランプ消し忘れ.....	107
リバース.....	103
けん引.....	211
けん引のしかた.....	211
フック.....	212

## こ

## 交換

エアコンフィルター.....	187
キーの電池.....	190
タイヤ.....	221
電球 (バルブ).....	194
ヒューズ.....	192
工具 (ツール).....	222
光軸調整ダイヤル.....	107
航続可能距離.....	54
後退灯 (バックアップランプ) 電球 (バルブ) の交換.....	199
ワット数.....	250
コートフック.....	172
子供専用シート.....	36
選択方法.....	36
取り付け方.....	43
コンセント.....	168
コンソールトレイ.....	165

## さ

サイド方向指示灯.....	104
方向指示レバー.....	104
ワット数.....	250
サイドミラー（ドアミラー）.....	82
操作.....	82
格納のしかた.....	82
ミラーヒーター.....	149
三角表示板収納スペース.....	224
サンバイザー.....	166

## し

シート.....	69
子供専用シート.....	36
正しい運転姿勢.....	22
調整.....	69
手入れ.....	177
ヘッドレスト.....	76
リヤシートの前倒し.....	70
シートベルト.....	24
お子さまの着用.....	26
緊急時シートベルト固定機構... ..	26
シートベルトインフォ	
メーション表示灯.....	50
シートベルト非着用警告灯....	219
正しく着用するには.....	24
着け方・はずし方.....	24
手入れ.....	177
妊娠中の方の着用.....	27
シートベルト	
インフォメーション表示灯.....	50
シートベルト非着用警告灯.....	219
シートベルトプリテンショナー....	25
機能.....	25
プリテンショナー警告灯.....	218

CVT.....	102
シフトレバーがシフト	
できない.....	233
室内灯（ルームランプ）.....	153
始動のしかた.....	99
シフトポジション.....	102
シフトレバー.....	102
シフトロックシステム	
（解除ボタン）.....	233
操作.....	102
リバース警告ブザー.....	103
シフトレバーがシフト	
できないときは.....	233
シフトロックシステム.....	233
締め付けトルク（ホイール）.....	229
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	181
車載ジャッキ.....	222
ジャッキハンドル.....	222
車幅灯.....	106
電球（バルブ）の交換.....	197
ランプスイッチ.....	106
ワット数.....	250
車両型式.....	250
車両仕様（スペック）.....	244
車両データの記録.....	7
車両を緊急停止するには.....	210
収納装備.....	154
手動光軸調整ダイヤル.....	107
ジュニアシート.....	37
瞬間燃費.....	54
仕様（車両仕様）.....	244

## す

## 水温

高水温警告灯 .....	218
低水温表示灯 .....	50

## スイッチ

イグニッション .....	99
ウインドウロック .....	85
ウォッシャー .....	110, 112
エンジンスイッチ .....	99
オーディオ .....	140
ドアミラー .....	82
ドアロック .....	61
ハザードランプ .....	207
バックドアロック .....	64
パワーウインドウ .....	84
非常点滅灯 （ハザードランプ） .....	207
VSC OFF .....	130
フォグランプ .....	108
方向指示レバー .....	104
ホーン（警音器） .....	78
メーター表示切りかえ .....	53
ランプ .....	106
リヤウインドウ デフォッガー .....	149
ルームランプ .....	153
ワイパー .....	110, 112

## スターター

エンジンの始動 .....	99
スターターがまわらない .....	232

## スタック .....

## ステアリングホイール（ハンドル）

位置調整 .....	78
------------	----

## ステアリングロック

解除できないとき .....	100
----------------	-----

## ストップランプ（制動灯）

電球（バルブ）の交換 .....	199
ワット数 .....	250

## スノータイヤ（冬用タイヤ） .....

## スピードメーター .....

## スペアタイヤ .....

空気圧 .....	249
交換方法 .....	221

## スペック（車両仕様） .....

## スマールランプ（車幅灯） .....

電球（バルブ）の交換 .....	197
ランプスイッチ .....	106
ワット数 .....	250

## せ

清掃 .....	174, 177
外装 .....	174
シートベルト .....	177
内装 .....	177
制動灯	
電球（バルブ）の交換 .....	199
ワット数 .....	250
積算距離計（オドメーター）	
機能 .....	54
表示切りかえボタン .....	53
洗車 .....	174
前照灯（ヘッドランプ） .....	106
手動光軸調整ダイヤル .....	107
電球（バルブ）の交換 .....	196
ランプ消し忘れ警告ブザー .....	107
ランプスイッチ .....	106
ワット数 .....	250
センターコンソールトレイ .....	165
センタートレイ	
（ドリンクホルダー付） .....	156
照明 .....	153
センターボックス .....	162

## そ

速度計	
（スピードメーター） .....	52

## た

ターンシグナルランプ	
（方向指示灯） .....	104
電球（バルブ）の	
交換 .....	198, 199
方向指示レバー .....	104
ワット数 .....	250
タイヤ .....	183
空気圧 .....	249
交換 .....	221
締め付けトルク .....	229
チェーン .....	135
点検 .....	183
パンクしたときは .....	221
冬用タイヤ .....	135
ホイールサイズ .....	249
ローテーション	
（位置交換） .....	183
タイヤが空まわりする	
（スタックした） .....	241
タイヤチェーン .....	135

## ち

チェーン（タイヤチェーン） .....	135
チケットホルダー .....	166
チャイルドシート .....	36
選択方法 .....	36
取り付け方 .....	43
チャイルドプロテクター .....	62
駐車ブレーキ	
（パーキングブレーキ） .....	105
操作 .....	105
冬季の注意 .....	136
パーキングブレーキ表示灯 .....	50
未解除走行時	
警告ブザー .....	105
メンテナンスデータ .....	248

## つ

ツール (工具)..... 222

## て

停止表示板収納スペース ..... 224

ディファレンシャル ..... 247

手入れ ..... 174, 177

外装 ..... 174

シートベルト ..... 177

内装 ..... 177

テーブル ..... 170

テールランプ (尾灯) ..... 106

電球 (バルブ) の交換 ..... 199

ランプスイッチ ..... 106

ワット数 ..... 250

デッキサイドポケット ..... 172

デフォッガー (リヤウインドウ

デフォッガー) ..... 149

電球 (バルブ)

交換要領 (外装バルブ) ..... 194

ワット数 ..... 250

点検基準値

(メンテナンスデータ) ..... 244

電池交換 (キー) ..... 190

## と

ドア ..... 60

チャイルドプロテクター ..... 62

ドアガラス ..... 84

ドアロックスイッチ ..... 61

バックドア ..... 64

半ドア警告灯 ..... 219

ロックレバー ..... 61

ワイヤレスリモコン ..... 60

ドアガラス ..... 84

ドアポケット ..... 165

ドアミラー ..... 82

操作 ..... 82

格納のしかた ..... 82

ミラーヒーター ..... 149

時計

時刻を設定する ..... 167

表示 ..... 53

トラクションコントロール

(TRC) ..... 129

トランスミッション

オートマチックトランス

ミッション (CVT) ..... 102

メンテナンスデータ ..... 247

トリップメーター

機能 ..... 54

表示切りかえボタン ..... 53

ドリンクホルダー ..... 156

## な

内装	
収納装備.....	154
手入れ.....	177

## に

荷物	
積むときの注意.....	98
リヤシートの前倒し.....	70

## ぬ

ぬかるみにはまった (スタック).....	241
--------------------------	-----

## ね

燃費	
瞬間燃費.....	54
平均燃費.....	54
燃料.....	244
ガソリンスタンドでの情報....	276
給油.....	114
種類.....	244
燃料残量警告灯.....	219
容量.....	244
燃料計.....	53

## は

パーキングブレーキ.....	105
操作.....	105
冬季の注意.....	136
パーキングブレーキ表示灯.....	50
未解除走行時	
警告ブザー.....	105
メンテナンスデータ.....	248
排気ガス.....	46
ハイビーム (ヘッドランプ).....	106
電球 (バルブ) の交換.....	196
ランプスイッチ.....	106
ワット数.....	250
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) の交換.....	200
ワット数.....	250
ハザードランプ (非常点滅灯)....	207
スイッチ.....	207
電球 (バルブ) の	
交換.....	198, 199
ワット数.....	250
挟み込み防止機能	
運転席ドアガラス.....	86
発炎筒.....	208
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) の交換.....	199
ワット数.....	250

バックドア .....	64
バックドアハンドル .....	65
半ドア警告灯 .....	219
ロックスイッチ .....	64
バックモニター .....	118
バッテリー	
バッテリーがあがった .....	234
バルブ（電球）	
交換要領（外装のバルブ） .....	194
ワット数 .....	250
パワーウィンドウ .....	84
ウィンドウロックスイッチ .....	85
操作 .....	84
挟み込み防止機能 .....	86
パワーステアリング .....	129
パワーステアリング警告灯 .....	219
パンクした .....	221
番号灯（ライセンスプレート	
ランプ） .....	106
電球（バルブ）の交換 .....	201
ランプスイッチ .....	106
ワット数 .....	250
ハンドル	
（ステアリングホイール） .....	78
位置調整 .....	78

## ひ

ビークルスタビリティ	
コントロール（VSC） .....	129
ヒーター	
マニュアルエアコン .....	148
ミラーヒーター .....	149
非常点滅灯（ハザードランプ） .....	207
スイッチ .....	207
電球（バルブ）の	
交換 .....	198, 199
ワット数 .....	250
尾灯（テールランプ） .....	106
電球（バルブ）の交換 .....	199
ランプスイッチ .....	106
ワット数 .....	250
ヒューズ .....	192
表示灯 .....	50
日よけ（サンバイザー） .....	166
ヒルスタートアシスト	
コントロール .....	129

## ふ

## Vフレックス

フルタイム 4WD..... 129

## ブースターケーブルの

つなぎ方 ..... 234

## フォグランプ ..... 108

スイッチ ..... 108

電球（バルブ）の交換..... 199

ワット数..... 250

## ブザー

キー抜き忘れ警告 ..... 100

シートベルト非着用警告 ..... 219

## パーキングブレーキ

未解除走行時警告..... 105

パワーステアリング警告 ..... 219

半ドア警告 ..... 219

ブレーキ警告 ..... 218

油圧警告 ..... 218

ランプ消し忘れ警告 ..... 107

リバース警告 ..... 103

## フック

買い物フック ..... 157

けん引フック ..... 212

コートフック ..... 172

フロアマット固定フック..... 20

## フューエルメーター（燃料計） ..... 53

## フューエルリッド（給油口）

給油のしかた ..... 114

冬の前の準備（寒冷時の運転） .... 135

冬用タイヤ ..... 135

## ブレーキ

パーキングブレーキ ..... 105

ブレーキ警告灯 ..... 218

メンテナンスデータ ..... 248

## ブレーキアシスト ..... 129

ABS &amp; ブレーキアシスト

警告灯 ..... 219

機能 ..... 129

## ブレーキ付近から

キーキー音が聞こえる ..... 93

## ブレーキフルード ..... 248

フロアマット ..... 20

フロントシート ..... 69

正しい運転姿勢 ..... 22

調整 ..... 69

手入れ ..... 177

ヘッドレスト ..... 76

## フロント方向指示灯 ..... 104

電球（バルブ）の交換 ..... 198

方向指示レバー ..... 104

ワット数 ..... 250

## フロントルームランプ ..... 153

## へ

平均燃費 .....	54
ヘッドランプ .....	106
手動光軸調整ダイヤル.....	107
電球（バルブ）の交換.....	196
ランプ消し忘れ警告ブザー....	107
ランプスイッチ .....	106
ワット数.....	250
ヘッドレスト .....	76
ベビーシート .....	37

## ほ

ホイール	
交換（タイヤ）.....	221
メンテナンスデータ .....	249
ホイールナットレンチ .....	222
方向指示灯 .....	104
電球（バルブ）の	
交換.....	198, 199
方向指示レバー .....	104
ワット数.....	250
ホーン（警音器）.....	78
ポケット .....	165
保証 .....	9
ボトルホルダー.....	163
ボンネット	
開け方.....	179

## ま

マニュアルエアコン .....	148
マルチインフォメーション	
ディスプレイ .....	53
トリップ	
インフォメーション .....	54
マルチホルダー .....	158

## み

ミラー	
アウトミラー.....	82
インナーミラー.....	80
ドアミラー .....	82
ミラーヒーター.....	149

## め

メーター（計器類）.....	52
警告灯.....	49, 218
照度調整 .....	55
表示切りかえボタン.....	53
表示灯 .....	50
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	53
メーター .....	52
メーター照度調整 .....	55
メンテナンスデータ .....	244

## ゆ

ユーザーカスタマイズ機能 .....	251
雪道ですべて動けない （スタックした）.....	241
油脂類 .....	244

## ら

ライセンスプレートランプ （番号灯） .....	106
電球（バルブ）の交換.....	201
ランプスイッチ .....	106
ワット数.....	250
ラゲージルーム デッキサイドポケット.....	172
ラジエーター オーバーヒート .....	238
メンテナンスデータ .....	247
ラジオ .....	142
ランプ 室内灯.....	153
センタートレイ（ドリンク ホルダー付）照明.....	153
電球（バルブ）の交換.....	194
非常点滅灯 （ハザードランプ）.....	207
ヘッドランプ（前照灯）.....	106
方向指示灯（ターンシグナル ランプ/ウインカー）.....	104
ランプ消し忘れ警告ブザー .....	107
リヤフォグランプ .....	108
ルームランプ .....	153
ワット数.....	250
ランプ消し忘れ警告ブザー .....	107

## り

リヤウインドウデフォグガー.....	149
リヤシート クッション固定式シート .....	70
クッション引き起こし式 シート .....	71
リヤフォグランプ .....	108
スイッチ .....	108
電球（バルブ）の交換.....	199
ワット数.....	250
リヤ方向指示灯.....	104
電球（バルブ）の交換.....	199
方向指示レバー.....	104
ワット数.....	250
リヤルームランプ .....	153

## る

ルームミラー （インナーミラー）.....	80
ルームランプ .....	153

## れ

冷却水 .....	247
高水温警告灯 .....	218
低水温表示灯 .....	50
冬の前の準備 .....	135
メンテナンスデータ .....	247
冷却装置（ラジエーター） .....	247
オーバーヒート .....	238
メンテナンスデータ .....	247
レバー	
シフト .....	102
ハンドル位置調整 .....	78
方向指示 .....	104
ボンネット解除 .....	179
ロック（ドア） .....	61

## ろ

ロアポケット .....	165
ロック	
ウインドウロック .....	85
シフトロック .....	233
チャイルドプロテクター .....	62
ドア .....	60
バックドア .....	64
ワイヤレスリモコン .....	60

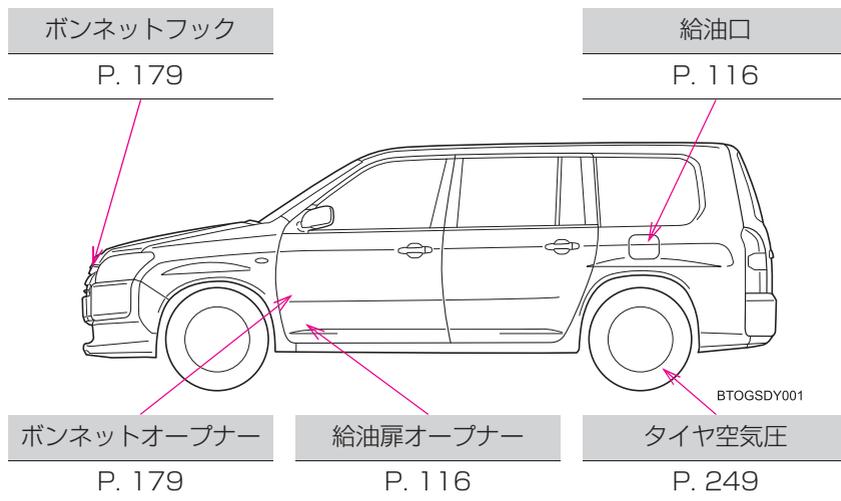
## わ

ワイドフリーラック .....	162
ワイパー & ウォッシャー	
ウォッシャー液の補給 .....	182
フロント .....	110
リヤ .....	112
ワイパーブレード（寒冷地用） .....	136
ワイヤレスリモコン .....	58
作動の合図 .....	61
操作 .....	60
電池の交換 .....	190
ワックス .....	174
ワット数 .....	250
1DIN ポケット .....	165



## ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。



燃料の容量 (参考値)	50L																			
燃料の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無鉛レギュラーガソリン</li> <li>・ バイオ混合ガソリン (レギュラー) ※</li> </ul> <p>※ エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン (酸素含有率 3.7%以下) を使用することができます。</p>																			
タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">前輪</th> <th colspan="2">後輪</th> </tr> <tr> <th>空荷時</th> <th>積荷時※</th> <th>空荷時</th> <th>積荷時※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FF 車</td> <td>220 (2.2)</td> <td>240 (2.4)</td> <td>220 (2.2)</td> <td>290 (2.9)</td> </tr> <tr> <td>4WD 車</td> <td></td> <td></td> <td>230 (2.3)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 100kg 以上または 4 名乗車以上</p>		前輪		後輪		空荷時	積荷時※	空荷時	積荷時※	FF 車	220 (2.2)	240 (2.4)	220 (2.2)	290 (2.9)	4WD 車			230 (2.3)	
	前輪		後輪																	
	空荷時	積荷時※	空荷時	積荷時※																
FF 車	220 (2.2)	240 (2.4)	220 (2.2)	290 (2.9)																
4WD 車			230 (2.3)																	
エンジンオイル容量 (参考値)	<p>オイルのみ交換時</p> <p>1NR-FE エンジン搭載車 : 3.2L</p> <p>1NZ-FE エンジン搭載車 : 3.4L</p> <p>オイルとフィルター交換時</p> <p>1NR-FE エンジン搭載車 : 3.4L</p> <p>1NZ-FE エンジン搭載車 : 3.7L</p>																			
エンジンオイルの種類	<p>トヨタキヤッスルモーターオイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SN 0W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20)</li> <li>・ SN 5W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20)</li> <li>・ SN 5W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30)</li> <li>・ SN 10W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30)</li> </ul>																			

お問い合わせ、ご相談は  
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター  
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を  
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、  
<http://www.toyota.co.jp> にて掲載しております。

「リコール等情報」については、  
<http://toyota.jp/recall/index.html> にて掲載して  
おります。

**トヨタ自動車株式会社**  
<http://toyota.jp>



M 52D91  
01999-52D91  
1B-2016年 4月18日  
2014年 8月 6日 初版  
2016年 4月25日 5版  
プロボックス